提出議題

議決事項

第一号議案　令和２年度　決算報告（案）及び監査報告 …… 別冊

第二号議案　令和３年度　改選役員及び推薦委員の選出 …… 10

第三号議案　令和４年度　日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出 …… 11

報告事項

報告事項１　令和２年度　事業報告 …… 12

報告事項２　令和３年度　事業計画 …… 78

報告事項３　令和３年度　収支予算書 …… 別冊

第一号議案　令和２年度　決算報告（案）及び監査報告

（別　冊）

第二号議案　令和３年度　改選役員及び推薦委員の選出

役員・推薦委員の任期満了に伴い、定款及び細則に基づき、役員・推薦委員の選出を求める。

○令和３年度　役員候補者

役　職	氏　名	任 期	所　属	職　種
第二副会長	有田　稔子	2	山口市役所防災危機管理課	保健師
専務理事	酒井　恵子	2	個人会員	保健師
常務理事	藤谷　圭子	2	個人会員	助産師
常務理事	小阪マリ子	2	徳山中央病院	看護師
理　　事	菊池　実代	2	下関児童相談所	保健師
	鈴川　実紀	2	安岡病院	准看護師
	白銀　優子	2	岩国中央病院	看護師
	大東　美恵	2	国立病院機構柳井医療センター	看護師
	達川　明美	2	防府リハビリテーション病院	看護師
	石井　恵子	2	岡田病院	看護師
監　　事	高橋　和子	2	山口県立総合医療センター	看護師

○令和３年度　推薦委員候補者

委員名	氏　名	任 期	所　属	職　種
推薦委員	林　　直美	1	山口健康福祉センター	保健師
	常盤　智子	1	平生町健康保険課	保健師
	北村　みき	1	梅田病院	助産師
	酒井　玲子	1	済生会豊浦病院	助産師
	山時久美子	1	緑町三祐病院	看護師
	村橋久美子	1	岩国市医療センター医師会病院	看護師
	重冨美喜江	1	山口県立総合医療センター	看護師

第三号議案　令和４年度　日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の選出

日本看護協会定款並びに定款細則では、都道府県看護協会に委託して代議員及び予備代議員の選出をすることとなっている。

山口県看護協会の定数は各10人であるので、代議員10人と予備代議員10人の選出について提案する。

なお、選出された者は令和4年度の日本看護協会通常総会に出席し、山口県看護協会選出の代議員及び予備代議員（代議員が欠席する場合に予備代議員は出席）として議決権を行使するものとする。

○令和４年度　日本看護協会通常総会代議員候補者

No.	氏　名	職　種	所　属
1	有田　稔子	保健師	山口市役所防災危機管理課
2	酒井　恵子	保健師	個人会員
3	藤谷　圭子	助産師	個人会員
4	小阪マリ子	看護師	徳山中央病院
5	鈴川　実紀	准看護師	安岡病院
6	白銀　優子	看護師	岩国中央病院
7	大東　美恵	看護師	国立病院機構柳井医療センター
8	達川　明美	看護師	防府リハビリテーション病院
9	石井　恵子	看護師	岡田病院
10	高橋　和子	看護師	山口県立総合医療センター

○令和４年度　日本看護協会通常総会予備代議員候補者

No.	氏　名	職　種	所　属
1	山本多賀子	看護師	個人会員
2	小西　　恵	助産師	都志見病院
3	寺山　美絵	准看護師	都志見病院
4	久保しのぶ	看護師	周南リハビリテーション病院
5	中村　幸江	看護師	済生会山口地域ケアセンター
6	髙見由美子	看護師	宇部興産中央病院
7	勝間とみ江	看護師	山陽小野田市民病院
8	後根恵美香	看護師	全眞会病院
9	田中　康代	看護師	ウエストジャパン看護専門学校
10	上河内一枝	看護師	光輝病院

報告事項１　令和2年度　事業報告

令和２年１月中旬に国内最初の新型コロナウイルス感染者の発表後、全国に感染が拡大し４月16日には緊急事態宣言が全国に拡大された。本協会においては、研修等の対象者が医療従事者であることから、感染が発生した場合には県内の医療提供体制に及ぼす影響が大きいことを考慮し、２月末より研修等の事業を延期・中止とした。一方、日本看護協会及び県行政等関係機関と連携し、県民の健康と看護職の健康を守ること、看護職の活動を支えることを目的に、５月１日に県より受託した「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」も含めた取り組みを実施した。詳細については、本要綱67～77ページ「新型コロナウイルス感染拡大への対応」に掲載。

５月25日に全国での緊急事態宣言が解除されたことを受け、事務局内会議で４月以降延期とした事業の実施時期の検討と、８月以降の事業計画の見直しを行った。事務局で作成した「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」による感染対策を遵守したうえで、見直し後の事業計画に基づく会議・研修会等を実施した。

○令和２年度重点方針４項目の概要

Ⅰ　地域包括ケアにおける看護力の強化と連携

今年度は、本協会の常任委員会である在宅ケア推進委員会の活動内容を見直すとともに、平成30年度より開始した、「医療圏別の在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業」を全医療圏に拡大し、委員会との連携を図る計画であった。看看連携の第一歩である顔の見える関係づくりのための研修会等の開催が難しい状況であることから、在宅ケア推進委員会では規程を見直し次年度以降の取り組みを検討した。また、医療圏別の活動では、３年目となった岩国・長門・下関においては、検討会を基盤とし行政、在宅、施設、病院で働く看護職が継続的に連携をする仕組みができた。関係づくりの第一歩を踏み出せた。情報提供書を作成し活用できている等の高評価が得られた。令和３年度より、本事業の名称を「在宅療養支援のための看護職連携推進研修」と改め、要項を改正し本協会支部事業としての位置づけを明確にして地域に定着させていくことを目指す。また、在宅ケア推進委員会と支部の連携により、県全体で情報の共有にも取り組んで行く計画である。

Ⅱ　看護職の就業と定着の促進

本県では、地域や就業場所による看護職の偏在があり看護職の確保は継続した課題であることから、山口県ナースセンターを中心に就業と定着の促進のための事業に取り組んでいる。今年度は新型コロナウイルス感染拡大への対応として、５月１日には「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を県から受託し、チラシの作成・配布、ホームページ更新やメディアへの働きかけ等により再就業の呼びかけを行うなど、潜在看護師の掘り起しと就業支援に重点的に取り組んだ。

本協会が12月に行った「新型コロナウイルス感染拡大に伴う現状調査」で、看護管理者の80%が看護職員へのメンタル面での影響を感じていると回答していた。コロナ禍において、健康で働き続けられる持続可能な働き方、職場づくりの重要性は増している。今年度日程を短縮して看護管理者を対象とした「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の研修会を行ったが、次年度以降も継続して実施する必要がある。

Ⅲ　看護の質の向上とキャリア形成の促進

地域包括ケアシステム構築が推進される中で、急性期から在宅医療までそれぞれの場で多様化、高度化する看護職の役割を果たすためには看護職ひとり一人が個々のキャリアプランを立て、それに沿った能力の向上を図ることが必要である。また、少子化による労働人口の減少を鑑みると、看護学生や新人

看護師は将来を担う貴重な人材であり、職業人生の入口で挫折することが無いように指導・教育の体制を整えていく必要があることより、令和２年度事業の見直しを行う中で、資格認定に関する研修や施設において人材育成に位置付けられている研修は優先度が高いと考え実施した。

また、看護制度委員会の活動内容を見直し、保・助・看（准）三職能を対象とした看護制度全般に係る課題の検討と将来に向けた看護教育の課題等について話し合う場を設けることを計画していたが、コロナ禍での場の設定が難しく、アンケートでの情報収集に留まった。

Ⅳ　組織力の強化

地域包括ケア、地域医療構想、働き方改革などに関連する取組みが加速する中で、本協会には看護が担うべき役割を支援する迅速な情報発信や事業への取組みが可能となる資金と人材といった組織力の強化が課題である。昨年度は、組織力の強化に向けて会員数10,600人を目標とする２年計画の１年目であったが、会員数は48人の減であった。常務理事会において、理事会よりの委任事項「組織強化のための会員数増加に向けた取り組み」を検討した。結果については令和３年３月の理事会で報告したところであるが、次年度は常務理事会よりの提案に基づき会員増に向けた取り組みを強化する必要がある。

また、コロナ渦でオンラインによる研修形態の普及が加速している中で、本協会でも事業再開にあたってZOOMを用いたオンライン研修を導入した。以降、研修内容も考慮しながら講師と調整を行い可能な研修については、受講者は看護研修会館に集合とし、講師がオンラインで講義を行うといった方法で開催した。危機時においての迅速な情報収集・意見集約・情報発信の必要性と共に、集合研修主体で行ってきた本協会事業の実施形態についてオンライン研修などの選択肢を増やすことなどの検討も今後必要である。

本協会では、県内に11の支部をおき運営してきたが、将来に向け支部の活性化について検討する中で、豊浦支部から会員施設数の減少などによる支部運営の課題が挙がっていた。この件につき豊浦・下関支部長と協議し、常務理事会においても協議を行い、令和２年７月の支部集会において「豊浦支部を下関支部に合併することについて」を提案し同意を得た。

豊浦・下関支部は、昭和43年に日本看護協会山口県支部（当時）の副支部として設置され、昭和54年の社団法人山口県看護協会の認可、平成24年の公益移行後も本協会の目的達成のために支部会員の努力のもと継続して活動を続けてきた。地域的には、平成17年に下関市と豊浦郡４町の合併が行われ下関市となったが、本協会としては２つの支部での体制を維持してきた。北部に位置する豊浦支部の会員数は、平成24年度末が229人、令和元年度末245人と支部の努力により維持できているが、会員施設は平成24年度末12施設であったのに対して、令和元年度末には７施設と大きく減少し、主な運営は支部内の２病院が担う状況が続き負担となっていた。このことより、豊浦支部の活動に永年貢献されてきた方々の支部への愛着も鑑みながらも支部の組織力の強化を図る目的で、豊浦支部の下関支部への合併を決定した。

事業報告は、定款第４条の８つの事業に沿って掲載

1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
3　看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
4　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
5　公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業
6　施設の貸与に関する事業
7　会員の福祉及び相互扶助に関する事業
8　その他本会の目標を達成するために必要な事業

※新型コロナウイルス感染拡大への対策として、令和２年４月１日から６月30日の期間に計画をしていた研修会等で中止となったものについては、主な事業内容に中止と記載した。

1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）看護教育に関する事項 ⑴一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会　17コマ17日を実施 19コマ中止 ・受講者総数　801人／定員数1,110人（受講者／定員＝72.1％）
⑵認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程サードレベル 32日（R2.8.7～ R2.11.28）6科目　180時間　修了者　21人 ②認定看護管理者教育課程ファーストレベル　中止
⑶新人看護職員研修事業 （山口県委託）	①検討会 第1回　R2.7.15　出席者：12人 第2回　R3.1.20　出席者：11人 ②研修責任者研修　3日　17時間　受講者：24人 （R2.10.31　R2.11.7　R2.11.17） ③教育担当者研修　5日　28時間　受講者：35人 （R2.10.31　R2.11.3　R2.11.14　R3.2.9　R3.2.10） ④実地指導者研修　5日　28時間　受講者：49人 （R2.8.26　R2.8.27　R2.9.8　R2.9.15　R2.10.2）
⑷助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 （山口県委託）	①新人助産師研修　6日　新人助産師受講者：18人 （R2.8.8　R2.9.12　R2.10.10　R2.11.28　R2.12.5　R3.2.20） ②助産実践能力向上研修　2回 第1回　R3.2.5　受講者：15人 第2回　R3.2.13　受講者：11人
⑸実習指導強化推進事業 （山口県委託）	①検討会 第1回　R2.7.2　出席者：12人 第2回　R2.12.12　出席者：11人 ②実習指導者養成講習会　43日 R2.8.19～11.13　修了者　33人 ③実習指導者と看護教員の相互研修　中止

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	④実習指導アドバイザー派遣　中止
⑹看護職員認知症対応能力向上研修　（山口県委託）	①検討会・打合せ会　　3回 第1回検討会　　R2.8.7 第2回検討会・打合せ会　R2.10.13 第3回検討会　　R3.1.26 ②研修の実施 前期　中止 後期　3日（R2.11.14　R2.11.25　R2.12.8）　受講者：41人（修了証発行　38人）
⑺JNA収録DVD研修（日本看護協会委託）	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識　1回 2日（R3.1.15　16）　　受講者：71人（修了証発行　69人） 研修ファシリテータ（認知症看護認定看護師　1人）
⑻その他研修	①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 R2.10.9　受講者：64人 ②JNAラダーの普及・推進に向けたクリニカルラダー研修（JNAオンデマンド活用）　　1回　R2.11.19 受講者：44人
⑼委員会	①教育委員会　9回 ②認定看護管理者教育運営委員会　3回
⑽日本看護協会との連携会議・研修への参加	①都道府県看護協会教育担当者会議　中止
2）医療安全推進事業 ⑴医療安全管理者の養成および実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修（7日間45時間の研修） 7日（R2.9.18～ R2.11.6）　受講者：42人　修了者：41人 医療安全管理者養成研修フォローアップ研修 1日（R3.3.5）　受講者34人 ②医療安全管理者スキルアップ研修 中止
⑵医療安全推進事業	①医療看護安全啓発 医療安全情報きらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の啓発・普及
⑶医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。 ②医療安全管理者交流会 中止
⑷委員会	①医療安全推進委員会　5回
⑸日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全担当役員会議Web開催 R3.3.3　出席者：2人
⑹看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
3)学会等学術集会に関する事業 ⑴山口県看護研究学会開催	①第20回山口県看護研究学会　中止　誌上発表
⑵委員会	①学会委員会　3回
4) 図書室運営に関する事業 ⑴図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 書籍購入 定期購読雑誌・学会誌(22タイトル)：245冊 書籍：46冊　冊子：38冊 ②図書貸出 書籍・ビデオDVD貸出：410件 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌) 医学中央雑誌へ文献複写依頼：9件 山口県看護研究学会論文集・集録集・抄録集の文献複写依頼：8件 ④図書室利用者：305人 内訳　岩国：14人　柳井：20人　周南：67人 防府：56人　山口：72人　宇部：37人 小野田：9人　長門：7人　萩：2人 豊浦：2人　下関：9人　会員外(非会員・学生)：22人
⑵日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入　雑誌：22冊 ②最新看護索引Web機関版の利用 ③都道府県看護協会図書室担当者研修(Web開催) R3.1.29　出席者：1人

2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)ナースセンター事業 ⑴ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	ナースセンター運営協議会　R3.2.2　出席者15人
⑵無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS (ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・求人・求職相談件数 求人 / 求職者 / 合計 983 / 1,626 / 2,609 ・求人・求職・就職者数 求人 / 求職者 / 就職者 / 就職率 / 求人倍率 4,064 / 1,039 / 123 / 11.8% / 3.91 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 連携事業連絡調整会議

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td></td><td>第1回　R2.7.16　出席者9人
第2回　R3.2.19　出席者12人
③広報
ナースセンターだよりの発行、山口県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報等</td></tr>
<tr><td>⑶再チャレンジ研修
（山口県委託）</td><td>①再就業支援研修（研修協力施設）
開催時期：R2.8～ R3.3
研修期間：26病院・訪問看護ステーションの協力のもと3～5日間の研修
受講者：2人のうち就業者2人（就業率　100％）
・地域別研修受講状況　周南市　1人、 山口市　1人
・資格別研修受講状況　看護師　2人
②未就業看護職者対象研修（集合研修）
1回目R2.7.30 中止
2回目R2.10.7 参加者3人
③調整会議　　R2.1.26
④広報
チラシを作成し各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者に配布</td></tr>
<tr><td>⑷再就業コーディネーターの配置（山口県委託）</td><td>①再就業コーディネーターによるハローワークでの出張相談、就業支援
・ハローワーク別出張相談状況　R2.8～ R3.3
<table>
<tr><td>地域</td><td>岩国</td><td>徳山</td><td>防府</td><td>山口</td><td>宇部</td><td>萩</td><td>下関</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td>6</td><td>54</td></tr>
<tr><td>件数</td><td>6</td><td>6</td><td>3</td><td>15</td><td>11</td><td>4</td><td>5</td><td>50</td></tr>
</table>
＊Ｒ2年5月～7月のハローワーク相談は中止
②再チャレンジ研修の調整、受講者の就業相談支援
③臨床心理士による専門相談　第4火曜日に実施
開催回数10回、相談件数2件
④調整会議
第1回　R2.7.14　第2回　R3.3.2
⑤就業サポーターとの合同会議　　R2.12.1
⑥広報
ハローワーク出張相談に関するチラシを作成し、県内各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者に配布</td></tr>
<tr><td>⑸就業支援サポーターの配置
（山口県委託）</td><td>①サテライトでの相談、就業支援　R2.8～ R3.3
<table>
<tr><td>地域</td><td>岩国・柳井</td><td>周南</td><td>山口</td><td>宇部</td><td>萩・長門</td><td>下関</td><td>合　計</td></tr>
<tr><td>回数</td><td>8</td><td></td><td>8</td><td>8</td><td>8</td><td></td><td>32</td></tr>
<tr><td>件数</td><td>4</td><td></td><td>6</td><td>4</td><td>0</td><td></td><td>14</td></tr>
</table>
＊Ｒ2年5月～7月のサテライト相談は中止。また周南、下関地域においては会場を開設せず電話対応とした。
②サテライトからの施設・看護学校訪問　22件
③調整会議
第1回　R2.7.14　第2回　R3.3.2
④再就業コーディネーターとの合同会議　R2.12.1</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td></td><td>⑤広報
サテライト相談に関するチラシを作成し、県内各病院、県内ハローワーク、行政機関、図書館、相談者に配布</td></tr>
<tr><td>⑹看護師等就業協力員の育成
（山口県委託）</td><td>①看護師等就業協力員研修会の開催
R2.10.13　参加者：19人
「地域包括システムについて」
②活動内容：進路相談、学校訪問、潜在看護師などの就業相談等の活動を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため病院などでの活動が充分できなかったとの報告が多かった。</td></tr>
<tr><td>⑺演習器材の貸出
（山口県委託）</td><td>①貸出件数
<table>
<tr><th>器材名</th><th>計</th></tr>
<tr><td>万能型成人実習モデル</td><td>5</td></tr>
<tr><td>呼吸音聴取シミュレータ</td><td>4</td></tr>
<tr><td>吸引シミュレータ</td><td>10</td></tr>
<tr><td>採血・静脈シミュレータ</td><td>13</td></tr>
<tr><td>装着式採血静脈練習キット</td><td>1</td></tr>
<tr><td>導尿・浣腸シミュレータ男性</td><td>6</td></tr>
<tr><td>導尿・浣腸シミュレータ女性</td><td>7</td></tr>
<tr><td>合計</td><td>46</td></tr>
</table>
高等学校の看護科への貸し出しあり</td></tr>
<tr><td>⑻離職者・未就業者届出サポート　（山口県委託）</td><td>①施設訪問などを利用して管理者に協力依頼
②届け出登録者に電話で情報提供などのサポート
③届出者の状況
<table>
<tr><th>項　　目</th><th>人数</th></tr>
<tr><td>届出数</td><td>313</td></tr>
<tr><td>うち電話対応数</td><td>146</td></tr>
<tr><td>うち復職意向あり</td><td>125</td></tr>
<tr><td>うちeナース登録</td><td>48</td></tr>
</table>
④届出者を対象とした実態調査
対象者：317人　回答：81人　回答率：25.6%</td></tr>
<tr><td>⑼看護職員再就業支援相談会
（山口県委託）</td><td>①看護職再就業支援相談会のあり方検討会（ハローワーク連携事業も兼ねる）
2回
第1回　R2.7.16　参加者：9人
第2回　R3.2.19　参加者：12人
②看護職再就業支援相談会の開催（ハローワークと共催）
<table>
<tr><th></th><th>下関会場</th><th>山口会場</th><th>周南会場</th></tr>
<tr><td>開催日</td><td>R2.11.18</td><td>R2.11.24</td><td>R2.11.30</td></tr>
<tr><td>場　所</td><td>海峡メッセ下関</td><td>パルトピアやまぐち</td><td>周南市文化会館</td></tr>
<tr><td>面談会
参加施設数</td><td>30施設</td><td>6施設</td><td>6施設</td></tr>
<tr><td>面談者数</td><td>51人</td><td>33人</td><td>24人</td></tr>
<tr><td>うち就業者数</td><td>5人</td><td>1人</td><td>3人</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>⑽看護技術演習（個人研修）</td><td>①毎月第1金曜日、第4火曜日に実施
・演習内容別参加状況　R2.5～ R3.3</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td></td><td>
<table>
<tr><td>内容</td><td>採血・注射</td><td>吸引</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>件数</td><td>16</td><td>5</td><td>21</td></tr>
</table>
・資格別研修参加状況　R2.5～ R3.3（複数の資格保有あり）
<table>
<tr><td>資格</td><td>保健師</td><td>助産師</td><td>看護師</td><td>准看護師</td><td>合計</td></tr>
<tr><td>人数</td><td>1</td><td>0</td><td>9</td><td>13</td><td>23</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑾看護師養成所等における実習補完事業
（厚生労働省補助金事業）</td><td>①実習補完事業に関する調査
調査期間：9.11～9.16　対象：22施設
②器材（フィジカルアセスメントモデルPhysiko）貸出　看護師等養成所5か所
実習補助要員派遣　看護師等養成所4か所に5回</td></tr>
<tr><td>⑿会議等への出席</td><td>①山口県看護職員確保対策協議会　中止</td></tr>
<tr><td>⒀日本看護協会との連携</td><td>①都道府県ナースセンター事業担当者会議（書面開催）
開催日：R2.7.3
②都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会（Web開催）
開催日：R2.9.29　出席者：2人
③都道府県ナースセンター相談員研修（中央ナースセンター）（Web開催）
開催日：R3.2.22　出席者：1人、R3.2.24　出席者：2人</td></tr>
<tr><td>2）プレナース発掘事業
⑴看護PRリーフレットの作成・配布（山口県委託）</td><td>看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布
①作成80,000枚
②配布
<table>
<tr><td>配布先</td><td>配布枚数</td></tr>
<tr><td>県内の中学校（152校）・高等学校（95校）</td><td>70,600</td></tr>
<tr><td>県内各病院、県医師会、郡市医師会、看護師等学校、県および市町等の関係機関</td><td>9,400</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>⑵1日ナース体験
（山口県委託）</td><td>中止</td></tr>
<tr><td>⑶看護の魅力発見
（山口県委託）</td><td>中止</td></tr>
<tr><td>⑷看護職員の学校訪問
（山口県委託）</td><td>看護師等就業協力員及びナースセンター職員による中学校訪問の実施
<table>
<tr><td>地　　域</td><td>訪問校数</td></tr>
<tr><td>岩国</td><td>2</td></tr>
<tr><td>柳井</td><td>2</td></tr>
<tr><td>周南</td><td>2</td></tr>
<tr><td>防府・山口</td><td>5</td></tr>
<tr><td>宇部・山陽小野田</td><td>6</td></tr>
<tr><td>長門</td><td>2</td></tr>
<tr><td>萩</td><td>1</td></tr>
<tr><td>下関</td><td>8</td></tr>
<tr><td>合　　計</td><td>28</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
3)働き続けられる職場づくり推進事業 **(1)拡拡働き続けられる職場づくりの啓発・支援**	①労働環境支援委員会　4回 ②看護職員就労定着支援事業 ・ヘルシーワークプレイス研修会　2日(R3.11.19、20)　受講者：34人 ・病院等へのアドバイザー派遣による相談会　相談件数：1件 ・セカンドキャリア支援研修会　R3.12.17　受講者：16人
(2)日本看護協会との連携	①都道府県看護協会看護労働担当者会議(Web開催) R2.11.25　出席者：2人
(3)医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣事業 (山口県委託)	医療勤務環境改善センターからの依頼を受け、支援対象施設に働き方等に関するアドバイザーを派遣する業務　派遣件数：0件
4)新新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 (山口県委託)	(1)看護職員紹介マネジメント専門員の設置 (2)潜在看護師の掘り起こしと求人施設のマッチング ①潜在看護師掘り起こしのためのチラシ作成と配布 第1弾　R2.5 未就業者紹介票付チラシ　20,000枚作成 一般住民向け未就業者支援チラシ　30,000枚作成 第2弾　R3.3 一般住民向け未就業者支援チラシ　100,000枚作成 ②ナースセンター事業の未就業者に電話及び来所時に呼びかけ 看護職227人　求人施設　27施設 ③新型コロナウイルス感染症に関する就業協力者の登録及びリスト作成 (3)潜在看護師を対象とした看護職感染症対応力向上研修会　2回 第1回　R2.7.30　受講者：9人 第2回　R2.8.6　受講者：5人 (4)新型コロナウイルス軽症者等に係る宿泊療養施設の説明会　2回 第1回　R2.9.17　参加者：8人 第2回　R3.2.26　参加者：4人 (5)山口県看護協会ホームページに「新型コロナウイルス対応」を特設し情報発信　R2.4.22 ホームページに掲載 (6)144病院の看護管理者を対象に新型ウイルス感染症に関する現状調査 第1回　調査期間：R2. 4.24～ 5.12　回収率：77.7% 第2回　調査期間：R2.12.11～12.15　回収率：72.9% (7)新型コロナウイルス感染症拡大時に対応する看護職員等の派遣調整 ①軽症者宿泊療養施設への看護師派遣調整 ・調整のための病院訪問　12件 ・調整の内訳　派遣病院：延べ10施設　派遣看護師数：延べ29人 派遣日数：合計 125日 ②医療機関への派遣調整　※本協会での調整のみ記載

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>5)新型コロナウイルス感染症対応事業</td><td>・調整の内訳　派遣病院：1施設　派遣看護師数：3人
派遣日数：合計 15日

⑻クラスター発生医療機関の情報収集と支援　3施設

⑴看護職を対象とした相談窓口(電話)を設置
R2.4.24～ R3.3.31　相談件数：3件
⑵認定看護師による入所施設向け新型コロナウイルス感染症対応研修(県と協賛)
開催状況
<table>
<tr><td>日時</td><td>8月28日</td><td>9月2日</td><td>9月10日</td><td>9月16日</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>山口県看護研修会館</td><td>下関市勤労福祉会館</td><td>あいパーク光</td><td>山口県看護研修会館</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>35</td><td>48</td><td>69</td><td>72</td></tr>
</table>
⑶日本看護協会よりの防護具の配布
県内　163施設にマスク26,000枚、39施設に防護服1,800枚配布</td></tr>
</table>

3　看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

(公益事業)

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>1)看護業務の質の向上に関する事業</td><td></td></tr>
<tr><td>⑴保健師職能委員会</td><td>①保健師職能委員会　5回
②支部職能委員との合同会議　1回
③全国職能委員長会　Web開催　2回
④地区別保健師職能委員長会　Web開催　1回</td></tr>
<tr><td>ア　保健師の連携強化及びネットワークの構築</td><td>①保健師職能集会の開催　中止
②保健師職能交流会の開催　中止
③支部連携として合同会議の開催　R3.3.20
④ひたむきな保健師取材、会報きらめき 掲載　3回
⑤ホームページ、会報・チラシによる情報発信</td></tr>
<tr><td>イ　保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進</td><td>①研修会・交流会の実施　中止
②教育研修計画への参画　なし
③日本看護協会実施の研修会　中止</td></tr>
<tr><td>ウ　会員増加の推進</td><td>①保健師職能集会や交流会の開催　中止
②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用
③ホームページによる情報発信</td></tr>
<tr><td>⑵助産師職能委員会</td><td>①助産師職能委員会　5回
②支部職能委員との合同会議　2回
③全国職能委員長会　Web開催　1回
④地区別助産師職能委員長会　Web開催　1回</td></tr>
<tr><td>ア　助産実践能力向上研修</td><td>①新人助産師研修の企画・運営・評価　5回
新人助産師研修受講者：18人　　延べ受講者：93人</td></tr>
</table>

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	②助産実践能力向上研修の企画・運営・評価5回　3回中止 助産師研修受講者：21人　　延べ受講者：26人 ③教育研修計画への参画
イ　包括的母子保健推進における看護機能の強化	①助産師職能委員会の会議やメールを活用し周産期医療の現状と課題について情報収集 ②コロナ禍における周産期医療の現状や課題を検討 ③山口県の現状を中四国ブロックの助産師職能と会議やメールで情報共有
ウ　災害時における周産期の体制整備と連携強化	①支部助産師職能委員合同会議において各施設の体制や訓練の状況等を情報共有 ②災害研修で「風水害」の災害対策や災害の持ち出し物品について周知した
エ　助産師ネットワークの強化	①助産師職能集会開催　中止 ②支部連携：年2回支部合同研修開催、新人助産師研修の共同運営 ③中四国ワークショップ 中止 ④会議の中止に伴いメール等でネットワークづくりを実施したが、強化まではいかなかった
オ　広報活動推進	①「国際助産師の日」　中止 ②ホームページ・会報誌「きらめき」の活用
⑶看護師職能委員会Ⅰ	①看護師職能委員会Ⅰ　6回 ②支部職能委員との合同会議（R2.10月）　1回 ③看護師職能Ⅱ合同会議　5回 ④全国職能委員長会（看護師職能Ⅰ・Ⅱ）　Web開催　1回 ⑤地区別看護師職能委員長会　Web開催　1回
ア　調査・研究活動	①「看護師のクリニカルラダー JNA版」の活用普及に向けた活動 県内142施設を対象にJNAラダーに関する現状調査と令和元年度にクリニカルラダーの作成のための講習会に参加した5施設に対し、その後の実態調査を行なった。
イ　連携強化および意識向上のための取り組み	①病院管理者と行政保健師の連携強化に向けた活動 連携強化に向けて病院管理者と行政保健師の交流会を引き続き検討 ②看護師職能委員会Ⅱとの連携 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力
ウ　職能委員会活動の周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用 ②ホームページの活用 ③支部職能委員会との連携強化、情報共有
⑷拡　看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ　7回 ②支部職能委員との合同会議（R2.10）　1回 ③看護師職能Ⅰとの合同会議　5回 ④全国職能委員長会（看護師職能Ⅰ・Ⅱ）　Web開催　1回 ⑤地区別看護師職能委員長会　Web開催　1回
ア　介護・福祉施設関係施設	**①拡介護施設等職員の医療的知識習得研修（認定看護師出前講座）の開催**

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
で働く看護職の資質向上の推進	**14回**
イ　連携強化および意識向上のための取り組み	①看護師職能Ⅱ領域交流会　中止 ②看護師職能委員会Ⅰとの連携 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力
ウ　職能委員会活動の周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用 ②ホームページの活用 ③支部職能委員会との連携強化、情報共有
⑸職能集会	①保健師職能集会　中止 ②助産師職能集会　中止 ③看護師職能集会　中止
⑹看護制度委員会	①看護制度委員会　6回
ア　拡看護制度の課題解決への取り組み	①看護教育現場の課題把握のためのアンケート調査実施 20施設　204人を対象に実施　回収率：87.3% ②准看護師スキルアップ研修・進学支援　R2.12 .5　参加者：10人 ・JNAオンデマンド活用研修「感染予防の基本」 「誤嚥を予防する食事介助の基本」 ・情報提供「看護資格取得のための方法」 ③感染管理認定看護師意見交換会　R2.7.18　参加者：30人 テーマ「新型コロナウイルス感染症対策における課題把握と課題解決のための意見交換会」
イ　日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議 Web開催　R2.12.19　出席者：1人
ウ　広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
⑺助産師出向支援導入事業（山口県委託事業）	①助産師出向支援導入事業協議会　2回 第1回　R2.10.8　第2回　R3.3.25 ②助産師出向に関する調査の実施 期間：R2.10.26～11.16　対象：山口県内分娩取扱い施設30カ所 回答：20施設（回答率　66.7%） ③助産師出向の支援 意向調査結果より1施設の出向調整を行うが実施に至らなかった ④助産師出向支援導入事業研修会の開催 テーマ：助産師実践能力強化 参加者：19人

4　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）地域連携における看護の機能強化事業	
⑴拡在宅療養支援に係る看護職	医療圏内の在宅療養支援に係る看護職員の相互理解の推進・連携の強化を図

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
の連携推進・強化 （山口県委託事業　訪問看護実践研修）	る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設看護管理者、訪問看護ステーション管理者、地域包括支援センター保健師等で検討会を設置。 ①検討会　岩国：2回、柳井：2回、周南：1回、防府：4回、長門：2回 萩：1回、下関 2回 ②研修会　防府：1回、長門：1回、岩国、柳井、周南、下関は中止
⑵拡在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会　5回 ②在宅ケア推進委員会規定の改定、活動方針の検討 ③在宅療養支援に係る看護職の連携強化事業（訪問看護実践研修）の検討会への活動調査実施 ④在宅療養を支える看護職の人材育成、離職防止 訪問看護新任者研修の開催 中止
⑶訪問看護師育成支援事業 （山口県委託）	①訪問看護師育成支援事業検討会 2回 ②訪問看護研修ステップ１（新カリキュラムによる訪問看護初任者研修） 5月～12月の間　180時間　30日程度（見学実習3日程度を含む）　中止 ③中堅者から管理者対象研修（訪問看護師スキルアップ研修）の企画・実施 5回計画のうち2回実施 ・R2.11.15　山口県訪問看護ステーション協議会との合同開催 「ケアの原点に立ち返るとき-コロナ禍のなかで-」 受講者：58人 ・R3.2.13　管理者対象「訪問看護ステーションにおける感染症対策～管理者の対応～」　受講者：51人 ④訪問看護入門研修　2日間程度の企画・実施 3時間の講義のみ2日間で企画　受講者：延べ79人 ⑤訪問看護実践研修の実施医療圏の拡大
⑷日本看護協会及び関係団体との連携	①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 R2.11.15　訪問看護師スキルアップ研修の共同開催 受講者：58人（再掲） ②関係団体との連携協力 ③都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 Web開催　R2.11.19　出席者：2人
2）訪問看護ステーションの推進に関する事業 ⑴訪問看護ステーションの運営	①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ほうふ：42件　ひかり：45件　あぶ：90件 ・在宅看取り　ほうふ：1件　ひかり：5件　あぶ：6件 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ほうふ：１件　ひかり：0件　あぶ：3件 ・利用者の受診介助　ほうふ：10件　ひかり：40件　あぶ：1件 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催　2回　R2.7.21　R2.12.7

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2020(Web開催)への参加　1名 ・その他の研修参加　ほうふ：14回　ひかり：5回　あぶ：2回 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化 ・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催　10回 ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ほうふ：32人　ひかり：0人　あぶ：12人 ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町村・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・本協会ホームページ ・地域行事参加　訪問看護PRチラシ配布
3)健康相談・啓発等の事業	
⑴「まちの保健室」活動の実施	中止
⑵「国際助産師の日」活動支援	中止
⑶がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)	①相談窓口の設置 相談件数：105件(がん相談：83件　がん以外：22件) ②他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援のための会議 山口県がん総合診療連携協議会相談支援部会(Web会議) R3.3.25　出席者：2人 ③相談窓口利用促進のための広報 広報用ポケットカード・カレンダーの作製と送付、救急絆創膏送付 マスク作製、新聞広告掲載　6回　　防長バス車内案内
4)災害時の看護支援活動に関する事業	
⑴災害支援活動体制の整備、充実	①災害支援体制の整備・充実 ・災害支援要綱、災害派遣手順の見直し ・災害時の受援要綱の作成　(延期) ・冊子および電子冊子の作成、啓発 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備 ②「災害支援ナース育成研修企画・指導者研修」への参加による指導育成(開催なし)
⑵災害支援ナースの養成および資質向上のための支援	①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) ＪＮＡ収録DVD研修 中止

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	②災害支援ナース研修実務編　中止 ③災害支援ナースフォローアップ研修 応募者多数のため、R2.10.14、11.18の2回実施 「避難所での支援活動 ～新型コロナウイルス感染症を意識した感染症対策～」 受講者：1回目 65人　2回目 50人 ④災害支援ナースの新規登録　新規登録者：26人 ⑤災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動
⑶平常時の防災活動の推進	①山口県総合防災訓練等への参加　訓練開催中止 ②災害支援物品の整備 感染症に対応するための災害支援ナース活動物品〔マスク、手袋、消毒用アルコール、非接触型体温計等〕の追加配置
⑷日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会災害看護担当者会議　(Web開催)R2.11.11 ②日本看護協会、都道府県看護協会災害支援ナース派遣合同訓練に参加 R2.12.8～10　3日間 ③行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
⑸委員会	①災害支援委員会　5回
5)「看護の日」及び「看護の心」ＰＲ事業	
⑴看護の日・看護週間行事開催	①会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事を開催 6施設　参加者：1,705人 ②ふれあい看護体験は学生等を対象として会員施設で開催 2施設　参加者：7人 ③「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布
⑵看護のＰＲ	①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展　中止 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展　中学生参加者：131人 ③職場体験 ④進路相談

5　公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

（公益事業／法人事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)日本看護協会との連携強化事業 ⑴諸会議等への出席 （Web開催）	※法人事業 ①通常総会(規模縮小にて開催)　6.11 ②理事会　　R2.5.8、R2.7.30、31、R2.9.25、R2.11.26、27、R3.2.25、26 ③法人会員会　R2.7.31、R2.8.18、R2.11.27、R3.2.26 ④代議員研修会　中止 ⑤都道府県看護協会政策責任者会議　R3.2.25 ⑥都道府県看護協会会員情報管理情報交換会　R2.9.10 ⑦全国准看護師理事会議　R2.12.10

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	⑧都道府県看護協会広報担当役員会議　R3.1.15 ⑨全国看護基礎教育担当役員会議　R3.2.10 ※公益事業 ⑩全国職能別交流集会　中止 ⑪全国職能委員長会　R3.3.10、11 ⑫地区別職能委員長会 R2.10.23 ⑬都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議　R2.11.19 ⑭ナースセンター事業担当者会議　（書面開催） ⑮都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会　R2.9.29 ⑯ナースセンター相談員研修　R3.2.22、24 ⑰都道府県看護協会教育担当者会議　R2.7.2 ⑱都道府県看護協会災害看護担当者会議　R2.11.11 ⑲都道府県看護協会看護労働担当者会議　R2.11.25 ⑳都道府県看護協会医療安全役員会議　R3.3.3
⑵日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	①看護職資格の活用基盤強化を考える会　Web開催 R2.12.24 参加者：37人 ②日本看護学会委員会　2回（R2.6.23　12.24） ③地域包括ケアシステム推進にむけた保健医療福祉の連携強化に関する検討委員会　3回（R2.7.16　12.21　R3.2.5） ④地域包括ケアの実現を支える保健医療福祉連携システムの構築事業に係るヒアリング等　12回 その他の協力の詳細については各事業計画を参照

6　施設の貸与に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）研修会館の貸与事業 ⑴公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸 0件 ②会員及び支部に対し会議室等を無料貸出　11件

7　会員の福祉及び相互扶助に関する事業

（収益等事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）会員への福利厚生等に関する事業 ⑴福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、 日本看護協会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会長表彰及び特別会長表彰の実施　5人表彰 ④傷病見舞　7人、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金　3人の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援　　中止 ⑦レジャー施設等優待、割引

8　その他本会の目的を達成するために必要な事業

（公益／収益等／法人）

<table>
<tr><th>事　業　項　目</th><th>主　な　事　業　内　容</th></tr>
<tr><td>1)看護職への支援事業
(1)相談支援センター活動推進</td><td>①相談支援センターの運営
<table>
<tr><th>分類</th><th>件数</th><th>分類</th><th>件数</th></tr>
<tr><td>就業関連の悩み</td><td>6</td><td>看護業務</td><td>6</td></tr>
<tr><td>進学・進路</td><td>2</td><td>職場環境</td><td>11</td></tr>
<tr><td>学習(研究)支援</td><td>0</td><td>その他</td><td>5</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>2)支部活動事業
(1)支部活動の推進</td><td>①支部活動の運営(※公益/収益等/法人)
②支部運営会議による協議</td></tr>
<tr><td>3)組織運営に関する事業
(1)適正な財産運営</td><td>①健全な財産管理、運用(※法人)
会館・事務局運営</td></tr>
<tr><td>(2)各種事業運営</td><td>①通常総会(※法人)規模縮小し開催　R2.6.28
②理事会(※法人)　7回
常務理事会(※法人)　5回
監査会(※法人)　2回
③その他事業(各種会議)(※法人)
・支部運営会議　3回
・推薦委員会(※法人)　3回
・県・支部推薦委員合同会議(※法人)　1回
・選挙管理委員会　1回
・他、各種会議(※法人)</td></tr>
<tr><td>(3)拡看護政策推進のための組織強化事業</td><td>①地域の政策力強化(※法人)
・看護管理者会議　R2.7.4　参加者：86人
②理事会よりの委任事項として、入会促進に向けた対策を常務理事会で協議、4回開催し目的の明確化、現状把握後具体策について検討
③看護協会入会促進
・入会促進用パンフレット、広報用リーフレットの配布
訪問看護ステーション・福祉介護施設等</td></tr>
<tr><td>(4)プロジェクト事業
NursingNowキャンペーンin山口</td><td>①山口県民に看護の価値・魅力を伝える
「看護の日」Nursing Nowチラシ作製と配付
②看護職自ら看護の魅力に気づき看護の持つ力を十分に発揮する機会を作る取組の実施
「今伝えたい看護の心・技・知恵」エピソードを看護職から募集
応募作品数　26作品
最優秀賞　1題、 優秀賞　3題を選考
③日本看護協会主催「看護の日・看護週間制定30周年ナイチンゲール生誕200周年記念イベント　Nursing Now：看護の力で未来を創る」イベント　Web開催への参加　R3.1.21</td></tr>
<tr><td>4)広報活動事業</td><td></td></tr>
</table>

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
⑴広報活動	①会報「きらめき」発行（※公益/収益等） ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用（※公益/収益等） ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載
⑵各種情報提供	①会員増加の推進（※収益等/法人） ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」の配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会入会のご案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ・「日本看護協会事業案内」配布 配布先：入会希望施設、未入会施設 ②タイムリーな情報提供（※公益/収益等/法人） ・逓送便　　1回/月 ・印刷物等配布
5）他団体との連携 ⑴看護教育機関との連携	①入学式・戴帽式・卒業式等に祝文（※法人） ②見学・実習の受け入れ（※公益） ③卒業時に協会のPR（パンフレット等配布）（※法人）
⑵看護関連政策の推進	①要望・提言・情報の提供（※法人） ・令和3年度施策、予算措置についての要望書を提出 ・令和3年度地域医療介護総合確保基金（医療分・介護分）の事業提案 ・令和2年6月2日　新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を県知事及び県議会議長に提出 ・日本看護連盟と山口県看護連盟との連携 2020年度日本看護協会・看護連盟　都道府県看護協会・看護連盟合同会議　R2.9.24 2020年度中国・四国ブロック看護連盟会長・看護協会会長合同会議　R3.1.15
⑶他団体との共催行事	①医療関係団体新年互例会（※法人）　中止 ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和2年度　一般教育研修実績報告

【新人研修】

研修名(テーマ)	開催日(定員)	受講者数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
専門職業人として求められるもの ～山口県看護協会について～ 看護って素晴らしい！ ～新人ナースの皆さんへのメッセージ～	5/20(水)	中止	0	0

【看護研究】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
楽しくわかる！看護研究 「研究計画書作成の方法」	5/16(土)	中止	0	0
楽しくわかる！看護研究 「量的研究と統計手法」(2日間)	6/11(木)、 6/12(金)	中止	0	0

【看護管理】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
【オンライン研修】	看護組織におけるサーバント・リーダーシップ ～奉仕型のリーダーシップとは～	10/3(土)	67	63	4
管理者のタイムマネジメントとムダの削減の実践		5/23(土)	中止	0	0
プレ管理者向け研修					
リーダーシップに必要な要素について学ぼう ～統率力・率先力・コミュニケーション力～		7/31(金)	中止	0	0
自分の看護を見える化(概念化)しよう ～概念化のプロセスを学ぼう～（2日間）		9/4(金)、 9/5(土)	中止	0	0

【自己教育】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
論理的な「考え方」「話し方」のコツ		7/4(土)	中止	0	0
【オンライン研修】	会議(ミーティング)を変える！ ファシリテーションスキル(2日間)	11/27(金)	18	17	1
		11/28(土)	中止		
【オンライン研修】	ナースのためのストレスマネジメント ～自分が元気になれる方法を見つけよう～	令和3年 1/21(木)	40	40	0

看護実践能力【ニーズをとらえる力】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
ウイルス性肝炎に関する 患者・家族指導に必要な知識を学ぼう		6/30(火)	中止	0	0
【DVD研修】	ハート先生の「ナースのための心電図教室」	令和3年 2/17(水)	44	41	3
ハート先生の「心不全セミナー」		令和3年 2/18(木)	中止	0	0
【オンライン研修】	臨床推論トレーニング データの読み方、考え方	11/12(木)	65	61	4
【オンライン研修】	フィジカル所見と画像検査 ～アセスメントに役立つ画像診断～	11/13(金)	76	74	2

看護実践能力【ケアする力】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
【オンライン研修】	事例から学ぶ高齢者看護に必要なアセスメントとケア	令和3年 1/30(土)	40	40	0
指導者として学ぶフィジカルアセスメント		令和3年 3/18(木)	18	18	0
		3/19(金)	中止		
見過ごしてはいけない急変の兆候と対応		7/7(火)	中止	0	0
【オンライン研修】	顧客満足度アップで目指せクレームゼロ！ ～クレームにならないための初期対応～	10/30(金)	48	44	4
感染対策の基本と最新情報 ～病院所属者向け感染セミナー～		10/7(水)	71	64	7
在宅・介護福祉施設のための感染対策の基本		12/5(土)	24	23	1
看護師に求められる薬剤知識		12/11(金)	63	63	0
やる気スイッチを入れるコーチング		8/29(土)	中止	0	0
ベッドサイドの摂食嚥下ケア		7/30(木)	中止	0	0
褥瘡ケアの基本と応用 ～こんなときはどうする？実践にいかすためのポイント～		9/12(土)	中止	0	0
糖尿病患者のフットケアの実践とセルフケア指導 ～足病変をいち早く見つけ患者に必要なケアを提供しよう～		11/21(土)	22	22	0

看護実践能力【協働する力】

研修会テーマ	開催日	受講者総数	受講者内訳	
			会員受講者数	会員外受講者数
医療従事者の安全を考えるノンテクニカルスキル	5/30(土)	中止	0	0
災害発生！その時あなたはどう動く⁉ ～災害時、施設における受援体制について～	9/25(金)	中止	0	0
地域の社会資源・制度を活用しよう！	9/16(水)	中止	0	0
山口県の地域包括ケアの現状と取組 ～今、看護職ができることを考えよう～	10/16(金)	中止	0	0
いまさら聞けないタバコのこと ～加熱式・電子タバコについて～	7/14(火)	中止	0	0

看護実践能力【意思決定を支える力】

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
【オンライン研修】	認知症患者のエンドオブライフケア	11/7(土)	60	60	0
患者・家族に寄り添い、悩み、ともに考える ～ AYA世代がん患者の意思決定支援～		12/15(火)	32	32	0
「人生会議」 ～アドバンス・ケア・プランニングを考える取り組み～		8/19(水)	中止	0	0
【オンライン研修】	事例を通して学ぶ臨床倫理 ～ナースの困ったに応える倫理相談室～	令和3年 2/6(土)	50	49	1

アンケート枠

研修会テーマ		開催日	受講者総数	受講者内訳	
				会員受講者数	会員外受講者数
【オンライン研修】	認知症を持つ人の理解と関わり方 ～パーソンセンタード・ケアを学ぼう～	10/29(木)	63	56	7

令和２年度　支部事業報告

岩国支部事業報告

支部長　早瀬敏子

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 2)在宅現場の医療・看護・介護従事者とのスムースな連携の仕組みづくり
評価と今後の課題	予定事業は新型コロナ感染拡大防止のため、開催が中止となった。 訪問看護実践研修で、医療・看護・介護従事者の連携・ツールの活用状況を報告し、課題を検討予定であったができなかった。次年度は、課題を明らかにし、課題解決の取り組みが報告できるように取り組んでいく。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修：支部研修会　中止 2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会　中止 3)3支部合同看護マネジメント研究会(開催地　柳井市)　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し支部会員に研修参加を働きかける 2)看護職資格の活用基盤強化を考える会　R2.12.14
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催　各施設で実施 2)「いいお産の日」啓発事業　各施設で実施 3)まちの保健室開催　中止 4)進路相談　各施設で実施 5)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化事業(県委託事業) 訪問看護実践研修検討会　1回開催　研修会中止 6)地域包括ケア・認知症予防の啓発事業 「岩国市地域包括ケア推進大会」開催　中止
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰者推薦事業 2)看護職交流会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 ⑴看護学校入学祝電 ⑵看護学校卒業式祝電 2)支部集会　R2.7.27　出席者：11人　委任状：354人　計：365人 3)支部役員会　2回 4)支部委員会 ⑴職能委員会　1回 ⑵教育委員会　1回 ⑶推薦委員会　1回 ⑷選挙管理委員会　1回 5)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」への投稿 ⑵県協会ホームページへの投稿

柳井支部事業報告

支部長　守田教子

活動目標	1. 地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2. 会員相互の親睦を図り、連携を深める
評価と今後の課題	支部事業計画は、コロナ禍の影響により、やむを得ず教育研修及びまちの保健室は中止となった。看護職の連携強化、看護の質の向上のために役員・委員の活動は、新型コロナウイルス感染対策マニュアルに沿い必要最低限のみの実施となった。今後は、感染対策も踏まえた上で、安全に活動ができるように取り組んで行く。 在宅療養支援に係る連携推進・強化事業については、訪問看護を知るための検討会を実施した。今後も、引き続き開催していく。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修　中止 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴第3回3支部マネジメント研究会　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 県協会労働環境支援委員会の研修参加を働きかける
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 ⑴看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設ポスター掲示 ②Nursing Now キャンペーン：各施設、ポスター掲示及びグッズの配布 2)健康相談・啓発などの事業 ⑴まちの保健室　中止 ⑵進路相談　各施設で実施 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化（県委託事業） ⑴訪問看護実践研修検討会　①2回開催 ⑵訪問看護実践研修　中止
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業等）	1)会員への福利厚生などに関する事業 ⑴表彰候補者の推薦　県協会の協力
5　その他本会の目的を達するために必要な事業（公益／収益等／法人）	1)支部組織の強化に関する事業 ⑴支部活動の充実 ①地域会議へ出席 ②看護学校4校　入学式、卒業式の祝電 2)組織運営に関する事業 ⑴支部集会 R2.7.22　出席者：15人　委任状：478人　合計：493人 ⑵支部役員会　1回 ⑶支部委員会 職能委員会、教育委員会、推薦委員会、選挙管理委員会　1回 3)広報活動事業 ⑴広報活動　県協会広報「きらめき」への投稿

周南支部事業報告

支部長　久保しのぶ

活動目標	1)会員の看護の質の向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
評価と今後の課題	コロナ禍のため計画していた研修会、交流会が中止や延期になってしまい、活動目標を達成することが出来なかった。在宅療養支援に関しても同様だったため、次年度は、感染対策を行いながら会議・研修会を開催し会員相互の親睦、連携を図っていく。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護教育に関する事業　延期 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴3支部合同看護部マネジメント研究会(柳井支部担当)　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり ①県協会主催の事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」ＰＲ事業 ⑴看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設　中止 2)健康相談・啓発などの事業 ⑴まちの保健室　中止 ⑵国際助産師の日事業　①イベント「いいお産の日」　中止 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修(県委託事業) 検討会　1回　研修会　延期 4)その他 「リレーフォーライフジャパン2020やまぐち」　中止
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 ⑴表彰候補の推進 ①県協会へ協力 ⑵その他事業 ①看護管理者交流会(中堅看護師)　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部集会　R2.7.18　出席者：16人　委任状：1,540人 2)支部役員会　5回 3)支部委員会 ⑴職能委員会 4回　⑵教育委員会 4回　⑶推薦委員会 1回 ⑷選挙管理委員会 1回 4)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」へ周南支部活動報告投稿

防府支部事業報告

支部長　石田美江

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護力の強化 2)まちの保健室活動の充実
評価と今後の課題	新型コロナウィルス感染症の影響でまちの保健室活動等、中止となる事業が多くあった。看護研究指導は10月より感染防止策をとり再開、在宅療養支援に関わる看護職連携の取り組みは、集合研修をオンライン研修に変更し柔軟に対応した。今後Web活用や状況を考慮し感染防止策をとってできる活動を積極的に行っていく。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)看護研究研修会 ⑴R2.10.10　⑵R2.12.12　⑶R3.3.13中止 講師：中谷信江先生(山口県立大学) 研修名：支部看護研究研修会　　講師：中谷信江先生(山口県立大学) 受講者：2施設　2グループ　のべ12人
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」ＰＲ事業 ⑴看護の日及び看護週間行事の開催　中止 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室開催　中止 ⑵進路相談・看護職の就労支援　中止 ⑶国際助産師の日事業　中止 3)保健師交流 ⑴保健師情報交換会　R3.3.20　参加者：10名 4)その他の事業 ①地域行事での救護協力　依頼なし 5)地域連携における看護の機能強化事業(県委託事業) ⑴在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化 ①検討会　4回(うちオンライン3回) ②研修会　1回　オンライン研修　R2.10.24　参加者：37人 講演　テーマ「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」～へき地医療の経験から～　GW(ワールドカフェ方式) 講師：原田昌範先生(山口県立総合医療センターへき地支援センター長)
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員の福利厚生等に関する事業 ⑴表彰候補者の推薦 ①県協会へ協力 ⑵その他の事業 ①親睦会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	⑴地域会議への出席 6回　書面決議含む ⑵支部集会　R2.7.18出席者：29人　委任状：593人　計：622人 ⑶支部役員会　6回(書面決議1回) ⑷支部委員会 ①職能委員会 5回　②教育委員会 3回　③推薦委員会 1回 ④選挙管理委員 1回 ⑸広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿 ②協会ホームページへ投稿

山口支部事業報告

支部長　中村幸江

活動目標	地域包括ケアにおける看護力の強化を図る
評価と今後の課題	目標達成の為、地域のために支部活動を強化しなくてはならないが、新型コロナウイルス発生に伴いすべての活動制限が、強いられた1年であった。現在の状況に合わせた感染対策をテーマにした研修会も企画したが医療機関での感染が発生したため中止になってしまった。コロナ渦でできる活動は何か試行錯誤しながら検討はしたが、結果、実際の活動へは繋げられなかった。次年度は、コロナ渦の中でも活動できる内容の検討を深め実践に繋げ、活動の強化に努めたい。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修 R2.12.26　中止 テーマ「感染対策の基本と実際～流行期への備えと発生時の対応～」 講師　山口県立大学　看護栄養学部　家入裕子先生 ⑵看護研究指導 ①支援制度の案内をしたが、希望施設はなく実施なし
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 ①県協会主催の事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)「看護の日」及び看護週間行事の開催　中止 2)「まちの保健室」　中止 3)国際助産師の日事業いいお産の日イベント　中止 4)地域連携推進委員会企画研修 研修企画は中止 委員会にて、看護情報提供書の改訂の為の見直しと作成
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業等）	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 支部研修会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業（公益／収益等／法人）	1)支部組織の強化に関する事業 ⑴支部活動の充実 ①看護学校 3校　入学式、戴帽式、卒業証書授与式　祝電 ②地域会議への出席　8回（うち4回書面会議） ③介護認定自立支援認定審査委員　推薦 2)組織運営に関する事業 ⑴支部集会　規模を縮小して開催　R2.7.4　出席者：17人　委任状：1220人 ⑵支部役員会　5回開催（うち1回書面会議） ⑶支部委員会　職能委員会　5回（うち1回書面会議） 教育委員会　5回（うち1回書面会議） 地域連携推進委員会　5回（うち1回書面会議） 推薦委員会　4回（うち1回書面会議） 選挙管理委員会　1回

宇部支部事業報告

支部長　髙見由美子

活動目標	地域ケアサービスの充実と看護職の連携強化
評価と今後の課題	今年度は新型コロナウイルスの影響で、予定していた研修をすべて中止した。感染予防の観点から次年度は前半に研修を行うこととし、研修計画準備を行った。まちの保健室等の地域ケアサービスの実施も中止となっており、活動はできなかった。今後は県からの情報や他支部の状況、感染状況をみながら可能な活動を工夫しながら行っていく。在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化については委員の選出を行ったので、次年度より本格的な活動を小野田支部と共同し問題点の抽出・研修会開催を行っていく。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 ⑴支部教育研修会 ①7月：意思決定支援に関する研修　中止 ②2月：看護研究に関する研修の予定　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護の心PR事業 ⑴各施設で看護の日及び看護週間行事を新型コロナウイルス感染予防対策を行い実施 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室・助産活動　中止 ⑵くすのきカントリーマラソン大会への救護協力：地域からの救護要請は辞退 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(小野田支部と合同) 10月に県より説明を受け委員10名を選出
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 ⑴職能合同研修会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業(公益／収益等／法人)	1)支部役員会　5回 2)支部委員会　教育委員会　3回　職能委員会　2回　推薦委員会　1回 3)支部集会　R2.7.18(土)　出席者：15人　委任状：1864人 4)その他 ⑴看護学校入学式祝電(2校)　卒業式祝電(2校) ⑵地域会議への出席等 ①宇部市防災会議　書面会議3回(5月・1月・3月) ②宇部市障害者自立支援審査会　委員推薦 ③宇部市介護認定調査会　委員選任 ④宇部小野田医療圏地域医療構想調整会議　書面会議1回 ⑷広報活動 県協会報「きらめき」投稿　1月

小野田支部事業報告

支部長　勝間とみ江

活動目標	地域包括ケアシステム推進の一助となるよう、地域に密着した事業を展開する 1)支部看護職へ教育研修を実施し、質の向上を図る 2)地域活動を通して地域の人々の健康向上に貢献する （Nursing Now キャンペーンへ参加）
評価と今後の課題	今年度は新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため予定の事業が中止となる中、支部活動として何ができるか、どのような方法なら可能かを協議した。教育研修会を当初予定していた実践スタイルの研修から所属施設で受講できるオンライン研修へ、同一テーマを2日開催、休日開催から平日時間外開催へ、研修時間を40分とするなど工夫し実施した。未だ新型コロナウイルス感染症の終息がみえないため、ITの活用や感染対策をとり、状況に応じた工夫をしながら事業展開に取組むことが課題である
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1)支部教育研修会　2回（教育委員・職能委員の合同） ⑴R3.2.5、2.12　両日同テーマのオンライン研修（共催：（株）大塚製薬工場） 「経口摂取回復に向けた口腔ケアの意義　―口腔ケアと誤嚥性肺炎―」 講師：（株）大塚製薬工場　広島支店　学術担当　竹田隆久氏 受講者：92人（看護職88人、介護職4人）
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)県協会主催事業への協力 2)働き続けられる職場づくり支援：具体的活動なし 3)就業促進：具体的活動なし
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)「看護の日」行事　中止 2)「国際助産師の日」「いいお産の日」行事　中止 3)「まちの保健室」　中止 4)山陽小野田市主催ＳＯＳ健康フェスタユーチューブ動画募集への参加見送り 5)看護体験　中止 6)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業（宇部支部と合同） ⑴委員の選任
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業等）	1)表彰候補者の推薦　県協会への協力 2)支部交流会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業（公益／収益等／法人）	1)支部集会　R2.7.18　出席者：18人　委任状：492人 2)支部役員会　3回 3)支部委員会 ⑴職能委員会・教育委員会の合同委員会　2回 ⑵推薦委員会　1回　⑶選挙管理委員会　1回 4)支部活動の充実 ⑴地域会議への出席（WEB会議・書面会議含む） ①山陽小野田市高齢者保健福祉推進会議 ②宇部・小野田医療圏地域医療構想調整会議 ③山陽小野田市健康づくり協議会 ④山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会 ⑤山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会連携システム部会 ⑥山陽小野田市在宅・医療介護連携推進協議会研修・広報部会 山陽小野田市健康づくりの推進に関する医療保健専門職団体プロジェクト会議 5)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」のへ投稿

長門支部事業報告

支部長　花島まり

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携の強化する
評価と今後の課題	令和2年度は感染症予防対策のために、電話やFAX、メールでのやり取りで会議等は最小限で行った。計画していた事業はほぼ中止となった。今後は感染症対策を十分に行ったうえで集合研修を企画開催すること、双方向性のオンラインを使った会議や研修ができる環境を整えていくことが課題である。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修　中止 ⑵WEB研修　各施設で実施 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴支部看護研究指導：8グループ①R2.7.6（月）②R2.11.9（月） ⑵看護研究発表会　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)働き続けられる職場づくり支援 県協会研修に参加 2)看護管理者会議 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議 1回 →郵送によるアンケート調査を実施
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1)「看護の日」及び「看護の心」、ＰＲ事業「Nursing Now」キャンペーン：看護の日・看護週間4施設で実施 2)まちの保健室　中止 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」：Ｒ2.10.9中止 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施：Ｒ2.10.9～23 5)在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業（県委託事業） 検討会2回、研修会1回の実施
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業等）	1)表彰候補者の推薦　県協会へ協力 2)地域の看護職員交流会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 （公益／収益等／法人）	1)支部役員会　5月支部メールを使用し情報交換 2)支部委員会 ⑴職能委員会　2回　⑵教育委員会　3回 ⑶推薦委員会　1回　⑷選挙管理委員会　1回 3)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」の投稿 ⑵支部広報誌「ふれあい」の作成3月発行

萩支部事業報告

支部長　後根恵美香

活動目標	地域包括ケアにおける看護職の連携を強化し、萩医療圏の看護職の連携強化と課題解決に取り組む
評価と今後の課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施予定の事業が中止となる事が多く、地域の課題解決に向けた取り組みが行える機会が少なかった。その中で、診療看護師による研修会を開催し、地域の課題について考える機会を持つことができた。在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業も今年度より開始となったので、次年度も看護職の連携強化と課題解決に向けて取り組んで行く。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業（公益事業）	1）一般教育研修 支部と三職能合同の研修会　1回（R3.11.28） 「地域における診療看護師の役割と活動の実際」 診療看護師　糖尿病認定看護師　中山法子氏　出席者：38人
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1）県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益事業）	1）看護の日及び看護週間行事の開催　中止 2）まちの保健室　中止 3）国際助産師の日事業 まちの保健室と同時開催　中止 4）在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業（県委託事業） ⑴検討会　1回　R3.2.8　出席者：8人 5）その他の事業 ⑴地域行事での救護協力　地域行事の中止
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業（収益等事業等）	1）表彰候補者の推薦　県協会への協力 2）その他の事業 ⑴交流会・親睦会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 （公益／収益等／法人）	1）支部役員会　5回 2）支部委員会 ⑴職能委員会　1回 ⑵教育委員会　4回 ⑶推薦委員会　1回 3）支部活動の充実 ⑴地域会議へ出席 ①萩市中央人権施策推進委員会 R3.3.11

豊浦支部事業報告

支部長　丸山千恵乃

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職間の連携と看護力の強化 2)看護の質向上
評価と今後の課題	コロナ渦において、教育研修会、まちの保健室事業の実施が出来なかった。 次年度から下関支部と統合となるため、事業活動が円滑に行える体制を整えていくことが課題である。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修 ⑴支部研修会　中止 「今、求められる感染対策について」 日時：R3.1.30 場所：下関市豊田生涯学習センター
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)看護の日及び看護週間 ⑴R 2.5.12　各施設で実施 ⑵ナーシングナウキャンペーン推進事業 2)まちの保健室　中止 3)国際助産師の日事業　中止 4)進路相談・その他事業 各施設で職場体験・インターンシップの開催
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業　⑴交流会　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部集会　R2.7.18 出席者：9人　委任状：213人　合計：222人 2)支部役員会　1回開催7月 メールで報告(8月、11月、3月) 3)広報活動 県協会報「きらめき」への投稿

下関支部事業報告

支部長　田中康代

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携。 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する。 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う。
評価と今後の課題	今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業が中止となった。令和3年4月より、豊浦支部と統合のため、今後の事業の実施について、地域の状況や、会員の要望等から、今後の活動方法を検討していきたい。
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業(公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催)　非会員も含み2回開催予定であったが中止 ⑴医療に携わる者としての倫理～超高齢社会のACPを考える～　中止 ⑵高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～　中止
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援　県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援　中止
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 ⑴各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 ⑵「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業　合同開催　中止 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室開催：常設2ヶ所(ゆめシティー・シーモール下関)　中止 ⑵地域行事での救護協力(海峡マラソン・歴史ウォーク)　中止 3)在宅療養支援に係る看護職の連携推進の強化(県委託事業として取り組み) ⑴検討会の開催 1回 ⑵研修会等の開催　中止 ※「しものせき看看連携シート」の活用依頼
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業(収益等事業等)	1)会員への福利厚生 ⑴研修会開催(職能委員会主催)　中止 ⑵会員交流会　1回　中止
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部活動の充実 ⑴支部役員会　4回　5月(書面)、12月、1月、3月 ⑵支部委員会 ①職能委員会　1回 ②教育委員会　1回 ③まちの保健室委員会　1回 2)支部組織強化 ⑴地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災　他)

令和２年度　職能委員会活動報告

Ⅰ　保健師職能委員会

委員長　片塰智恵

1　活動目標	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進
2　委員会開催	委員会　5回 (R2.10.24およびR2.11.14、R3.2.27に予定していた委員会は中止) 支部保健師職能委員との合同会議　1回 (R2.10.24に予定していた第1回合同会議は中止)
3　活動内容	1)保健師の連携強化及びネットワーク推進 ⑴保健師職能研修会の開催(R2.6.27予定　中止) 〈予定していた内容〉 令和元年度に実施した「行政保健師活動に関するアンケート」によると、保健師の分散配置と業務の多様化、地域包括ケアシステムの中核的な役割としての重責などにより保健師同士の交流や情報交換が重要になっていることから、地域包括ケアを推進する中核的な役割を担ううえで目的を見失わずに、やりがいを持って活動ができるための講演とグループワークを企画していた。 また、同アンケートで、統括保健師の配置、保健師の人材育成と人材確保などに苦慮している現状がわかり職域を超えた保健師同士の情報交換が必要と考えていた。 ⑵職能委員会の開催 ⑶山口県看護協会会報やホームページによる情報発信 会報「きらめき」“ひたむきな保健師”掲載　第147号　第149号 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 ⑴保健師研修会の計画(再掲)　中止 ⑵令和3年度教育研修計画への参画⇒委員会企画分の募集はなし 3)会員増加の推進 ⑴保健師職能研修会への非会員の参加呼びかけ ⑵山口県看護協会会報やホームページによる情報発信
4　評価と今後の課題	1)令和2年度は、令和元年度末から引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応として、委員会・職能集会・職能交流会の中止を余儀なくされた。感染症対応の最前線として行政保健師が大半を占めていたため、委員会開催も感染状況により変更するなど、日々の業務に追われる中の委員会活動となった。委員会では、所属での業務量の多さや、日々緊迫した状況の中での精神状態の緊張状態の持続などの現状について情報交換を行い、保健師の置かれている現状を共有した。危機管理体制(感染症対応)下での保健師の役割についての協議を重ね、次年度の保健師職能集会のテーマとして『コロナ禍における保健師活動(仮)』とした。 2)対人援助活動が中心の保健師活動であるが、コロナ禍においても活動できる工夫を検討し、研修方法の検討もする必要がある。

令和２年度保健師職能委員会支部活動報告（令和２年４月１日～令和３年３月31日）

R3.3.31現在

支部	会員数（保健師）	職能委員会の保健師数	令和2年度支部活動報告および計画		支部活動における課題（問題点、次年度の予定など）	山口県看護協会保健師職能委員会への要望（実施してほしい取り組み等）
			研修・交流会等	まちの保健室		
岩国	57	1	R2年度は新型コロナ感染拡大防止のため、開催中止	R2年度は新型コロナ感染拡大防止のため、開催中止	・保健師の配置される職場が広がっている中で、圏域内の保健師同士のつながりが少なくなっている。情報交換や交流の場が必要と思われる。	
柳井	44	1	R2年度は新型コロナ感染拡大防止のため中止	R2年度は新型コロナ感染拡大防止のため中止	・看護協会での支部保健師職能としての支部活動・役割が見えにくい ・コロナの影響により、管内行政保健師の情報交換会等も制限等があり、現状等の把握が十分にできていない。また、令和2年度は支部活動ができておらず、それぞれの職場の環境上、リモート等も難しい場合がある。	
周南	51	1	R2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止	R2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため開催中止 【R2年度計画】 ・回数：年8回 ・場所：イオンタウン周南 ・時間：10：00～15：00 ・内容：血圧測定、体脂肪測定、血管年齢測定、乳がん検診モデルの触診、健康相談等 ※保健師職能委員が1人当たり2回、計4回出務する。	・会員のほとんどが行政保健師であり、情報共有や交流等の機会はあるが、支部内の他の職域の保健師との交流等の実施はできていない。 ・保健師職能委員は1人であり、新型コロナウイルス感染症の流行下にて、看護協会として、今後どのような活動がやっていけるのか、やっていくべきなのか検討する機会がない。 ・次年度については、コロナ禍において、新しいやり方で、この時期だからこそできる活動をしたいが、まだ計画できていない。	
防府	35	1	【研修会】 ・防府支部看護研修会（三職能合同研修会） 「住み慣れた地域で安心して自分らしく暮らし続けるためには」 日時：R2.10.24（土） 講師：山口県立総合医療センター 原田昌範　先生 内容：講演、意見交換	【常設まちの保健室】 日 時： 第3日 曜 日 10：00～14：30 場所：ゆめタウン防府 内容：健康相談、血圧・体脂肪測定、血管年齢測定等、2人体制で実施 ※上記は中止	・保健師の人数も少なく、職能単独の活動が難しい状態であり、保健師同志の交流やネットワークの構築は、県協会の企画、実施に依存している状態である。 三職能研修会や支部活動に、さらに保健師が積極的に参画できる、したくなるような工夫が必要であろう。そこで、看護職間の理解と交流を深め、多職種とも連携できるような活動にとしていきたいと考える。	
山口	95	1	なし	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 【R3年度計画】 開催回数：年8回 日時：毎月第4日曜日　13：00～16：30 11月は「いいお産の日」として開催 内容：血圧・体脂肪測定、血管年齢測定、健康相談、乳幼児対象（育児相談・計測） 【次年度の実施方法等について検討中】	・H30年度から、保健師職能委員が1人になり、保健師の職場が多岐に渡っていることもあり、保健師間の連携や情報交換の機会が少ない。	

支部	会員数（保健師）	職能委員会の保健師数	令和2年度支部活動報告および計画		支部活動における課題 （問題点、次年度の予定など）	山口県看護協会保健師職能委員会への要望 （実施してほしい取り組み等）
			研修・交流会等	まちの保健室		
宇部	48	1	なし	保健師職能の出務なし	・委員は主に宇部市役所に在籍する保健師で構成されている。所属部署が多岐にわたっているため、一堂に会しての情報共有、交流の機会が少なく、支部活動の充実等の検討機会が少ない。 業務等との調整が難しく、研修等への参加者が少ない。	
小野田	35	1	教育委員会との合同研修としてオンライン研修を実施。テーマ「経口摂取回復に向けた口腔ケアの意義」～口腔ケアと誤嚥性肺炎～	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	・支部活動の中で保健師の活動をどのように展開するか分かりにくい部分がある ・まちの保健室においては、コロナ禍においても安全な形で実施したいとは考えるが、よい方法を見いだせていない	
長門	14	1	R元年度災害対策をテーマとした研修会を三職能合同で検討しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため未実施	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応のため、実施しない方針	未加入者等に加入を勧めるが加入につながらない。 会員の大多数が行政保健師であり、月1回の定例調整会議で連携を図っているが、行政以外の機関との関わりがほとんどない。	統括保健師の研修企画など
萩	27	1	【三職能合同】 （萩支部研修会と合同開催） 日時：R2.11.28（土） 場所：萩市地域連携支援センター 内容：「地域における診療看護師の役割と活動の実際」 講師：糖尿病ケアサポートオフィス代表 診療看護師 糖尿病認定看護師 中山　法子　先生	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。	・行政保健師については業務上の連携があるので交流できているが、各医療機関を含む保健師職能 全体の情報共有が課題 災害支援についてなど、協議や交流する場を持ちたいと思う。 ・会費が高いため、若手職員に加入について積極的に勧められていない。そのため、役員等が限られたもので引き受けることになるので、負担も大きくなる。	
下関	55（豊浦1含む）	1	【三職能合同】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。 R2年度第1回下関市支部職能委員会をR3.2.9に実施し、次年度の活動の方向性の協議等を行った。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未実施。	三職能合同で行い、研修会と国際助産師の日のイベント参加協力を中心に活動をしている。三職能合同以外に保健師職能だけの活動は行っていない。研修等、三職能で集まる場に保健師も参加すること等から顔の見える関係を広げていきたいが、参加が少ない状況。 来年度は豊浦支部と合併し活動していくので、現在計画している研修会やイベント等活動の方向性の共有を行っていく予定。	

Ⅱ　助産師職能委員会

委員長　大林幸恵

1　活動目標	1)助産実践能力の向上 2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 4)助産師ネットワークの強化 5)広報活動の推進
2　委員会開催	1)職能委員会 5回 2)支部職能委員長合同会議 2回
3　活動内容	1)助産実践能力の向上 ⑴新人助産師研修の企画・運営・評価 5回 ⑵助産実践能力研修の企画・運営・評価 5回 2)包括的母子保健推進における看護機能の強化 ⑴助産師職能委員会の会議やメールを活用し周産期医療の現状と課題を情報収集した。 ⑵支部助産師職能委員合同会議で県内のコロナ禍における周産期医療の現状や課題を検討した。山口県の現状を中四国ブロックの助産師職能会議やメールで情報共有した。 3)災害時における周産期の体制整備と連携強化 ⑴支部助産師職能委員合同会議で各施設の体制や訓練の状況を情報共有した。 ⑵災害研修で「風水害」の災害対策や災害時の持ち出し物品について周知した 4)助産師ネットワークの強化 コロナ禍のため予定の会議が実施できずメール等でネットワーク作りをしたが強化まで至らなかった 5)広報活動の推進 ⑴ホームページに活動内容を掲載
4　評価と今後の課題	コロナ禍で従来の会議や研修が行えない中、情報収集や情報共有に苦慮した。しかし、情報収集した周産期の現状や課題は山口県看護協会、中四国ブロック助産師職能委員長会や日本看護協会の助産師職能会議で報告や提案はできた。 新型コロナウイルス感染症の収束が未明の中、母子が安心して安全に生活できるように助産師として何をしなければならないのか考えて活動していくことが課題である。

令和２年度　助産師職能委員会活動報告

委員長　大林　幸恵

令和2年度助産師職能集会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。

助産師職能委員会では、助産師の基本理念である母子の健康な生活の実現に向けて助産師が力を結集し、変革を続けることの一助となるように5つの目標を掲げて活動した。

【令和2年度助産師職能委員会活動目標】

1. 助産実践能力の向上
2. 包括的母子保健推進における看護機能の強化
3. 災害時における周産期の体制整備と連携強化
4. 助産師ネットワークの強化
5. 広報活動の推進

活動にあたっては、山口県内の新型コロナウイルス感染症拡大の状況を深慮しつつ、助産師職能委員会活動を実施したので報告する。

1．助産実践能力の向上

1）新人助産師研修（新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として公開講座は中止）

新人助産師研修ガイドや助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー；CLoCMiP®）を理解し活用することで自己研鑽し、助産師としてのキャリアビジョンが描けるように関わった。新人助産師の基礎教育から臨床現場への移行期に必要な助産師のコアコンピテンシーをベースにした「ケアリング」研修、法的責任を理解した看護実践の一連の過程が記録できるように「助産記録」の研修を併せて行った。

第1回（令和2年8月8日）　開講式

新生児のフィジカルアセスメント	山口大学医学部附属病院　小児科医師　松隈知恵氏	新人助産師 18人
ハイリスク新生児を持つ家族へのケア	山口大学医学部附属病院 新生児集中ケア認定看護師　三木砂織氏	

新人助産師18人と助産師職能委員4人の縮小開催となった。言葉で異常を伝えることができない新生児の特殊性をふまえて、『視る、聴く、触る』ことで変化を見逃さないことの大切さや、出生後に起こりやすい疾患と病態を学んだ。認定看護師の事例を交えての講義は即実践につながるもので受講生に好評であった。毎年恒例の新人助産師交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として中止したが、ソーシャルディスタンスを保ちながら会場いっぱいの円陣となり自己紹介を行った。それぞれが助産師を目指した想いやきっかけ、就職後の状況、仲間づくりへの期待、学びへの意欲などについて発表した。

第2回（令和2年9月12日）

CTGモニタリング判読 陣痛促進剤使用の適応と管理	山口県立総合医療センター 総合周産期母子医療センター長　佐世正勝氏	新人助産師 16人

事例とCTG波形図を用いながらの講義で受講生からは「実際の現場で判断が難しかった場面を振り返りながら学ぶことが出来た。今後の現場での判断に活かしていきたい」と好評であった。産婦の一番近くにいる私達助産師が、胎児からのメッセージを見逃すことなく、適切に受け取れることが安全な分娩に繋がるので学びを日々の助産業務に活かし、元気な赤ちゃん誕生のお手伝いをしていきたいと感じた。

第3回（令和2年10月10日）

産科ショック（出血時の対応）	鳥取県立中央病院　産婦人科 統括部長　高橋弘幸　氏	新人助産師 15人

母体急変対応の習熟の必要性と異常出血時の原因検索（4T）と止血処置を学んだ。演習では、設定がクリニックや総合病院、周産期医療センターとあり、それぞれの役割や設備・体制を考えながら初期対応の方法を体験した。講義の中で同じ設定の動画を見ているのに、演習では「思うように動けない」「声が出せない」ことを体験し繰り返し行うことの大切さを実感した。講師より 「高度なことをしなくても、自分のスキルに見合った役割をこなしていくことが必要です。医師に「ショックインデックス1.5ですと伝えるだけでも役割を果たせます。何かおかしいと思った時は、報告することを心がけること。チームの一員として動けるように日々努力していっていください」とアドバイスがあった。

第4回（令和2年11月28日）

母乳哺育支援	山口県助産師会 桶谷式認定助産師　藤田房子　氏	新人助産師 15人

母乳分泌のメカニズムとして、乳房の解剖生理から母乳の栄養学まで学んだ。産褥期に起こりやすい乳房トラブルとケア方法についても詳しく講義を頂き、母乳哺育を支援する際の母親に対する声掛けの重要性や、乳房に関する知識を深めることができた。母乳哺育の確立をスムーズにするためには出産直後からの助産師の支援が大切で正しい授乳ができるようにケアしていく重要性を教えていただいた。演習では、講師が自ら作って持参されたゆで卵を用いて、搾乳時の指の圧加減について実体験した。一人ずつ搾乳の手技の手ほどきがあり、手指関節の力加減や乳房に当てる手の位置などを細かく丁寧に指導してくださり、今まで行ってきた自分たちの手技を、見直すことができた。

第5回（令和2年12月5日）

ハイリスク妊産褥婦の病態と管理	徳山中央病院　産婦人科部長 山縣芳明　氏	新人助産師 15人

病態生理から出生前診断やハイリスク妊産褥婦の母体管理や胎児管理までを、一日かけて詳しく学ぶことができた。 妊娠中毒症と言われていた昭和時代から、HDP と言われるようになった経緯や HDP の母体合併症について教えていただいた。胎盤異常では、体外受精や凍結融解胚移植の増加に伴い癒着胎盤が増えてきていることも知り、どの内容も受講生全員が興味津々で真剣に学びを深める姿があった。専門的な内容で難しい分野ではあるが、ハイリスクについての知識は現場で欠かすことのできないものである。基礎課程で学んだ知識の再確認と習得につながる研修となった。

第6回（令和3年2月20日）閉講式

事例発表会「心に残った場面」	山口県立大学別科助産専攻 准教授　中本朋子　氏	新人助産師 14人

1年間臨床で経験した、「心に残った場面」をまとめ発表した。それぞれ異なる臨床で学んだこと、感じたこと、見い出した今後の課題についての発表は、とても感動的で、成長を感じるものであった。一人一人の発表に対し、講師より丁寧な講評を頂き、これから更に活躍していく活力となるような熱いエールをいただいた。閉会式の後には、開講式で書いた半年後の自分へ宛てた手紙と、各施設のスタッフからの手紙を合わせて渡した。涙を浮かべて読んでいる研修生もあった。それらを見た後に「半年前には漠然とした不安ばかりだったが、今は明確な課題が見えてきているので目標に向かって頑張っていきたい」「プリセプターからのメッセージに自分の長所が書いてあった。その長所を大切に頑張っていきたい」など感想と抱負を語りあった。

2）中堅助産師研修（令和3年2月5日）

災害対策研修「風水害」	山口労災病院看護部 看護副部長　大林幸恵　氏	助産師 15人
避難に役立つスリング研修	助産師整体 garland. オーナー　入江ちか　氏	

山口県は毎年のように風水害が発生している。そこで風水害を中心に、基本的な防災や「備え」の大切さについて講義があった。自然災害である水害は予報であらかじめわかるため、正しい対策を行えば、被害を最小限に抑えることができると改めて学んだ。また、自施設や自宅周辺のハザードマップの検索の方法、どのように活用するのか具体的に説明があり、防災対策への意識が向上した。 風水害への備えとして、災害持ち出し物品の中身の紹介や、管理方法、チェックリストの実際など写真を交えた情報提供があり、自施設での備えに役立てたいと思った。避難に役立つスリング研修では、スリングの正しい使い方について教えて頂いた。スリングの基本的な使用方法のみならず、さらしや兵児帯、バスタオルなどを活用した赤ちゃんとの避難方法を学んだ。様々なものがスリング代わりとして使用できること、赤ちゃんの月齢に合わせた選択をすることなど新しい発見だった。また、赤ちゃんの姿勢や抱き方についても教えていただき、実践に活用していきたいと思った。

2. 支部助産師職能合同会議

山口県内各支部の助産師と周産期医療の現状把握と課題を情報共有した。

1）産科混合病棟の現状

分娩件数が年間100以上ある施設はゾーニングできていた。新たに建てた病院ではユニット化できていた。しかし、分娩件数が少ない施設は、男性の受け入れや女性に限り他科も同室している状況がわかり、今後、分娩件数の減少が進む中、ますます混合化の状況は厳しくなっていくと考えられた。また、化学療法目的の患者を、産科混合病棟で受け入れており、妊産褥婦への抗がん剤の被ばく対策も気になるところである。

2）災害対策

災害マニュアルは、ほとんどの施設が作成していたが周産期に特化したマニュアルを作成しているところは一部であった。災害訓練についても、施設全体の訓練に参加するところがほとんどであった。災害時の備えとして「レスキューママ®」や分娩セットを設置しているところは多かったが、持ち出し物品を準備しているところはほとんどなかった。

3）アドバンス助産師の申請状況

アドバンス助産師の在籍数は82人（支部調べ）。2020年度新規申請者3人、更新予定18人、更新延期1人。新規申請者が少ない印象であった。

4）コロナ禍における周産期医療の現状

施設自体が面会禁止となっているため、立ち合い分娩は中止もしくは要件を設けて実施していた。分娩後の入院期間中の面会はどの施設も中止している状況だった。産婦の抗原検査については施設の要件を設けて実施しているところと、疑い産婦だけ実施するところと様々であった。妊産婦対象のPCR検査については、県の作成したリーフレットを用いて説明の上、同意をされた産婦に実施することにしているが、望まない産婦が多かった。

5）助産師外来・院内助産

・院内助産実施施設は2施設（18%）、休止中が１施設（9%）、休止中を含めると27%の施設で院内助産の体制はある。

・助産師外来は4施設が実施。実施できない理由は、助産師不足と回答されている。

6）産後ケア事業

・産後２週間検診は全ての施設（100%）で実施。

・産後ケア事業は8施設（72%）が契約しているが、産後ケアの実績がある施設は2施設（18%）であった。

調　査　票

(　　)支部　(　　)病院	
院内助産	□あり　実施件数： 　　体　　制： □開設予定(　　)ごろ □なし 　理由：
助産師外来	□あり　実施内容： 　　実施件数： 　　体　　制： □なし 　理由：
産後2週間検診	□実施 □未実施 　理由：
産後ケア事業	□実施 　□デイケア 　□ショートステイ □未実施 　理由：
アドバンス助産師 2020年度	(　　)人在籍　(　　)申請予定 (　　)更新予定 活動状況：

Ⅲ　看護師職能委員会Ⅰ

委員長　亀永百合子

1　活動目標	1)よりよい看護が提供できるよう看護師職能が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る 2)日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する 3)健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する 4)働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する
2　委員会開催	委員会　6回 看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議　5回 支部看護師職能委員会合同会議　1回(R2.10.15開催、R3.3.18中止)
3　活動内容	1)クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ⑴JNAクリニカルラダー（以下JNAラダー)インターネット配信研修を開催(1回)。 ・「JNAラダーの推進に向けての人材育成研修」(R2.11.19)、参加人数44人。 ・クリニカルラダーの概要及び看護協会の活動について説明した。 ⑵JNAラダーの普及・推進に向け、県内121施設を対象に、クリニカルラダー活用の現状調査を実施した。 ⑶令和元年度、JNAラダーの作成及び移行支援を行った5施設を対象に、講習会の評価と導入・活用の実態調査を実施した。 ⑷研修会のアンケート結果、現状調査結果、及びクリニカルラダー講習会後の実態調査の結果を踏まえ、次年度の活動計画を検討した。 2)日本看護協会・支部との連携を図り、情報共有する ⑴支部看護師職能Ⅰ・Ⅱ合同会議にて、活動の進捗状況と今後の活動の在り方について意見交換をした(R2.10.15)。 ⑵日本看護協会地区別看護師Ⅰ職能委員長会議(Web)にて、「新型コロナウイルス感染症対策」について情報共有・意見交換をした(R2.10.23)。 ⑶全国職能委員長会議(Web)にて、「コロナ禍で患者・利用者・地域住民、そして職員を守るために看護管理者が行うことは何か」について討議した(R3.3.10)。 3)看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)、(R2.6.27中止)
4　評価と今後の課題	1)JNAラダーの普及・推進に向けた活動を今後も継続し、看護の質向上を目指していく。県内施設に実施したクリニカルラダーの現状調査では、十分な情報収集ができなかったため、今後も継続調査が必要である。県内施設のラダー導入状況を把握し、今後の活動を検討していく。JNAラダーを導入予定の施設に向け、導入した施設の取り組みや課題についての報告会を企画し普及に努める。また、JNAラダーの活用研修として、能力評価の研修会を継続する。 2)地域包括ケアシステムの推進において、病院看護管理者と行政保健師との連携は、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり実施できなかった。今後は、第3段階となる地域づくりを目指し、専門領域の役割や活動についての理解を深め、連携上の課題を抽出する。そのための具体的な活動を検討していく。 3)病院における看護職に関連したトピックスに対し、支部職能委員と連携し、タイムリーな情報収集・課題発見・意見集約を行い連携強化に努める。

令和２年度　看護師職能委員会Ⅰ（病院領域）活動報告

委員長　　亀永　百合子

○JNA 看護師のクリニカルラダー（以下 JNA ラダー）の活用、普及・推進に向けた活動

1. JNA ラダーの活用・推進に向けての人材育成研修会の実施

1）目的：JNA ラダーの基本的考え方を理解し、看護師個人の成長と組織の目的に合った人材育成を推進する。また、臨床での看護実践能力の適切な評価を行い、患者の安全・安心な看護ケアの提供に繋げ、看護の質向上を目指す。

2）日時：令和2年11月19日（木）13：30～16：00

3）開催場所：山口県看護研修会館

4）研修内容：⑴クリニカルラダーの概要及び山口県看護協会の活動について説明

⑵日本看護協会主催のインターネット配信研修「JNA ラダーによる評価のポイント」の視聴

① JNA ラダーを活用した組織における人材育成の考え方

② JNA ラダーを活用した看護実践力の自己評価の育成について

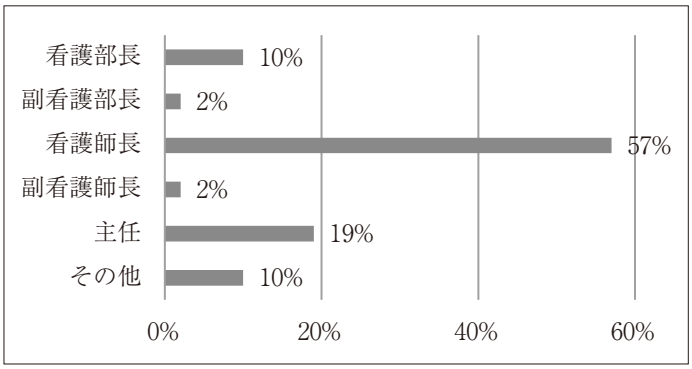
③ JNA ラダーを活用した評価者育成と評価体制の構築について

④ JNA ラダーを活用した OJT における評価の実際について（事例）

5）研修会後のアンケート結果

⑴参加人数44名（回収率100％）

⑵参加者の割合



⑶研修内容の理解度は、全ての単元において、80% 以上が理解できたと評価しており、実践に活かせる研修内容であったと言える

	大変理解できた	理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	無回答
①　人材育成の考え方	3（ 7%）	41(93%)	0	0	0
②　看護実践力の自己評価	4（ 9%）	37(84%)	3（ 7%）	0	0
③　評価体制の構築	5(11%)	32(73%)	6(14%)	0	1(2%)
④　評価の実際(事例)	4（ 9%）	32(73%)	7(16%)	0	1(2%)

⑷研修での学びが現場で役立つかについては、95％が役立つと評価しており、実践での効果が期待できる。

大変役立つ	役立つ	あまり役立たない	役立たない
8(18%)	34(77%)	2（ 5%）	0

⑸ JNA ラダーの導入状況は、研修参加施設の半数が導入しており、約半数が今後導入を予定していた。JNA ラダーを導入できない理由として、「准看護師のラダー作成が難しい」「施設独自のラダーはあるが、移行するのが難しい」などの意見があった。

⑹自由記載欄では、「管理ラダーの実際や具体的な作成方法を知りたい」「OJT での評価の実際が知りたい」「ラダーを導入している施設の取り組みを知りたい」などの意見があり、今後の検討課題とする。

2. JNA ラダーの普及・推進に向けた今後の活動を検討するために、県内121施設を対象に、JNA ラダーに関する現状調査を実施した。回答率41％と低かったため、継続調査が必要である。

回答した施設の82% がラダーを導入しており、そのうち76% がラダーを活用していた。教育計画やキャリア形成に活用しており、ラダーと連動した教育を実践していた。また、ラダーを仕事への動機づけに活用したいという意見等があり、今後も継続的にラダーの普及・推進活動を計画していきたいと考えている。

3. 令和元年度にクリニカルラダーの作成及び移行支援を実施した5施設（山口リハビリテーション病院、防府リハビリテーション病院、萩市民病院、周南記念病院、三田尻病院）を対象に、講習会の評価と JNA ラダーの導入・活用の実態調査を実施した（回収率100％）。

	A病院	B病院	C病院	D病院	E病院
ラダー作成状況	作成・導入完了	作成・導入完了	作成完了 導入未	作成完了 導入未	作成中
評価表の作成状況	作成・導入完了	作成・導入完了	作成完了 導入未	作成中	作成完了 導入未
ラダー更新申請の作成状況	作成・導入完了	作成・導入完了	作成完了 導入未	作成中	その他
講習会の開催時期	適切	適切	適切	適切	適切
開催回数(2回)	3回ぐらい	適切	回数増希望	3回ぐらい	3～4回
目標達成度	80～100％	60～80％	60～80％	40～60％	40～60％

・ ラダー及び評価表の作成状況は、5施設の内4施設が作成を完了しており、2施設が導入できていた。
・ 講習会の実施は2回であったが、4施設が回数増を希望していた。
・ ラダー作成の効果としては、「管理者の面接時や振り返りに活用でき、今後の目標立案がし易くなった」「自己研鑽・人材育成・教育についての意識が変化してきたと感じる」「スタッフに勉強しようという気運が高まった」など、建設的な意見が多かった。
・ 課題として、「ラダー到達に向けた学習内容の検討」「評価表の再検討」「レベル申請方法と評価表の検討」が挙がっていた。また、ラダーを作成するにあたり、問題が生じた場合の相談システムが欲しいという要望があった。

研修会後のアンケート結果や JNA ラダーの導入・活用についての調査結果を活かし、次年度の活動に取り組んでいく。

Ⅳ　看護師職能委員会Ⅱ

委員長　東由利子

1　活動目標	1)よりよい看護が提供できるよう看護師職能(介護・福祉関係施設、在宅等領域)が抱えている問題を明らかにし、検討・改善を図る 2)日本看護協会・支部との連携を図り、問題を解決する 3)健康で安全に働き続けられる職場づくりを推進する 4)働きやすく、やりがいのある職場環境の改善を支援する
2　委員会開催	1)職能委員会　7回(内5回は看護師職能Ⅰとの合同会議) 2)支部職能委員会合同会議　2回(10月、3月は活動報告書の提出とした)
3　活動内容	1)活動状況及び事業進捗状況 ⑴看護師職能Ⅱ委員会・支部職能委員長(Ⅰ・Ⅱ)合同会議 ①支部職能委員会の事業計画・活動報告及び、情報共有・意見交換と課題発見 ②日本看護協会看護師職能委員会Ⅱの課題に対する情報収集・課題発見 ・「自施設・自地域での新型コロナウイルス感染症への対応について」 ・「介護・福祉関係施設・在宅等領域における特定行為に係る看護師の研修制度に関する現状把握・意見集約・課題発見」 ・「訪問看護師倍増策の推進～進捗と今後の課題～」 ⑵介護施設への認定看護師出前講座開催 目的：平成29年度に調査したⅡ領域で働く看護職の実態と抱えている課題、結果に基づき、認定看護師の人的資源活用による出前講座を開催し、医療介護連携による適切なサービスを提供する。 介護老人保健施設5施設、介護老人福祉施設9施設の計14施設にて実施 ⑶看護師職能Ⅱ交流会開催の検討(中止) ⑷令和3年度看護師職能集会の検討 ⑸職能委員会Ⅱ活動の周知啓発活動 ①支部職能委員会との連携強化、情報共有 ②県協会報「きらめき」、ホームページの活用 ⑹看護師職能集会(R2.6.27.中止)
4　評価と今後の課題	1)介護施設への認定看護師出前講座は令和2年度までに実施した19施設を除いた形で開催を継続していく。 2)看護師職能委員会Ⅰと、合同開催を継続し、情報共有、連携を図る。 3)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議の強化、充実を図る。 4)全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携を図るため、4職能委員会及び在宅ケア推進委員会との連携推進及び連携上の課題を共有する。

令和２年度　看護師職能委員会Ⅱ（介護・福祉関係施設・在宅等領域）活動報告

委員長　　東　由利子

〇介護施設の認定看護師出前講座研修の取り組み

1. 目的

高齢者が要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスを提供するため、医療的知識の習得に向けた認定看護師出前講座による研修を企画・立案・実施し、介護施設で働く看護職員等の資質向上を推進する。

2. 対象者

介護施設の看護職員、介護職員、およびその他の職員

3. 研修内容

医療を必要とする要介護者に対し、医療介護連携による適切なサービスが提供できるよう、感染管理・看取りケア・褥瘡ケア・摂食嚥下等といった看護技術・知識の習得に資する内容とする。

4. 研修実施日

令和2年9月30日～11月26日までの14日

5. 実施内容

1）講座開催に向けての準備

⑴実施施設の選定

・介護施設の認定看護師出前講座研修開催にむけて意向調査を計204施設に実施（介護老人保健施設66施設、特別養護老人施設138施設）。

・意向調査の結果37施設で開催希望あり（老健：14施設、特養：23施設）

・選定基準を設け15施設を決定

≪選定基準≫

・開催地域の偏りをなくすため山口県内の東部、中部、西部、北部から選ぶ

・介護老人保健施設と特別養護老人施設は一方に偏らないこととする

・開催希望施設の講座受講者の予定人数や開催時間、開催曜日を考慮する

・施設が希望する講座の内容について考慮する

・新型コロナウイルス感染症拡大防止を防ぐために、施設への立ち入り制限が加わっているところは、今年度は講座実施施設から除外する

・令和元年度に実施した施設は除外する

⑵認定看護師の選定

・開催施設を決定した後に、施設と具体的な講座内容について確認することで、施設側が求めている専門分野の認定看護師15名を選定する

・認定看護師を選定するにあたっては、講座開催希望施設の住所地である地区支部から選出することとし、講座が終了した後も地域の施設とかかわりが持てるよう配慮することとした。しかし、施設が希望した分野の認定看護師が対象支部にいない場合は、隣接支部から選出した

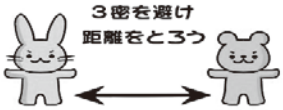
⑶開催日の調整

認定看護師、実施施設、看護師職能Ⅱ委員、看護協会事務局4者の日程を調整し開催日を決定する

⑷新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策について

・介護施設の認定看護師出前講座研修を開催するにあたり、山口県長寿社会課担当者より、研修開催の基準として「2020年6月5日付けの山口県における研修開催の基本方針」について情報提供を受けた7月1日以降、開催条件に沿って感染防止対策を徹底した上で講座を開催することとした

○開催条件



①密閉の回避　　定期的換気の実施

②密集の回避　　収容率の50％以内

③密接の回避　　マスクを着用する　GW や実技演習は最小限度にする

摂食嚥下障害看護については、今年度に限り実技を取り入れないこととする

④その他の感染予防対策として体温測定や健康チェックを実施する

⑤実施施設に対し、感染者が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力を依頼

2）講座開催実績

⑴講座内容及び開催日（＊は介護老人保健施設）

地域	支部	施設名	講座内容	開催日	時　間	参加人数
東部	周南	松寿苑	ガウンテクニック	9月30日	17:30～19:00	24人
西部	下関	貴船園	摂食嚥下	10月 2日	13:30～15:00	11人
東部	周南	ナイスケアまほろば＊	感染管理	10月 9日	16:45～18:15	32人
中部	山口	山口幸楽苑＊	フットケア	10月14日	13:30～15:30	30人
東部	周南	くすのき苑	摂食嚥下	10月16日	15:30～17:00	12人
東部	柳井	伊保庄園	感染管理	10月20日	13:30～15:00	22人
西部	下関	サテライト望海苑	看取り	10月22日	18:30～20:00	43人
東部	岩国	ふれんず＊	フィジカルアセスメント	10月23日	17:15～18:45	32人
中部	宇部	アスワン山荘	褥瘡	10月28日	9:30～10:45	31人
東部	岩国	ヴィータ	摂食嚥下	10月29日	13:30～15:30	16人
中部	山口	みのり苑＊	看取り	10月30日	16:30～19:00	18人
北部	萩	阿北苑	褥瘡	10月31日	13:30～15:00	30人
東部	岩国	かなえ	摂食嚥下	11月10日	17:30～19:00	33人
北部	萩	徳寿園	感染管理	11月20日	17:30～19:00	中止
東部	柳井	やすらぎ苑＊	看取り	11月26日	15:30～17:00	8人

⑵出前講座認定看護師派遣協力施設

国立病院機構岩国医療センター、国立病院機構柳井医療センター、周東総合病院、光市立総合病院、徳山中央病院附属訪問看護ステーション、山口県立総合医療センター、山口赤十字病院、訪問看護おかふじ、山口大学医学部附属病院、下関市立市民病院、下関医療センター訪問看護ステーション、萩市民病院

計12施設よりご協力をいただいた。

6. アンケート調査の結果

1）アンケート調査対象者

・出前講座受講生

・出前講座実施施設

・講師（認定看護師）

・看護師職能Ⅱ委員

⑴出前講座受講生を対象としたアンケート結果

①アンケート回収率（人）

	施設数	参加者数	回収数	回収率
老人保健施設	4	112	104	92.9
特別養護老人施設	10	230	223	97
計	14	342	327	95.6

②職種別参加状況（人）

	介護職	看護職	事務職・その他	未記入	計
老人保健施設	52	20	32	0	104
特別養護老人施設	148	33	41	1	223
計	200	53	73	1	327

・老人保健施設の方がやや参加者が多く、参加しやすい状況が伺える。今年度も介護職の参加が半数以上を占めた。その他の職員の内訳は、事務職、理学療法士、栄養士等であり事務職では施設の管理職にあたる人の参加もあった。

③研修の満足度について（人）

	満足できた	やや満足	やや不満	不満	未記入	計
感染管理	60	15	0	0	0	75
摂食嚥下	54	15	0	0	0	69
看取り	4	12	2	0	0	68
褥瘡	56	5	0	0	0	61
皮膚ケア	21	2	0	0	0	23
フィジカルアセスメント	24	7	0	0	0	31
計	269	56	2	0	0	327

・研修内容については、満足できた、やや満足できたと答えた人が99.3% であった。やや不満と回答している講座では意見交換の場を望んでいる人もあった。

④研修が今後の活動の中で実践できるか（人）

	できそう	ややできそう	あまりできそうでない	できそうにない	未記入	計
感染管理	53	22	0	0	0	75
摂食嚥下	49	20	0	0	0	69
看取り	41	25	1	0	1	68
褥瘡	50	8	2	0	1	61
皮膚ケア	16	7	0	0	0	23
フィジカルアセスメント	20	10	1	0	0	31
計	229	92	4	0	2	327

・感染管理、摂食嚥下、皮膚ケアを受講した人全員が、今後の活動の中で実践できそう、ややできそうと回答している。今後の活動の中であまり実践できそうにないと回答した4人は、看取りの講座を受けた50歳代の介護職、褥瘡の講座を受けた30歳代の介護職、50歳代の他職種、フィジカルアセスメントの講座を受けた50歳代の他職種であった。

≪受講生からの声≫（抜粋）

・専門職のわかりやすい説明で介護職員にもよくわかった。
・コロナ禍で研修に行くことが難しい中、大変ありがたいと思う。
・自施設で準備している防護具の着脱を実際にチェックしていただき勉強になった。
・糖尿病に関連した足病変についてとても勉強になった。
・看取りの研修を聞いて、利用者ともっと積極的にかかわっていこうと思った。
・絵や造影画像で嚥下の様子がよく理解できた。口腔ケアの大切さもわかった。
・褥瘡予防について詳しく知ることができ、家庭でも役立ちそうです。
・事務職として今回の知識があるとないとでは専門職へ渡せる情報が違うと思った。

⑵出前講座実施施設を対象としたアンケート結果（抜粋）

・専門的知識を持つ先生の講義はとても参考になった。今後も是非活用させていただきたい。（多数意見）
・介護職員や事務系職員の医療的知識の向上となった。
・講師と顔の見える関係ができた。今後も連携をとって指導を受けたい。

⑶講師（認定看護師）を対象としたアンケート結果（抜粋）

・興味を持って研修に臨んで下さり、出前で講義することが新鮮に感じた。
・高齢者施設・介護職への介入から、地域医療に貢献できる良い機会となった。
・活動により認定看護師が身近な相談者になれる良い機会だと思う。
・他施設の環境や設備などを感じ取れることや地域との交流も増えて良いと思う。
・双方の活動の理解や今後の関係性の強化につながると思った。
・来年度以降も是非参加させてください。（全員）

⑷看護師職能委員を対象としたアンケート結果（抜粋）

・各施設とも感染対策は十分に講じられた会場レイアウトだった。
・感染対策上、参加人数制限をお願いした研修もあり、ビデオ撮影をされて後日伝達研修をすると話されていた施設もあった。
・講師持ち込み機器のバージョン不具合があった。
・開催時期は10月には終了するようにした方がよい。（交通事情の安全面考慮）

7. 評価

1）事業の振り返り・課題

⑴今年度は14施設に拡大して開催できた。また、施設の協力を得ながら、感染防止対策を徹底した上で安全に実施できた。

⑵新型コロナウイルス感染対策のため、3密を避けた机や椅子の配置、消毒、健康チェック、室内換気等に配慮した講座を実施したため、講座開始前の準備に時間を要した。

⑶講師の機器持ち込みの場合は、施設側との事前打ち合わせを十分に行う。

⑷夕方からの開催の場合は、講座開催関係者には交通事情の安全面考慮も必要である開催時期はもう1カ月早めに実施するほうが良い。

令和２年度　常任委員会活動報告

１　労働環境支援委員会活動報告

委員長　小阪マリ子

1　活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2　委員会開催	4回
3　活動内容	1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会開催　一部Web開催 ⑴日時：R2.11.19、20 ⑵参加者：34人(トップマネージャー3人、看護師長14人、副看護師長等17人) 2)病院等へのアドバイザー派遣による相談会 ⑴相談希望病院の応募を11月30日まで実施 ⑵1病院より応募あり、アドバイザーの日程調整を図り2月19日に派遣、相談会開催 3)セカンドキャリア支援研修会開催 ⑴日時：R2.12.17 ⑵内容：講義および病院の取り組み発表 ⑶対象：山口県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わない) ⑷参加者：16人(就業中15人、未就業1人)
4　評価と今後の課題	1)ヘルシーワークプレイス研修は当初3日間の予定であったが、感染対策のためグループワークを避け2日間に変更し開催した。講師も東京在住の為、オンラインによる講義形式を取り入れ実施した。今後は、実施に向けての演習等を検討し継続する。 2)アドバイザー派遣の日程調整に時間を要したが、今後効率的に派遣できる体制の検討を行い継続する。 3)看護職は生涯現役世代として、定年後も働き続けることが期待されているため定年後のキャリア形成に活用できる研修を検討し継続する。

２　看護制度委員会活動報告

委員長　西村容子

1　活動目標	1)看護制度における課題を抽出する。 2)看護職に期待される役割や活動について検討する。 3)准看護師の資質向上と看護師資格取得を推進する。
2　委員会開催	6回
3　活動内容	1)看護学校教員には情報や課題の抽出のためアンケート調査を実施し、情報提供と課題解決に向けての継続的な方策について協議した。 2)COVID-19による感染防止を目的に、緊急企画　感染管理認定看護師対象の新型コロナウィルス感染対策意見交換会を実施した。日時：R2.7.18　参加者：30人 3)准看護師対象スキルアップ研修及び看護師資格取得支援のための研修会を実施した ⑴インターネット配信研修　「感染予防の基本、誤嚥を予防する食事介助の基本」 ⑵看護師資格取得支援の情報提供　日時：R2.12.5　参加者：10人 4)県協会報「きらめき」で委員会活動報告 2回
4　評価と今後の課題	・看護学校教員へ実施したアンケート調査結果から、実習施設の確保や教育現場が抱えている課題等、多くの示唆を得た。次年度は課題解決に向けて意見交換会を行い、看護職と看護教員との協議を企画予定である。

	・准看護師対象の研修会、看護師取得への支援は継続して行い、准看護師養成所教員へのアンケートを協議する。「感染対策」についての研修も引き続き継続していく。 ・看護基礎教育4年制に向けての機運を高めるための研修会を行い、情報収集と課題の抽出について協議する。 ・専門分野の看護職の交流会について検討する。

3　教育委員会

委員長　山角洋子

1　活動目標	1)令和2年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2)会員のニーズおよび令和2年度教育研修会の評価をふまえ、看護職のさらなる実践能力の向上につながる令和3年度教育研修を企画・立案する。 3)教育研修立案に際して常任委員会および職能委員会、支部と連携し各委員、支部からの要望を反映した研修計画を立案する。
2　委員会開催	9回
3　活動内容	1)教育研修会の運営・実施状況 ⑴看護実践能力養成講習会 36コマ(40日)　→17コマ17日(感染防止対策のため) ①新人研修　0回/1回　②看護研究　0回/2回　③看護管理　1回/4回 ④自己教育　2回/3回　⑥アンケート枠　1回/1回 ⑤看護実践能力(JNAラダー)　実施/計画 ア　ニーズをとらえる力　3回/5回　イ　ケアする力　7回/11回 ウ　協働する力　0回/5回　エ　意思決定を支える力　3回/4回 受講者：　801人／定員1110人　定員充足率：　72.1%(昨年度88.1)% 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、受講者数の上限を70名として開催。実施17研修中、10研修がオンライン研修、1研修がDVD研修として開催。 研修は研修前の健康チェック、座席調整、換気、終了後の消毒等、適宜考慮しながら運営にあたった。 2)次年度研修計画立案 今年度中止となった研修を含め、研修内容を検討し企画。 特に、新型コロナウイルスに関連した項目(感染、呼吸器関連、メンタルヘルス)について意識して企画し、早い段階に実施できるようにした。 感染リスクを最小にするために、受講時間の設定、WEBを用いた研修への切り替え、研修形態等を考慮して立案した。 3)他委員会等との連携 常任委員会および職能委員会、支部からの要望を反映した研修が実施できていないため、今年度実施できなかった研修は次年度に引き継いで企画することとした。
4　評価と今後の課題	・オンライン研修の有意義な活用と体制整備の検討として、各施設や個人での受講に向けた課題の検討(受講料、受講履歴、必要機材の準備等)

4　学会委員会

委員長　坂井浩美

1　活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興を図る。
2　委員会開催	3回
3　活動内容	1)第20回山口県看護研究学会の企画・準備(新型コロナウイルス対策のために紙上発表)

	2)第20回山口県看護研究学会　抄録集の発行 3)第21回山口県看護護研究学会の演題募集要項の内容検討
4　評価と今後課題	新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み集合での学会は開催せず、紙面で抄録集として発表とし、例年通りのスケジュールで演題を募集した。学会テーマを「続けよう看護の追求」とし、「困難な状況下においても専門職として看護研究の手をとめない」というメッセージとともに、15題の紙上発表を行った。 次年度は、社会情勢を見ながら集合での学会を企画していく予定である。

5　認定看護管理者教育運営委員会活動報告

委員長　原田美佐

1　活動目標	1)改正カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2　委員会開催	3回
3　活動内容	1)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル統合演習、実践計画書の評価基準手順の検討 2)県協会報「きらめき」への認定看護管理者教育運営委員会の活動報告の検討と原稿掲載 3)令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルおよびファーストレベル受講者選考に係る小論文における課題の検討 4)新型コロナウイルス感染症流行期における認定看護管理者教育課程の研修のあり方に関する検討 5)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修教育評価、修了審査 6)令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修受講者選考 7)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル修了者フォローアップ研修の検討 8)認定看護管理者教育機関　認定確認・認定更新に関する確認と共有
4　評価と今後の課題	1)評価 計画通り、円滑な運営と教育評価を行うことができた。 2)今後の課題 ・認定看護管理者教育機関としての認定更新を受審し、課題に対応する。 ・感染症蔓延期における、認定看護管理者教育課程の臨地実習を含めた研修のあり方を検討する。

6　広報委員会

委員長　深水　潤

1　活動目標	1)山口県看護協会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を掲載できるよう紙面の充実をはかる。 2)非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためにホームページの充実や、協会会員の増員につながる広報活動を推進する。 3)日本看護協会の取り組みや県内各施設の取り組みに対し、時宜を得た広報活動を行う。
2　委員会開催	4回
3　活動内容	1)山口県看護協会会報誌「きらめき」年3回発行 ⑴発行時期：6月、10月、1月（会報号147号、148号、149号）

	⑵実施内容等 ①掲載内容・紙面形式の検討　②原稿依頼　③原稿の編集・校正 ④紙面構成の検討　⑤印刷会社との打ち合わせ ⑥看護協会会員特典等の情報収集 2)ホームページの充実　ブログの更新 3)Nursing　Now周知のための広報活動 4)県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集
4　評価と今後の課題等	上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、本協会の支部や委員会等の活動も出来ない状態での新年度スタートであった。そこで、広報誌の主な内容は、コロナ禍において職能団体として看護職にどのような支援を行ったかについてお知らせすること、今後どのような支援を行っていく必要があるのかに重点を置いた内容に変更した。下半期も、その時々の状況に応じた内容を検討しながら活動目標にもある協会員増員のために、会員が必要とする内容を掲載できるよう紙面の充実を意識して広報誌を刊行した。 ホームページについては、ホームページへのアクセス数を増加させるためにも、画面を見る人の立場に立った画面展開を意識し検討していく。

7　推薦委員会

委員長　中塚　恵

1　活動目標	1)役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2)職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3)日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
2　委員会開催	3回
3　活動内容	1)第1回推薦委員会　書面開催 ⑴推薦者の確認 2)第2回推薦委員会 ⑴推薦委員の任務について ⑵委員長選出 ⑶各委員会の活動目標や活動状況の確認 ⑷委員推薦状況の確認、職能ごとに次期候補者の検討 ⑸各施設への電話連絡 ⑹各職能より候補選出進捗状況の確認 ⑺未決定候補者の再検討 ⑻各施設への電話連絡 3)第3回以降は、保助看の職能別に会員施設に候補者の推薦を依頼
4　評価と今後の課題等	推薦委員会では、各職能の活動状況を理解し推薦を行った。今回、新型コロナウイルス感染拡大の影響で委員会の開催が難しい状況があり事務局と連絡を密にして行った。推薦を依頼する際には、どうしても会員数の多い施設を先に選択してしまうが、会員数の少ない施設では厳しいと感じた。 今後も円滑な看護協会活動の継続のために、適正な人材を推薦することが重要である。

8　医療安全推進委員会

委員長　大久保典子

1　活動目標	1)医療安全管理者の養成 2)医療安全管理者の資質向上の推進 3)医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 4)医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2　委員会開催	5回
3　活動内容	1)医療安全管理者養成研修会の企画・運営・評価 ⑴令和2年度医療安全管理者養成研修の企画、感染症に対応する研修会の実施方法について、具体的な検討をし、当初の日程を変更し実施した。 55人の応募あり、1施設1名として、42名の受講者で、7日間45時間の研修を企画、実施(①9/18　②9/25　③10/8　④10/17　⑤10/18　⑥11/5　⑦11/6)　修了者：41人 ⑵医療安全管理者養成研修修了者フォローアップ研修(3/5　0.5日)企画、実施 受講者：34人 2)医療安全管理者スキルアップ研修会の企画・運営・評価　中止 3)山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価(2回開催)　中止 ⑴圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 ⑵現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 4)山口県看護協会誌「きらめき」に医療安全情報を掲載　3回 5)医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動の支援 6)「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の配布等
4　評価と今後の課題	COVID-19感染症の関係で、さまざまな研修会が見合わせとなる中、会員の強い要望もあり、医療安全管理者養成研修を実施した。実施に向けて、受講者数の制限、グループワークの方法等具体的な検討を行い実施、全日程を終了した。「おひとりさま」の医療安全管理者が多い中、感染防止に配慮しながらも集合研修ができたことは、受講者自身の持つ課題の共有やネットワークづくりにもなり、有意義なものになったと評価する。 医療安全管理者養成研修のさらなる充実と、医療安全管理者養成研修修了者の現場での活動の支援に繋がる、継続したフォローアップ・スキルアップが今後の課題と考える。 今年、中止となった医療安全管理者交流会の再開、圏域活動を中心としたネットワーク構築等の支援も今後の課題である。

9　災害支援委員会

委員長　木村直也

1　活動目標	1)山口県災害支援ナースの育成・支援 2)災害支援ナースの資質向上 3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報
2　委員会開催	5回
3　活動内容	1)災害支援ナースの資質向上 新型コロナウイルス感染症への災害ナースの対応力向上を目的として、災害支援ナースフォローアップ研修を企画した。応募者多数のため、2回にわけて実施。 ⑴災害支援ナースフォローアップ研修 研修テーマ：避難所での支援活動 ～新型コロナウイルス感染症を意識した感染対策～ ①1回目　R2.10.14　受講者：65人 ②2回目　R2.11.18　受講者：50人

	⑵災害支援ナース育成研修　基礎編　2日間(オンデマンド研修)　中止 ⑶災害支援ナース育成研修　実務編　2日間　基礎編中止にともない中止 2)「2020山口県総合防災訓練」への展示参加　中止 「2021山口県総合防災訓練」にWeb展示による参加をすることとし、展示内容を企画。 〔2021年4月から1年間Web掲載〕
4　今後の課題等	本年度は新型コロナ感染症の感染拡大の影響から研修開催を中止せざるを得ない状況となった。その中で密集・密接を避けるためフォローアップ研修を講義形式で受講者数を制限し、現在ニーズが高い新型コロナ対応を含めた内容で行った。 感染収束が未だ見えていない現在、次年度以降も感染予防対策を意識した研修開催の継続が望まれるが、災害支援ナースの育成・ブラッシュアップにはコミュニケーションスキルの向上も含めグループワーク・ディスカッション形式での研修開催が望ましい。そのため次年度は少人数でのグループワークを行う研修開催を検討する。 また、多くの災害支援ナースの研修ニーズもある事から、講義形式での研修開催も考慮していく必要がある。

10　在宅ケア推進委員会

委員長　西島陽子

1　活動目標	1)地域包括ケアの充実に向けた在宅ケアの基盤整備 2)在宅療養生活を支える看護の機能強化 3)多職種との共働、連携の強化
2　委員会開催	5回(訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催)
3　活動内容	1)在宅ケア推進委員会活動の方向性についての検討 ⑴在宅ケア推進委員会規定の見直し ⑵在宅ケア推進委員会の活動計画の見直し ①「在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業」をはじめとする委員会活動に関連する活動、現状についての情報収集 ②現状把握及び地域における看護の機能強化のための連携を推進するうえでの課題を抽出するための調査票の作成 ③「在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業(訪問看護実践研修)」について、医療圏域別検討会にアンケート調査を実施(6か所) ④アンケート調査をまとめ、在宅ケア推進委員会の関わり方を模索、活動計画の具現化を目指しての検討 2)訪問看護師育成支援事業との連携について 感染症の影響による事業の縮小により、会議による意見交換ができず、実施した研修等の事業についての情報提供を受ける(研修内容・参加者人数等)のみとなった。
4　評価と今後の課題	在宅ケア推進委員会のあり方が変更になり、委員自身が今後の活動のイメージを落とし込むのに時間がかかった。まずは、委員会の方向性を探り、統一することを最優先とした。そのためには、協会理事からの情報に加え、既存の活動についての現状把握、課題の抽出を行う必要があると考え、「在宅療養支援に係る看護職の連携推進・強化事業」訪問看護実践研修検討会にはアンケートでの協力をいただいた。 次年度は抽出された課題を絞り込み、委員会の活動の基盤を整備し、地域包括に関連する事業との連携を図り情報を集め、委員会の活動計画に反映することが必要である。委員会活動の確立に向けて進めていきたい。

新型コロナウイルス感染症の拡大への対応

1　看護職の確保

5月1日には「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を県から受託し、チラシの作成・配布、ホームページ更新やメディアへの働きかけ等により再就業の呼びかけを実施。就業を希望する看護職への研修会を実施。また、県と連携し「新型コロナウイルス感染症対策看護職員派遣制度」にて、医療機関・宿泊療養施設への看護職員派遣を調整。（72ページ参照）

2　看護職への支援

感染拡大に伴い医療機関等での個人防護具等の不足や看護職への誹謗・中傷が報道される中で、情報収集・現状把握を目的に、県内の病院を対象に、2回の「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状調査」を実施。（75～77ページ要約参照）

第1回調査結果等をもとに、看護職員確保への財政支援、危険手当の支給・宿泊費助成等の支援、防護関連用具や衛生材料費の計画的確保、備蓄、供給等の要望書を県知事及び県議会議長に提出した。（73～74ページ知事への要望書参照）

また、第2回調査結果をもとに看護職へのメンタルヘルスケアの支援を要望し、令和3年度の県事業に反映。7月に「看護管理者研修」、「感染管理認定看護師意見交換会」を緊急企画として実施。令和3年1月には、県行政と看護管理者との協力促進のために、「新型コロナウイルス感染症患者受入病院等看護管理者会議」を開催し、情報提供と意見交換を実施。

3　本協会における感染対策

7月以降の事業再開に向けて、「新型コロナウイルス感染対策マニュアル 公益社団法人山口県看護協会 Ver.1」を見直し、オンラインでの研修会開催の準備等を実施。

山口県看護協会の対応　時系列表　　2020年1月～2021年3月

2020年				
月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
1月	16日	国内において最初の感染者を発表		
	30日	政府が新型コロナウイルス感染症対策本部設置		
	28日	国が新型コロナウイルスによる肺炎など感染症を「指定感染症」に指定		
2月	26日	大型イベント自粛要請	12日	「医療施設等における新型コロナウイルス感染症への対応について」医療政策課看護指導班より周知依頼を受けて本協会ホームページに掲載
	27日	全国の小中高校に臨時休校を要請	22日	本協会の研修等の参加者が看護職であり感染が発生した場合の医療提供体制に及ぼす影響に配慮し3月末までの研修会等を中止
3月	4日	◆山口県内で初めての感染者を確認	3日	日看協の依頼を受けてeナースセンター登録者に就業の可否問い合わせ開始
	11日	WHOが新型コロナウイルスは『パンデミック』に相当すると認定	24日	「山口県看護研修会館で開催する研修会等の対応について（お知らせ）」、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための協力依頼」を4月逓送便にて送付。事務局の感染予防対策（案）の検討。来館者への健康チェック表使用開始

月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
			31日	「新型コロナウイルス感染対策マニュアル 公益社団法人山口県看護協会 Ver.1　　4月1日」を作成
4月	1日	専門家会議「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」公表	3日	中央ナースセンターより事務連絡「新型コロナウイルス感染症の対応における潜在看護職員の確保について」を受けて、「eナースセンター」「とどけるん」への登録者に、求人募集
	7日	国が7都道府県に緊急事態宣言発令	17日	本協会に新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、第1回会議開催。16日の緊急事態宣言の全国拡大を受けて、事務局内の対応を協議、健康福祉部長へ要望
	16日	緊急事態宣言を全国に拡大	18日	令和2年度第1回常務理事会にて、新型コロナウイルス感染拡大に伴う対応について協議。「新型コロナウイルス感染症の拡大に対する看護職支援の取組み」に沿って事業を実施することを確認
			24日	県内144病院の看護管理者を対象に「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う第1回現状調査」を実施。
				看護職対象の相談窓口設置 看護の現状についてNHK取材を受ける
			28日	第2回対策本部会議：事務局内で濃厚接触者及び感染者が発生した場合の対応について、連休中の対応について検討
5月	1日	専門家会議「長丁場前提に新しい生活様式を」提言	1日	6月以降の研修会等の開催について方針を決定。5月逓送便にて、9月末までに予定している研修会等の延期・中止を連絡する
	14日	緊急事態宣言を39県で解除		県より「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を受託
	25日	東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・北海道に対する緊急事態宣言を解除		本協会ＨＰに「看護職」「離職中の方」「県民」に対するメッセージと「山口県看護研修会館で開催する研修会等の対応について」を掲載
			2日	本協会ＨＰに、日看協「看護管理者の皆様へ　新型コロナウイルス感染症への対応　2020年5月1日版」案内を掲載
			9日	会員施設及び非会員病院・訪問看護ステーションに、離職中看護職の紹介を依頼するチラシを発送
			11日	県庁にて「看護の日」チラシ「私たち看護職に力をかしてください!」を記者配布 。5/13に山口新聞、宇部日報に記事掲載　5/12にはラジオで紹介
			12日	第3回対策本部会議：一般用看護職確保チラシの配布依頼を順次実施（西京銀行、山口銀行、ＪＡ、市町等に依頼する）決定
			14日	会員施設332施設と非会員病院22病院に、「山口県看護協会ホームページの活用について（ご案内）」を送付
			19日	読売新聞、毎日新聞、ＴＹＳ、防府日報より問い合わせ及び取材の依頼があり
			20日	日看協より「防護具について寄贈品、募金による購入品」を県協会に配布の連絡があり、県内会員施設332施設に希望調査を実施
			22日	看護の現状についてTYS取材を受ける
			26日	県内144病院の看護管理者を対象とした「新型コロナウイルス感染拡大に伴う現状調査報告（要約）」をホームページに掲載。NHKが内容報道

月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
6月	19日	都道府県をまたぐ移動の自粛全国で緩和	2日	西生県協会会長と長谷川県連盟会長が要望書を県知事と県議会議長に提出。テレビ、新聞等で報道される
		新型コロナウイルス濃厚接触確認アプリCOCOA運用開始	12日	県医療政策課看護指導班と委託事業の再開について話合い
			23日	第5回対策本部会議：令和2年度研修等事業の再開について検討、委員会等の会議は7月より、研修会等は8月より再開することを決定
			28日	令和2年度通常総会を規模を縮小して開催
7月	3日	新型コロナウイルス感染症対策専門家会議廃止	4日	「緊急企画　新型コロナウイルス感染症対策看護管理者研修」開催
	15日	◆県内において5月5日以来の感染者確認　38例目	9日	西生会長が県新型コロナウイルス専門家会議に今回より出席
	22日	「GoToトラベル」キャンペーン始まる	10日	県長寿社会課地域包括ケア推進班、障害支援課在宅福祉班担当者が来館、介護施設等の職員を対象とした認定看護師による研修会の協催について協議
	29日	国内新規感染者数1日あたり1000人を超す	18日	「緊急企画　感染管理認定看護師意見交換会」開催
			28日	第6回対策本部会議：「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル Ver2」改正案、8月以降の研修会開催・ZOOMによるオンライン研修についての検討。
			30日	潜在看護職対象　看護職感染症対応力向上研修「入門編」1回目開催
			31日	県医療政策課医師確保対策班担当者が来館、軽症者等に対する療養体制の確保（看護師）について依頼あり
8月	7日	国内新規感染者数1日あたり1600人を超す	1日	理事会にて、8月以降の研修会等再開への対応として「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル Ver.2」を説明
	26日	◆知事は県内初のクラスターを認定		支部運営会議で「支部用　新型コロナウイルス感染症対策手引き」を説明し、支部での事業再開に伴う感染対策を依頼
			5日	（株）弘法による事務局職員対象のオンライン研修説明会を開催
			6日	潜在看護職対象　看護職感染症対応力向上研修「入門編」2回目開催
			12日	第7回対策本部会議：感染対策の変更（来館者対応、会館管理等）協議
			20日	認定看護管理者サードレベルにおいて本協会で初めてのZOOMによるオンライン研修を実施
			28日	県健康福祉部医療政策課担当者と軽症者等に対する療養体制の確保について協議
			28日～10月9日	「認定看護師による入所施設向け新型コロナウイルス感染症対応研修」（県と協賛）第1回を看護研修会館で開催。以降、下関・光・山口・研修会館で開催
9月			1日	県担当者と「新型コロナウイルス感染症拡大時に対応する看護職員等の派遣調整」について協議。
			17日	軽症者宿泊療養施設に勤務を希望する看護師への説明会開催
			27日	第8回対策本部会議：「新型コロナウイルス感染拡大防止のための協力依頼」について内容変更

月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
10月	29日	国内の累計感染者数が10万人を超える	3日	理事会にて、新型コロナウイルス感染症への対応等の取組みについて説明
			6～12日	軽症者宿泊療養施設への看護職員の派遣調整、派遣依頼のため協力病院訪問
			14日	災害支援ナースフォローアップ研修にて、避難所での感染対策の研修会を開催(11月18日と2回開催)
			15日	県長寿社会課、障害支援課、県社協担当者が来館、介護職を対象とした研修会を開催予定。感染管理認定看護師を講師として紹介の依頼あり
			16日～	看護師養成所等における実習補完事業として、臨地実習を学内演習に代替する場合に必要な器材の貸し出しと演習補助要員の派遣を開始。10/16～3/19の期間で5校にて実施。
			26日	新型コロナウイルス軽症者等宿泊療養施設の現地シミュレーション 県新型コロナウイルス専門家会議(Web)に会長出席
11月	1日	◆県は新型コロナウイルス感染症に対応する医療機関等について見直しを実施	1日	軽症者等宿泊療養施設の運営開始
	18日	◆県内クラスター5件目　医療機関では初めて発生	13～24日	軽症者宿泊療養施設への看護職員の派遣調整、派遣依頼のため協力病院訪問
	21日	国内感染者数4日間連続で最多を更新 21日は1日2596人	18日	県担当者よりクラスターが発生した病院に看護師派遣の調整依頼あり病院を訪問 県新型コロナウイルス専門家会議(Web)に会長出席
12月	21日	日本医師会など医療9団体　新型コロナの年末年始対応で「医療緊急事態宣言」を発表	1日	第9回新型コロナウイルス感染症対策本部会議：新型コロナウイルス感染症対策マニュアル(8.1改正Ver.2)について改正内容の検討、冬季対策を検討
	28日	GoToを全国で停止	10日～15日	軽症者宿泊療養施設への看護職員の派遣調整、派遣依頼のため協力病院訪問
			11日～15日	第2回新型コロナウイルス感染拡大に伴う現状調査を実施
			29日	宿泊療養施設について、県より感染者の増加が予測されるため12月30日～1月3日の夜勤者増員依頼を受け調整
2021年				
月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
1月	7日	埼玉・千葉・東京・神奈川に緊急事態宣言発令	8日	TYSテレビ取材　県看護協会として新型コロナウイルス関連の県への要望について
	10日	◆県は周南市の施設と隣接する病院でクラスターが発生と認定	13日	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る担当者会議に会長出席
	13日	栃木・岐阜・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡に緊急事態宣言発令	14日	県医療政策課を会長・専務理事が訪問。宿泊療養施設の看護師に関して及びメンタルケアの必要性等(第2回現状調査結果より)申し入れ
	18日	◆県は宇部市の病院でクラスターが発生と認定	21日	新型コロナウイルスワクチン接種対策会議に会長出席
		◆山口県1日最多の88人の感染者が報告される	22日～	会長クラスター発生病院訪問、情報収集。23日以降、常務と共にクラスター発生への対応支援
	19日	◆県は下関市の病院でクラスターが発生と認定	24日	宿泊療養施設の入所者増加への対応として、県看護協会より看護職員派遣

月	日	感染症関連の動向	日	山口県看護協会の対応
	22日	◆山口県感染者数累計が1,000人を超える	27日	業務推進会議：来館者への協力依頼と健康チェック表の更新
	26日	世界の感染者数が1億人を超える	28日	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る圏域会議に会長出席
			30日	新型コロナウイルス感染症患者受入病院等看護管理者会議開催。県行政と看護管理者との意見交換を実施
2月	13日	「まん延防止等重点措置」の新設	4日	新型コロナウイルスワクチン接種対策会議（幹事会）に会長出席
	14日	ファイザー社のコロナワクチンを厚生労働省が承認	5日	クラスター発生病院を訪問、看護師派遣制度の説明等
	19日	◆山口県内医療従事者へのワクチン接種開始	8日	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る圏域会議に会長出席
	28日	愛知・岐阜・大阪・京都・兵庫・福岡県の緊急事態宣言解除	13日	常務理事会でクラスターが発生した施設への認定看護管理者の支援について協議
				訪問看護師スキルアップ研修（管理者対象）会にて、「訪問看護ステーションにおける感染対策」を実施
			26日	宿泊療養施設の4月以降の採用について説明会
3月	16日	◆周南市と宇部市で発生した大規模クラスターの収束を宣言	2日	クラスターが発生した医療機関に支援を行った看護管理者及び感染管理認定看護師の協力を得て、「平時における感染症（クラスター）対策」を作成し、HPに掲載
	21日	東京都・神奈川・愛知・千葉県の緊急事態宣言解除		日本看護協会「地域の医療提供体制確保のための看護職員派遣調整事業」にて、スキルアップ研修用として医療シュミレーター（きんちゅうくんⅡ）を購入、ワクチン接種に向けて看護職員の研修に活用
	31日	大阪府は全国初「まん延防止等重点措置」の適用を国に要望		市町等のワクチン接種会場で配布するチラシ「山口県民の皆様へ　看護職員募集への協力依頼」を作成
			10日	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に係る圏域会議に会長出席
			23日	県新型コロナウイルス専門家会議（Web）に会長出席
			26日	クラスター発生病院収束のための支援終了

新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業による看護職員確保の取り組み

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中で、医療機関等の看護職確保のために5月1日に「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」を県から受託し、チラシの作成・配布、ホームページやメディア等による再就業の呼びかけを行うと共に、県ナースセンターにおいてe-ナースセンターへの登録者や離職時の届出者への募集情報の提供と協力依頼を行った。令和3年3月末までに再就業した看護職は、病院3人、行政13人、宿泊療養施設が9人であった。

また、「山口県新型コロナウイルス感染症対応看護職員派遣制度」（事業スキーム参照）として、新型コロナウイルス感染症患者受け入れ医療機関及び宿泊療養施設への医療機関からの看護職員の派遣について、県医療政策課と連携し調整を行った。令和3年3月までに、山口県と協定を締結した医療機関は30施設であり、その中で病院には14施設が派遣、宿泊療養施設には10施設が延べ29人の看護師を合計125日間派遣した。派遣を行った協力病院等については表に記載。

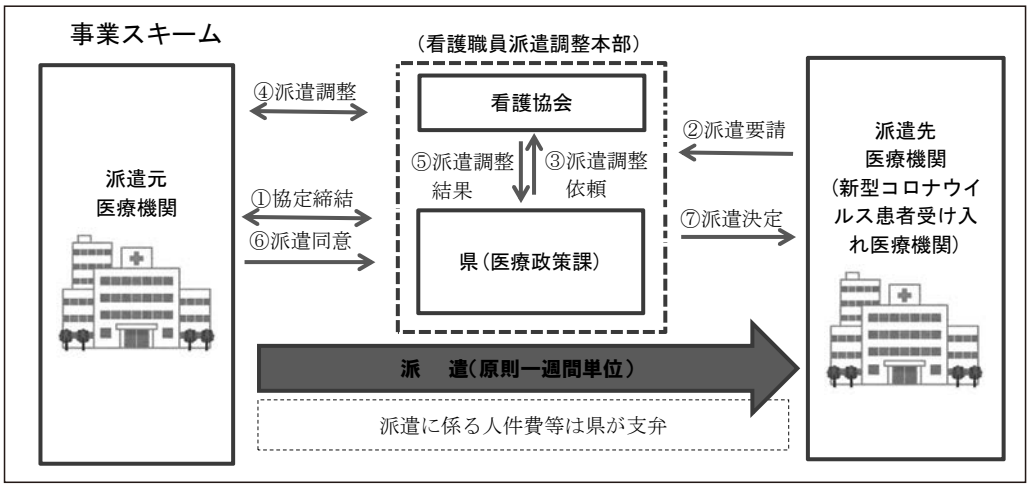


表　制度により病院及び宿泊療養施設への派遣を行った協力病院等

順不同

	医療機関等
1	岩国市医療センター医師会病院
2	国立病院機構岩国医療センター
3	岩国市立美和病院
4	周東総合病院
5	周防大島町立大島病院
6	徳山中央病院
7	徳山医師会病院
8	周南市立新南陽市民病院
9	光市立光総合病院
10	光市立大和総合病院
11	三田尻病院
12	防府消化器病センター防府胃腸病院

	医療機関等
13	山口リハビリテーション病院
14	小郡第一総合病院
15	山口大学医学部附属病院
16	宇部リハビリテーション病院
17	田代台病院
18	山口労災病院
19	小野田赤十字病院
20	山陽小野田市民病院
21	済生会下関総合病院
22	萩市（休日診療所）
23	山口県看護協会

※　山口県が医療機関のクラスター対策として実施した看護職員の派遣は含まない

令和2年6月2日

山口県知事　村岡　嗣政　殿

公益社団法人山口県看護協会
会長　西生　敏代

山口県看護連盟
会長　長谷川京子

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書

国は、令和2年3月28日に「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」を決定し、4月7日には7都府県に、16日には全都道府県に拡大し特別措置法に基づく緊急事態宣言を発令し、感染防止対策と医療提供体制や社会機能確保等の諸課題に対処されてきたところです。

また、県におかれましても、厳しい環境の中、国等との連携の下、相談体制の整備、ＰＣＲ検査・医療体制の確保等の諸施策を懸命に推進しておられますことに、心より敬意を表する次第です。

県看護協会・県看護連盟においても、日本看護協会・日本看護連盟と連携し、感染症拡大防止対策及び県と連携し現場で逼迫する看護職員の確保のため潜在看護師職（保健師・助産師・看護師・准看護師）確保対策を進めているところです。

こうした中、緊急事態宣言は、本県では14日に解除されたところですが、3月初めに県内で感染者が確認されて以来、現在まで37人の感染者が発生しており、また、第二波の感染拡大の恐れなど、いまだ予断を許さない状況にあります。

今後、これ以上感染が拡大・継続すれば、マンパワー・医療資材不足により疲弊した医療現場のキャパオーバーによる医療崩壊も危惧されるため、計画的な人材・資材の確保が必要とされています。

また、県看護協会の実施したアンケート及び県看護連盟が実施した聞き取り調査には、感染症対応の看護職員等への心ない誹謗・中傷により、その家族等に影響がおよび現場での活動が制約される等の声が寄せられています。

これに加え、看護職の就労の場は医療の場のみでなく訪問看護ステーションや介護施設などの在宅支援、産業施設などでの就労者支援、保健所・行政の場などで多岐にわたっており、それぞれの場で県民の健康を守るため感染症対策を担う看護職からの声も寄せられています。

更には、このたびの影響により、次代の看護を担う看護学校の生徒の臨地実習が困難となっており、看護力の低下が懸念されています。

医療関係者は、自らの感染への不安や恐怖を感じながら懸命に職務にあたっています。

つきましては、県における看護従事者を確保するとともに、より質の高い看護を提供できる環境を整えることにより県民の安心・安全を図るため、以下の項目について強く要望いたします。

記

1. 新型コロナウイルス感染症対応に係る看護職の確保について
○不足する看護職員確保のための本協会事業における連絡調整に係る職員への人件費、事務連絡に要する諸経費について、感染者の発生状況に応じた財政支援の拡充を行うこと。
○新型コロナウイルス感染者を受け入れる病院では、通常業務とは別に看護職員が必要となるため、人件費の財政支援を行うこと。

2. 看護職が安心して誇りを持って活躍できる環境づくり
○新型コロナウイルスに感染した患者又は感染の疑いのある患者に対応した看護職員及びその補助を行った看護職員に対する危険手当の支給・宿泊費助成等の支援を願いたい。
○軽症・無症状者収容施設（宿泊施設）に従事する医療チーム・看護職員に係る人件費並びに研修の企画及び運営に係る経費について、感染症の発生状況に応じた財政支援の拡充を行うこと。
○妊娠中の看護職員の休業に伴って代替え職員を雇用した場合の所要経費の補助金の措置を願いたい。
○看護職への誹謗・中傷の防止対策及び精神的負担への対応メンタルサポート体制の整備・充実を行うこと。
○学校の休校時等における看護職の子ども対策を行うこと。

3. 防護関連用具や衛生材料費の計画的確保、備蓄、供給
○感染症と向き合う医療現場への医療用マスク、フェイスシールド・ガウン・手袋等の防具等の確実な確保を図ること。
○訪問看護事業所への感染防止に必要なマスク、ガウン等、訪問に必要な衛生材料の支援を願いたい。

4. 保健所の体制強化
○帰国者・接触者相談センターや積極的な疫学調査等に保健所が対応できる体制を整備すること。
○患者の搬送、軽症者等収容施設の管理、検体の採取等のリスクの高い業務に従事する保健師の危険手当を増額すること。

5. 看護学生の教育への支援
○多くの実習病院において外部からの立ち入りが厳しく制限され、臨地実習が困難となっている。臨地実習等の代替授業法、例えばシミュレーターを用いた学習等の環境整備への助成等を願いたい。

第１回　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状調査報告（要約）

公益社団法人　山口県看護協会

令和2年5月20日

現状調査を実施いたしましたので結果について報告いたします。

1　目的　　今般の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染患者への対応並びに感染防止対策に日々努力をしている病院の現状と看護職への影響を把握し、日本看護協会への情報提供及び行政機関等への要望をすることにより、看護職への支援を図る。

2　調査期間　　令和2年4月24日～令和2年5月12日
（調査対象期間　令和2年3月1日～令和2年4月20日　51日間）

3　調査対象　　山口県内144病院　看護部長及び同役割にある看護管理者

4　調査方法　　調査期間に調査票を郵送留置き法とした　返信方法はFAXまたはメールとした

5　回収状況　　回答数112病院　回答率　77.7%

6　調査結果のまとめ

1）現状

①　調査期間において、感染症拡大による看護職の充足状況に変化はないと回答したのは、96病院（85.7%）であり人員的に逼迫した状況はなかった。

②　子供の休校に伴う勤務への影響は、59病院（52.7%）があったと回答した。その内容は、急な休みの希望が最も多く346件で、続いて夜勤の交代が32件であった。

③　看護管理者が把握している風評被害は、22病院（19.6%）から57件の報告があった。具体例の記載では保育園の利用を断られるなど、保育園の利用に関することが多く預けることが出来ずやむをえず休暇を取得した。他、看護師の家族ということで辛い思いをしたなどの例があった。

④　防護具については、マスクが不足していると回答したのは93病院（83%）であり、2日で交換が31病院、3日で交換が15病院、1週間使用が21病院と、マスクや消毒液等が不足し感染の不安を抱えながら業務を行っている厳しい状況があった。

⑤　調査の対象病院の多くは、看護学校の実習病院であるが、感染症拡大に伴い患者家族の面会制限など外部からの立ち入りは厳しく制限されていることから、学生の臨地実習も制限せざるを得ない状況にある。このことは、学生の教育の質の担保や単位取得にも影響することから各病院で対応に苦慮している。

2）要望

①　今後、感染者が増加し入院患者が増加した場合は看護師の不足が懸念されるので、潜在看護師の掘り起こしを継続してほしい。

②　要望項目では、「マスク等の防護具、消毒液に関すること」が26件と最多で、安定的に供給されるようにしてほしいことと、不足状況の中で価格の高騰があり感染対策を実施するうえで病院経営の負担となっているので支援してほしい。

③「看護職への支援に関すること」としては、感染患者を担当する看護師に危険手当の支給、病院、看護師等への風評被害への対応として県民への啓発をお願いしたい。

3）今後の不安

①「マスク等の防護具、消毒液の供給等に関すること」が26件ともっとも多く、次に「入院患者からの感染者の発生、院内感染に関すること」が20件あった。院内感染による医療崩壊を招かないためには、現場に十分な防護具（マスク、ガウン、N95マスク、フェイスシードル、PPE等）の供給が必要であるが、見通しが立たず感染対策が十分にできるか不安。

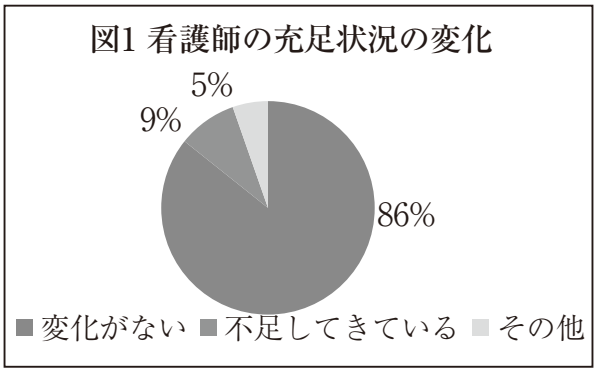
②　感染の長期化による看護職の疲弊や離職増加、次年度の新卒看護師の採用への取り組みへの影響など、看護職の心身の健康管理や人員確保について不安。

以上

調査結果の抜粋

1　新型コロナウイルス感染症の拡大による看護師の充足状況の変化（図1）　n=112

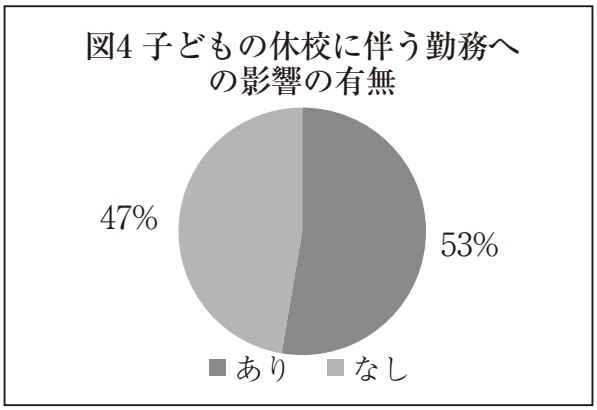
・変化なし　96病院
・不足してきている　10病院
・その他　6病院



2　子供の休校に伴う勤務への影響の有無
（図4）　n=112

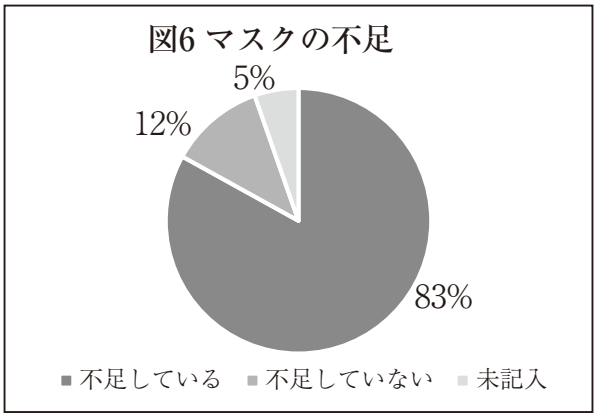
・影響あり　59病院
・影響なし　53病院

＜勤務への影響の件数＞
・夜勤の交代　32件
・急な休みの希望　346件
・その他　124件



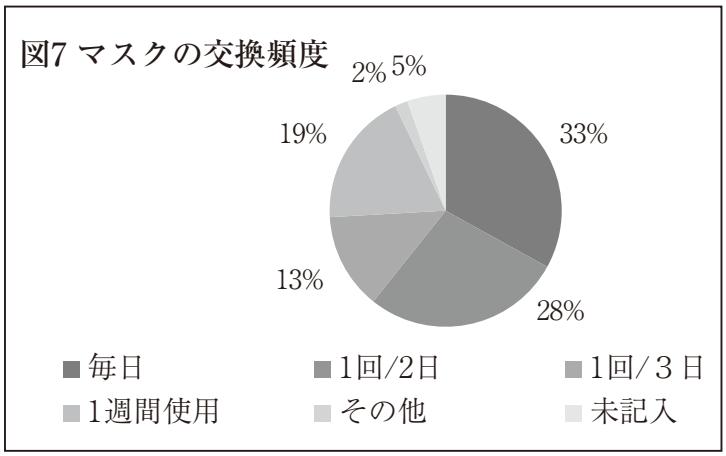
3　防護具等の状況について
1）　マスク（図6）　n=112

・不足している　93病院
・不足していない　13病院
・未記入　6病院



4　マスクの交換頻度（図7）　n=112

・毎日　37病院
・2日に1回　31病院
・3日に1回　15病院
・1週間使用　21病院
・その他　2病院
・未記入　6病院



第２回　新型コロナウイルス感染症拡大に伴う現状調査結果（要約）

公益社団法人　山口県看護協会

令和3年2月16日

現状調査を実施いたしましたので結果について報告いたします。

1　目的

本協会では、4月に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を把握する目的で第1回現状調査を実施し、調査結果等を踏まえ6月に山口県知事及び県議会議長への要望書を提出した。現在、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は第3波を向かえ、都市部では医療体制の維持が大きな課題となっている。第2回調査では、県内における感染症拡大と長期化が看護現場に及ぼしている影響を把握し、日本看護協会及び県行政等への提言の資料とする。

2　調査期間　　令和2年12月11日～令和2年12月25日

3　調査対象　　山口県内140病院　看護部長及び同役割にある看護管理者

4　調査方法　　調査期間に調査票を郵送留置き法とし、返信方法は郵送またはメールとした

5　回収状況　　回答数102病院　回答率　72.9%

6　調査結果のまとめ

1）所属施設について

⑴　新型コロナウイルス感染症患者受け入れの医療機関の指定区分及び役割について

	全体	指定区分				役割
		感染症指定病院	重点医療機関	入院協力病院	該当なし	看護職員派遣協力病院
病院数 （%）	102 （100）	4 （3.9）	2 （2.0）	20 （19.6）	76 （74.5）	20 （19.6）

※　看護職員派遣協力病院：山口県と看護職員派遣協定を締結している病院

⑵　新型コロナウイルス感染症患者の入院について

・入院あり　17病院（16.7%）　　・入院なし　85病院（83.3%）

2）看護職員の雇用状況について

⑴　現在の看護職員数については、「充足している」26病院（25%）、「やや不足している」53病院（52%）、「不足している」23病院（23%）であった。「やや不足している」と回答した53病院の内、職種別では、看護師が41病院、看護補助者が38病院の順で多かった。また、「不足している」と回答した23病院では、看護師が21病院、看護補助者が19病院、の順で多かった。看護師と共に看護補助者が不足している状況がある。

⑵　新型コロナウイルス感染症の拡大が看護職員の雇用に影響していると思うかについては、「影響していると思う」が48病院（47%）、「影響はないと思う」が52病院（51%）であった。「影響していると思う」と回答した48病院の雇用に影響していると思う内容（複数回答）は、「中途採用の募集への応募が少ない」が27病院で最も多く、「退職者が増えた」9病院、「新卒者の応募が少ない」9病院の順であった。その他として、「学校訪問、説明会などの機会の減少」「コロナを理由に復職を見送った」「看護補助者の応募が少ない」「県内の感染拡大を理由に内定辞退があった」「実習を中止したため、実習学校からの新卒希望が無かった」などの記載があった。

3）看護職員へのメンタル面での影響については、「強く感じている」が14病院（14%）、「感じている」が67病院（66%）、「あまり感じていない」が17病院（16%）、「感じていない」が1病院（1%）であった。「強く感じている」と「感じている」を合わせると80% であり、看護管理者の多くがメンタル面での影響を感じている。メンタルケアの相談窓口については、「相談窓口がある」が90病院（88%）、「相談窓口はない」が11病院（11%）であった。「相談窓口がある」と回答した90病院の内容（複数回答）は、「上司等による相談」が67病院と最多であった。「病院内での臨床心理士など専門職による相談」33病院、「病院外の相談場所の紹介」が16病院の順であった。

以上

報告事項２　令和3年度　事業計画

重点方針

少子超高齢社会の人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革は、病床の機能分化・連携の促進、地域包括ケアシステム構築の推進、医療従事者の確保・勤務環境の改善等、2025年に向けていずれも大詰めの段階へと差し掛かっている。また、高齢化の更なる伸展や単独世帯増加による孤立化、地域の共助機能の弱体化など2040年に向けた課題も明らかとなってきている。

山口県においては、令和元年の高齢化率が34.3％と、全国第3位の高齢化率となっており、全国に先行して進む高齢化への対策が進められている。一方、高齢者のみではなく子どもや子育て世代、障害者等も含めた全ての世代にとって、より安心して生活できるよう地域と医療が一体となった包括的かつ継続的なケア体制の構築も求められてきている。このような中、看護提供の場は広がっており、医療と生活双方を支える看護職には確かな看護スキルと「生活の質」の視点、地域マネジメントの力など求められる能力と役割が、今後も拡大していくことが予測される。

加えて、今般の新型コロナウイルス感染症のパンデミックによる経験は、私たちの生活に大きな影響を与え改めて看護の力への期待が高まっている。かねてより、看護は疾病の予防・健康づくり、重症化予防に専門性を発揮し取り組んできたが、今後予測される新興感染症や地震・豪雨等による災害等危機管理への対応において更なる看護の力、看護の役割が強く求められている。

また、看護職能団体として、新型コロナウイルス感染症への対応において、危機時における事業の継続と本協会の役割遂行上の課題が明らかとなった。多様な場で働く看護職の状況を把握し、課題抽出と解決に向けた働きかけや情報発信を速やかに行っていくためにはICTの活用の推進など新たな取り組みが必要となっている。

これらを踏まえ、令和3年度は以下の4点を重点方針として事業を行う。

Ⅰ　全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

Ⅱ　看護職の就業と定着の促進

Ⅲ　看護の質の向上とキャリア形成の促進

Ⅳ　組織力の強化

令和3年度　重点方針・重点事業の説明

重点方針Ⅰ　全世代を対象とした地域における看護力の強化と連携

【事業概要】

昨年度までは「地域包括ケアにおける看護力の強化と連携」を重点方針とし、重点事業として、平成30年度より、在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進と連携の強化を図る目的で、地域における課題の抽出と課題解決のための取り組みを8医療圏において行ってきたが、何れの医療圏においても連携を図る検討対象が主には高齢者であった。地域包括ケアの対象が高齢者主体から、子ども・子育て世代・障害者、高齢者など、全ての住民を対象とした全世代へと拡大する現状を踏まえ、今年度は、保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱの各職能委員会において、専門領域での看護職間および多職種間の連携について検討し、課題抽出と共有を行うことを重点事業として加える。

【重点事業】

Ⅰ-1　（拡充）地域連携における看護の機能強化事業

・在宅療養支援のための看護職連携推進研修　県委託を含む

ポイント　支部事業として10支部で実施

・在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み（在宅ケア推進委員会）

ポイント　方向性を探るための現状把握、分析、展開方法についての検討

Ⅰ-2　看護業務の質の向上に関する事業

・保健師・助産師・看護師Ⅰ・看護師Ⅱ各職能委員会の活動

ポイント　4職能委員会において専門領域での地域との連携について検討
職能間での専門領域における連携上の課題の共有

【他事業】

・訪問看護師育成支援事業　県委託

・訪問看護新任者研修

重点方針Ⅱ　看護職の就業と定着の促進

【事業概要】

2025年の看護職員の需給推計では、山口県はシナリオ②（超過勤務10時間以内　有給取得10日以上）の場合、現時点の看護職員数が2025年の需要量を超過している。（2019年医療従事者の需給に関する検討会より）しかし、看護職員の総数では需要を充足していても、県内の二次医療圏単位かつ領域別、在宅医療・介護領域では不足が見込まれる。有資格者の潜在化を防ぐために、既存の制度である届出制度への登録とe-ナースセンターの活用に向け、就業中の看護職を対象に看護管理者及び看護職自身への周知活動を強化する。

また、定年退職者を対象とした『セカンドキャリア人材登録システム』を設け、本協会事業及び市町等の地域活動に必要な看護人材のニーズとのマッチングを行い、看護職としての知識や経験を活かした活動の場の拡大を図る。現役世代に対しては、看護の現場で働いている看護職が辞めない、できるだけ健康で長く働き続けることが出来る職場環境づくりを推進して行くために、看護管理者を対象とした研修会『ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して』を継続して実施する。また、日本看護協会と連携し保健師人材確保の取り組みを行う。

【重点事業】

Ⅱ-1　ナースセンター事業

・無料職業紹介

・離職者・未就業者届出サポート

ポイント　看護管理者や看護職に対して届出制度の周知活動、病院等との連携強化

ナースセンター運営協議会委員に看護職以外の委員を加え他団体との連携を図る

Ⅱ-2　（拡充）　働き続けられる職場づくり推進事業

・働き続けられる職場づくりの啓発・支援

ポイント　「ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）を目指して」の研修会を開催

新規　セカンドキャリア世代の働き方支援として「セカンドキャリア人材登録制度」の設置

【他事業】

・ナースセンター事業　県委託

・プレナース発掘事業　県委託

重点方針Ⅲ　看護の質の向上とキャリア形成の促進

【事業概要】

看護を取り巻く状況の変化を踏まえ看護職は専門職として、その能力を発揮し続けるために、新人期のみならず就業している期間を通じて能力の開発を行う必要がある。平成30年度から3年計画で看護師のクリニカルラダー（JNA 版）の導入支援を行ってきた。今後も看護職個々が本協会の研修等を活用し、継続した学習を積み重ねキャリア形成に繋げていけるような企画・運営を行う。

【重点事業】

Ⅲ-1　（拡充）　看護業務の質の向上に関する事業

・看護制度の課題解決への取り組み（看護制度委員会）

ポイント　新規　看護師養成校の教員との連携強化　学校訪問及び交流会開催

新規　専門領域の資格取得者（専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者）の意見交換会

新規　看護基礎教育4年制化の推進

准看護師の課題抽出

【他事業】

・看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の導入支援

・保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ職能委員会活動

・一般教育研修

・認定看護管理者教育（ファーストレベル・セカンドレベル）

・新人看護職員研修事業　県委託

・助産実践能力向上事業　県委託

・実習指導強化推進事業　県委託

・助産師出向支援導入事業　県委託

・インターネット配信研修

・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修
・医療安全推進事業
・第21回山口県看護研究学会の開催

重点方針Ⅳ　組織力の強化

【事業概要】

昨年度は、会員数10,600人を目標とした2年計画の1年目として、入会促進に向けた対策を常務理事会で協議した。協議結果を踏まえて、本協会ホームページのリニューアルによりPR力の強化や会員の利便性を図る等の対策を実施する。また、新型コロナウイルス感染症拡大への対応の経験から、危機時においての迅速な情報収集・意見集約・情報発信の必要性と共に、集合研修主体で行ってきた本協会事業の実施形態についてオンライン研修などの選択肢を増やすことなどの必要性も学んだ。このことより、今年度は常務理事会において、将来に向けてICT環境の整備や活用方法について調査・検討を行う。

また、新型コロナウイルス感染症拡大による収支への影響を勘案しながら、本協会の経営基盤の安定化のために財務の健全運営への取組を継続する。

【重点事業】

Ⅳ-1（拡充）　広報活動事業

・山口県看護協会ホームページのリニューアル

ポイント　ホームページから提供される機能等を改善し会員にとって有用性の向上を図る

Ⅳ-2　組織運営に関する事業

・理事会よりの委任事項として常務理事会での検討

本協会のICT環境を整備することにより、各種事業及び事務手続き等の効率化を図るとともに、会員にとっても有益で利便性が図れるような方策を調査・検討する

・看護政策推進のための組織強化事業　　日看協委託

ポイント　看護管理者の会議等によるネットワークづくりを推進

【他事業】

・支部活動の充実
・財務の健全運営の取り組み
・会員の福祉及び相互扶助に関する事業
・他団体との連携

重点方針とは別に取り組む事業

1　人々の健康及び福祉の増進に関する事業

【事業概要】

看護師国家試験の合格者は約5.5万人／年であり、これを維持していくためには、2030年には、18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。小・中・高校生や教員、保護者を対象に、進路選択で看護学校・大学への進学を選択してもらうために、県内看護学校の情報提供やふれあい看護体験や出前講座などにより看護職に触れ合う機会を提供する。コロナ禍での実施にあたっては、関係施設の意向を踏まえ感染対策等に配慮したうえでの実施方法を工夫する。

【事業】

・訪問看護ステーションの運営

・災害時の看護支援活動に関する事業

ポイント　災害時の受援要綱の作成

・Nursing Now キャンペーン

・「看護の日」及び「看護の心」PR 事業

・健康相談・啓発等の事業

ポイント　「まちの保健室」活動での企業との連携による開催、「健康やまぐち21計画」事業への協賛

・「国際助産師の日」活動

・がん総合相談窓口の運営　県委託

2　新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応する事業

【事業概要】

昨年来の世界的な新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、私たちの生活や仕事において多大なる影響を及ぼしている。そのような中で本協会では、日本看護協会及び県行政等関係機関と連携し、県民の健康と看護職の健康を守るために看護職の活動を支えることを目的に取り組んできた。今年度も引き続き「新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業」による潜在看護師の掘り起こし、看護職員の派遣調整、宿泊療養施設の運営協力などを実施する。また、令和2年度に実施した現状調査から明らかになった看護職員のメンタルヘルスの課題については、県への働きかけにより新たに「看護職員メンタルサポート事業」を受託し、臨床心理士等による施設への出前講座・個別相談、看護管理者への研修等を計画している。

新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中で、看護現場の現状把握と課題抽出、課題解決の取り組みを継続して実施する。

【事業】

・（拡充）新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業　県委託

ポイント　クラスター発生時の感染管理認定看護師の活動について、交流研修会
地域における支援体制について、医療圏別の看護管理者会議

・（新規）看護職員メンタルサポート事業　県委託

ポイント　臨床心理士等による医療機関への出前講座、看護職員への個別相談

定款第4条の8つの事業に沿った事業計画

1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）看護教育に関する事項	
⑴一般教育研修の実施	①看護実践能力養成研修会　36コマ37日程度
⑵認定看護管理者研修の実施	①認定看護管理者教育課程ファーストレベル　105時間　19日間 ②認定看護管理者教育課程セカンドレベル　180時間　32日間 ③フォローアップ研修（セカンドレベル・サードレベル）
⑶新人看護職員研修事業 （山口県委託）	①検討会　2回程度 ②研修責任者研修　4日程度 ③教育担当者研修　5日程度 ④実地指導者研修　5日程度
⑷助産実践能力向上事業 新人助産師研修 助産師研修 （山口県委託）	①新人助産師研修　6日 ②助産実践能力向上研修　5日程度
⑸実習指導強化推進事業 （山口県委託）	①検討会　2回程度 ②実習指導者養成講習会　35日程度 ③実習指導者と看護教員の相互研修　3日程度 ④実習指導アドバイザー派遣　3回程度
⑹看護職員認知症対応能力向上研修（山口県委託）	①検討会・打合せ会　5回程度 ②看護職員認知症対応能力向上研修　3日間　2回
⑺JNA収録DVD研修 （日本看護協会委託）	①認知症高齢者の看護実践に必要な知識　2回 ②災害支援ナースの第一歩　～災害看護の基本的知識～　1回
⑻その他研修	①重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者研修　1回 ②看護補助者の活用推進のための看護管理者研修　2回 ③クリニカルラダー作成支援のための講習会　1回
⑼委員会	①教育委員会　10回程度 ②認定看護管理者教育運営委員会　4回程度
⑽日本看護協会との連携	①都道府県看護協会教育担当者会議
2）医療安全推進事業	
⑴医療安全管理者の養成および実践能力向上のための研修	①医療安全管理者養成研修　45時間　7日間 医療安全管理者養成研修フォローアップ　0.5日 ②医療安全管理者スキルアップ研修
⑵医療安全推進事業	①医療看護安全啓発

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	医療安全情報きらめき掲載 医療事故調査制度等施設、管理者への情報提供 「看護職あなたのためのリスクマネジメント第5版」の・啓発・普及 活用促進
⑶医療安全管理体制の構築・充実	①圏域の医療安全にかかわる看護職のネットワークの構築に向けた取り組みの支援。圏域代表との意見、情報交換　1回 ②医療安全管理者交流会の開催　2回
⑷看護職賠償責任保険の加入促進	①看護職賠償責任保険制度のPR ・入会案内とともに送付 ・講習会・研修会時に周知を図る ・実習者への加入促進 ②看護職賠償責任保険制度サービス推進室の利用推進
⑸委員会	①医療安全推進委員会　7回 内、1回は圏域代表を招聘しての会議
⑹日本看護協会との連携	①都道府県看護協会医療安全推進会議　1回 ②医療事故調査制度等医療安全に係る研修参加　1回
3)学会等学術集会に関する事業	
⑴山口県看護研究学会開催	①第21回山口県看護研究学会　3月
⑵委員会	①学会委員会　5回
4)図書室運営に関する事業	
⑴図書の閲覧・貸出	①蔵書管理 ②図書貸出 ③文献検索・複写サービス(最新看護索引Web機関版・医学中央雑誌)
⑵日本看護協会との連携	①譲渡図書の受入 ②最新看護索引Web機関版の利用

2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)ナースセンター事業	
⑴ナースセンター運営協議会 (山口県委託)	協議会開催　1回
⑵無料職業紹介 (山口県委託)	①第6次NCCS(ナースセンター・コンピュータ・システム)の運用 ・無料職業紹介 ・求職者の登録 ・求人施設の登録 ・求人・求職情報の更新、情報提供

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	・求職者の相談対応 ・求人情報の提供 ②ナースセンター・ハローワーク連携事業 連携事業連絡調整会議　2回 ③その他 ・事業の広報 ナースセンターだよりの発行、県ホームページ、本協会ホームページ、市町広報、メディア等
⑶再チャレンジ研修 （山口県委託）	①再就業支援研修（地域施設研修） ・研修協力施設　26施設 ・募集期間　令和3年4月～令和4年3月上旬 ・研修　随時実施 ・研修期間　3日～5日程度 ②集合研修　2回 ③調整会議　1回 ④広報
⑷再就業コーディネーターの配置（山口県委託）	①ハローワークでの出張相談、就業支援 ・岩国、徳山、山口、防府、宇部、萩、下関のハローワークで実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②再チャレンジ研修希望者に対する研修調整 ③再就業にあたり必要な専門相談の実施 ・臨床心理士　月1回 ④調整会議　3回 ⑤広報
⑸就業支援サポーターの配置 （山口県委託）	①サテライトでの相談、就業支援 ・岩国・柳井地区、周南地区、山口地区、宇部地区、萩・長門地区、下関地区で実施 ・5月より各会場で月1回実施 ②サテライトからの出張相談 ・求人施設からの相談対応 ・学校における進路説明・進学相談対応 ・看護学校訪問 ③調整会議　3回 ④広報
⑹看護師等就業協力員の育成 （山口県委託）	①看護師等就業協力員研修会の開催　1回 ②就業協力員の学校訪問活動への支援
⑺演習器材の貸出 （山口県委託）	①器材の貸出 ・貸出対象 看護職員を配置する施設 ・貸出器材　8種 ②個人の技術演習 ・対象者　技術演習の希望者 ・演習日　2回/月（第1金曜日、第4火曜日） ・演習項目　採血・注射・吸引など ③広報

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
⑻離職者・未就業者届出サポート（山口県委託）	①届出について病院との連携体制の整備・強化 ②届出制度の広報・広告 ③相談対応、登録サポート ④届出者への情報提供
⑼看護職員再就業支援相談会（山口県委託）	①相談会の開催　県内3～4会場 対象者：再就業を希望する者 参加施設：中小規模の医療機関や訪問看護ステーション等 ②相談会のあり方検討会　2回
⑽会議等への出席	①職業紹介責任者講習（全国民紹協） ②山口県看護職員確保対策協議会（県）
⑾日本看護協会との連携	①都道府県ナースセンター事業担当者会議（中央ナースセンター） ②都道府県ナースセンター相談員研修（中央ナースセンター） ③都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会中国・四国ブロック
2）プレナース発掘事業	
⑴看護PRリーフレットの作成・配布（山口県委託）	看護業務の紹介や看護職員となるための方法などのリーフレットを作成し、県内中学校や高等学校、関係機関に配布
⑵1日ナース体験（山口県委託）	対象：中学生、高校生 期間：夏休み期間 施設：参加協力施設
⑶看護の魅力発見（山口県委託）	①看護の魅力発見の開催 対象：小学生、中学生、高校生、保護者、看護に興味がある人 実施施設：3地域程度 内容：ワークショップ、ミニナース体験、看護の進路相談、看護のお仕事相談 ②事業検討委員会　　2回
⑷看護職員の学校訪問（山口県委託）	①学校訪問の実施　学校と調整し訪問 対象：中学生、高校生やその進路指導を行う教員等 内容：・看護の仕事や看護職となるための方法について普及啓発 ・次世代ナース確保の重要性に関する講話 ・職業講話
⑸日本看護協会との連携	①若年層への情報発信の強化
3）働き続けられる職場づくり推進事業	
⑴拡働き続けられる職場づくりの啓発・支援	①労働環境支援委員会　4回 ②看護職員就労定着支援事業 ・ヘルシーワークプレイス研修会　3日間コース ・アドバイザー派遣事業　3件程度 ・セカンドキャリア世代への働き方の支援事業 セカンドキャリア支援研修会　1回 セカンドキャリア人材登録制度設置

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
⑵日本看護協会との連携	看護労働担当者会議
⑶医療勤務環境改善に関するアドバイザー派遣業務 （山口県委託）	医療勤務環境改善支援センターからの依頼を受け、支援対象機関に働き方等に関するアドバイザーを派遣
⑷拡新型コロナウイルス対応看護職員緊急確保事業 （山口県委託）	①軽症者宿泊療養施設体制確保 ②潜在看護職を対象とした看護職感染症対応向上研修 ③入所施設向け新型コロナウイルス感染症対応研修 ④現状調査 ⑤潜在看護師掘り起こしと求人施設のマッチング ⑥新型コロナウイルス感染症対策看護職員派遣制度（派遣調整） ⑦看護管理者、感染管理認定看護師を対象とした研修
⑸新看護職員メンタルサポート事業 （山口県委託）	①メンタルサポーターによる訪問相談 ②管理者等に対するメンタルヘルス研修会の開催

3　看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1）看護業務の質の向上に関する事業 ⑴保健師職能委員会	①保健師職能委員会　10回 ②支部職能委員との合同会議　2回 ③全国職能委員長会　1回 ④地区別保健師職能委員長会　1回
ア　保健師の連携協会及びネットワークの構築	①保健師職能集会の開催 ②保健師職能交流会の開催 ③支部連携として合同会議の開催 ④ひたむきな保健師取材、会報きらめき 掲載　3回 ⑤ホームページ、会報・チラシによる情報発信
イ　保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進	①研修会・交流会の実施 ②一般教育研修計画への参画 ③日本看護協会実施の研修会受講
ウ　会員増加の推進	①保健師職能集会や交流会の開催 ②リーフレット、会員勧誘チラシ改訂版の活用 ③ホームページ、会報による情報発信
⑵助産師職能委員会	①助産師職能委員会　7回 ②支部職能委員との合同会議　2回 ③全国職能委員長会　1回 ④地区別助産師職能委員長会　1回

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
ア　周産期医療の現状と課題の把握	①職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 ②中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告
イ　助産実践能力向上研修	①新人助産師研修の企画・運営・評価 ②中堅助産師研修の企画・運営・評価 ③管理者交流会の企画・運営・評価 ④CLoCMipレベルⅢの導入・活用推進
ウ　院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用	①ガイドラインを活用した院内助産システムの推進
エ　災害時の対応	①防災や災害について「知り」「備え」「行動する」ための研修開催
オ　広報活動推進	①イベントでの助産師の普及活動 ・看護の日・国際助産の日 ・いいお産の日 ②ホームページ等へ記事投稿
⑶看護師職能委員会Ⅰ	①看護師職能委員会Ⅰ　9回 ②支部職能委員との合同会議(10月・3月)　2回 ③看護師職能Ⅱ合同会議 ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ)　1回 ⑤地区別看護師職能委員長会　1回
ア　調査・研究活動	①「看護師のクリニカルラダー JNA版」の活用普及に向けた活動 JNAクリニカルラダーの活用・普及に向けた研修等の開催
イ　連携強化および意識向上のための取り組み	①病院管理者と行政保健師の連携強化に向けた活動 各々の専門領域の役割や活動等について理解を深め、連携上の課題を抽出し、情報共有を行う。 ②看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 情報交換、合同会議の開催、交流会開催への協力
ウ　職能委員会活動の周知啓発活動	①会報「きらめき」の活用 ②ホームページの活用 ③支部職能委員会との連携強化、情報共有
エ　職能集会、職能活動	①看護師職能集会　1回 ②日本看護協会、支部との連携
⑷看護師職能委員会Ⅱ	①看護師職能委員会Ⅱ　9回 ②支部看護師職能委員Ⅱとの合同会議(10月・3月)　2回 ③看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議(随時) ④全国職能委員長会(看護師職能Ⅰ・Ⅱ)　1回 ⑤地区別看護師職能委員長会　1回
ア　介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進	①介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)の開催 県内15施設で開催(7月～10月)

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
イ　介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約	①看護師職能Ⅱ交流会の開催(1回)
ウ　4職能委員会の連携推進	①看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 ・合同会議による情報交換、情報共有 ②地域包括ケアシステム構築に向けた多職種間の連携推進
エ　支部看護師職能委員Ⅱとの連携強化	①支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議　2回(10月・3月) ・支部活動の理解と把握及び情報の共有 ・日本看護師職能Ⅱ委員会の課題等について情報収集・意見集約
オ　広報活動・会員増加の推進	①看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)　1回(R3.6.26開催予定) ②会報「きらめき」、ホームページによる情報発信
⑸職能集会	①保健師職能集会　1回 ②助産師職能集会　1回 ③看護師職能集会　1回
⑹看護制度委員会	①看護制度委員会　7回
ア　拡看護制度の課題解決への取り組み	①看護教育についての課題解決に向けた取り組み 看護教員との意見交換会 1回　　基礎教育4年制推進の為の研修会　1回 ②准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けた支援方法を検討 感染対策研修会　1回 ③看護専門領域の資格取得者との連携強化 意見交換会　1回
イ　日本看護協会との連携	①全国准看護師担当役員会議　1回
ウ　広報活動	①会報「きらめき」、HPへの活用、広報・活動報告
⑺助産師出向支援導入事業 (山口県委託事業)	①助産師出向支援の実施 ②助産師出向支援導入事業協議会の開催　2回程度 ③助産師出向に関する調査の実施 ④助産師出向支援導入事業報告会の開催

4　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

(公益事業)

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)地域連携における看護の機能強化事業 **⑴拡在宅療養支援のための看護職連携推進研修** (山口県委託事業　訪問看護実践研修を含む)	支部圏域の在宅療養支援に係る看護職の相互理解の推進・連携の強化を図る上での課題を抽出し、課題解決のために必要な知識や技術の習得研修を企画することを目的に、病院・施設の看護管理者、地域連携担当者、訪問看護事業所管理者、地域包括支援センター保健師、行政保健師、居宅介護支援事業所等の相談関係機関担当者等による検討会を設置。

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	①県内10支部で検討会の開催　　各2回 ②県内10支部で研修会・交流会等の開催　各1回
⑵拡在宅ケアの推進	①在宅ケア推進委員会　7回 訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催1回程度を含む
ア　在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み	①在宅ケアにおける看護の機能強化への方向性を探るための現状把握 ・令和2年度に実施した「地域における看護の機能強化のための連携について」のアンケート結果から見えてきた課題の抽出、絞り込み ・現状と課題を追究するためのアンケート調査の企画 ②情報提供、意見交換を目的とした三職能四委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会の委員長との会議の開催(2回程度)
イ　在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進	①訪問看護師育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催(1回) ②山口県訪問看護推進協議会へ委員およびオブザーバーとしての出席(1回)
⑶訪問看護師育成支援事業 (山口県委託)	①訪問看護師育成支援事業検討会　4回
ア　訪問看護師の看護実践能力の向上	①訪問看護研修ステップ1(新カリキュラムによる訪問看護初任者研修) 5月～12月の間　180時間　30日程度(見学実習3日程度を含む) ②中堅者から管理者対象研修(訪問看護師スキルアップ研修)の企画・実施 ③訪問看護基礎研修、新任者研修等、訪問看護の初心者に対しての事業、研修等の企画・実施・評価 ④訪問看護のクリニカルラダーの普及に向けての周知活動
イ　看護職間の相互理解、連携強化の取り組み	①訪問看護研修ステップ1の公開講座および訪問看護の情報提供 ②訪問看護実践研修への参画、提言
⑷日本看護協会及び関係団体との連携	①山口県訪問看護ステーション協議会との連携、協力 ②関係団体との連携協力 ③訪問看護連絡協議会全国会議への参加　2回
2)訪問看護の推進に関する事業 ⑴訪問看護ステーションの運営	①経営目標に基づく安定した事業の実施 ・訪問看護ステーションについての周知活動 ・ケアマネージャーとの連携強化 ・行政・医療機関・福祉施設との連携 ・24時間対応体制と緊急時対応の充実 ・訪問看護などに関する電話・来所相談への対応 ・介護保険事業の適正な運営 ・事業所の設備・機器・物品の管理 ・運営会議の開催　2回 ②質の高い訪問看護サービスの提供 ・訪問看護サミット2021への参加 ・訪問看護集中セミナーへの参加 ・日本看護学会への参加 ・サービス向上を目的とした課題の検討 ・介護者・家族へのサポート充実・強化

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	・在宅サービス提供者との連携強化によるケアの拡充 ・利用者満足度調査(評価によるケアの向上) ・サービスの質の自己評価 ・管理者会議の開催　10回 ・感染症予防(標準予防策の徹底) ③訪問看護に関わる関連団体との協力 ・看護学生などの実習受け入れ ・関係団体との連絡調整・会議 ・市町・社会福祉協議会・難病ネットワーク・地域ケア会議などへの参加 ・地域住民の在宅医療・介護に対する啓発 ・訪問看護振興財団他団体との連携 ④広報活動 ・本協会ホームページ ・地域行事参加　訪問看護PRチラシ配布
3)健康相談・啓発等の事業 ⑴「まちの保健室」活動の実施	①各支部の「まちの保健室」担当者会議の開催　1回 ②普及啓発グッズの配布 ③関係機関との連携推進 ④「まちの保健室」企業と連携 ⑤健康フェアへの出展
⑵「国際助産師の日」活動支援	①各支部助産師職能活動支援(リーフレット作成、物品整備)
⑶がん総合相談窓口の設置 (山口県委託)	①相談窓口の設置　月曜日～金曜日 ②看護職者による相談支援 他職種との連携による心理・療養生活・介護等の支援 ③がん相談支援スキルアップ研修会参加 ④相談窓口の積極的な利用の促進
4)災害時の看護支援活動に関する事業 ⑴災害支援活動体制の整備、充実	①災害支援体制の整備・充実 ・災害支援要綱、災害派遣手順の改定 ・災害時の受援要綱の作成 ・災害支援ナース実践活動マニュアル周知 ・冊子および電子冊子の作成、啓発 ・災害支援ナース登録システムの活用 ・災害支援活動物品確認、整備 ②「災害支援ナース育成研修企画・指導者研修」への参加による指導者育成
⑵災害支援ナースの養成および資質向上のための支援	①災害支援ナース研修「基礎編」 (災害支援ナースの第一歩～災害看護の基本的知識～) JNA収録DVD研修　1回 ②災害支援ナース研修「実務編」2日間 ③災害支援ナースフォローアップ研修　2回 ④災害支援ナースの新規登録・登録更新 ⑤災害支援ナース所属施設および看護管理者への情報の提供と共有、相互理解の推進のための活動

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
⑶平常時の防災活動の推進	①山口県総合防災訓練等へのWeb参加 ②災害支援物品の整備
⑷日本看護協会、関係機関、他団体との連携および協働	①都道府県看護協会災害看護担当者会議 ②行政、医師会等の関係機関、JMAT等他団体との連携
⑸委員会	①災害支援委員会　10回
5)「看護の日」及び「看護の心」PR事業	
⑴看護の日・看護週間行事開催	①2021年度「看護の日・看護週間」イベント開催 ②10支部・会員施設において県民を対象に看護の日・看護週間行事開催 ③ふれあい看護体験を学生等を対象として会員施設で開催 ④「看護の心」普及活動 ・リーフレット配布
⑵看護のPR	①県内進学・仕事魅力発信フェアinやまぐち出展 ②やまぐち未来のしごとフェスタ出展 ③職場体験 ④進路相談

5　公益社団法人日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業

（公益事業／法人事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)日本看護協会との連携強化事業	
⑴諸会議への出席	※法人事業 ①通常総会　6.9 ②理事会　　6回程度 ③法人会員会　5回程度 ④代議員研修会　5.22 ⑤都道府県看護協会事務担当者会議　未定 ⑥都道府県看護協会政策責任者会議　未定 ⑦会員情報管理情報交換会　10.4 ⑧全国准看護師理事会議　未定 ⑨都道府県看護協会広報担当役員会議　12月予定 ※公益事業 ⑩全国職能別交流会　6.10 ⑪全国職能委員長会　未定　2回 ⑫地区別職能委員長会　10.28、29 ⑬訪問看護連絡協議会合同会議　未定　1回 ⑭ナースセンター事業担当者会議　5.21 ⑮都道府県看護協会教育担当者会議　開催なし ⑯都道府県看護協会災害看護担当者会議　未定　1回 ⑰都道府県看護協会看護労働担当者会議　5.20 ⑱都道府県看護協会医療安全担当役員会議　未定 ⑲日本看護学会委員会　年2回

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
⑵日本看護協会が実施する事業への情報提供並びに協力	協力の詳細については各事業計画を参照

6　施設の貸与に関する事業

（公益事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)研修会館の貸与事業 ⑴公益目的使用への施設の貸与	①本協会の目的に沿った事業を行う団体に対し会議室等を低廉な料金で賃貸

7　会員の福祉及び相互扶助に関する事業

（収益等事業）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)会員への福利厚生等に関する事業 ⑴福利・厚生事業	①名誉会員制の継続 ②各種表彰の候補者推薦 叙勲、厚生労働大臣表彰、医療功労賞、日本看護協会名誉会員、 日本看護協会長表彰、山口県優良看護職員知事表彰等 ③山口県看護協会長表彰及び特別会長表彰の実施 ④傷病見舞、罹災見舞、休業見舞、死亡弔慰金等の支給 ⑤会報「きらめき」を全会員へ配布 ⑥レジャー施設入場支援 ⑦レジャー施設等優待、割引

8　その他本会の目的を達成するために必要な事業

（公益／収益等／法人）

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
1)看護職への支援事業 ⑴相談支援センター活動推進	①相談支援センターの運営
2)支部活動事業 ⑴支部活動の推進	①支部活動の運営（※公益/収益等/法人） ②支部運営会議による協議
3)組織運営に関する事業 ⑴適正な財産運営	①健全な財産管理、運用（※法人） 会館・事務局運営
⑵各種事業運営	①通常総会（※法人）　6.19 ②理事会（※法人）　7回程度 常務理事会（※法人）　5回程度 監査会（※法人）　2回程度 ③その他事業（各種会議）（※法人） ・支部運営会議　3回程度 ・推薦委員会（※法人）　5回程度 ・県・支部推薦委員合同会議（※法人）　1回程度

事　業　項　目	主　な　事　業　内　容
	・選挙管理委員会　1回程度 ・他、各種会議(※法人)
⑶看護政策推進のための組織強化事業	①地域の政策力強化(※法人) ・認定看護管理者会との連携 ・看護職就業施設訪問 ・看護管理者会議によるネットワーク強化 ②看護協会入会促進 ・入会促進用パンフレットの配布等による周知活動 看護学校・訪問看護ステーション・福祉介護施設等 ・看護学校訪問　入学式・戴帽式・卒業式等
⑷Nursing Nowキャンペーン	①山口県民に看護の活動・意義を伝える取り組みの実施 ②中学生・高校生に看護の価値・魅力を伝える取り組みの実施 ③看護職自ら看護の魅力に気づき看護の持つ力を十分に発揮する機会を作る取り組みの実施 ・Nursing　Now キャンペーン「今！伝えたい看護の心・技・知恵」の優秀作品について優秀者の表彰 ・看護の価値・魅力を伝えるチラシの作成と配付
4)広報活動事業 ⑴拡広報活動	①会報「きらめき」発布(※公益/収益等) ・年3回全会員及び県内市町、各団体、未入会施設等へ資料配布 ・委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載 ②ホームページの更新、活用(※公益/収益等) ・ホームページのリニューアル ・研修情報、委員会活動、支部活動、ナースセンター情報等を掲載
⑵各種情報提供	①会員増加の推進(※収益等/法人) ・会員、非会員へ新着情報の随時広報 ・看護職賠償責任保険制度のPR、加入促進 ・「山口県看護協会入会のご案内」「日本看護協会入会のご案内」「日本看護協会事業案内」を入会希望施設、未入会施設に配布 ②タイムリーな情報提供(※公益/収益等/法人) ・逓送便　1回/月 ・印刷物等配布
5)他団体との連携 ⑴看護教育機関との連携	①入学式・戴帽式・卒業式等出席(祝辞・祝文等)(※法人) ②見学・実習の受け入れ(※公益) ③卒業時に協会のPR(パンフレット等配布)(※法人)
⑵看護関連政策の推進	①要望・事業提案(※法人) ・行政機関、公益社団法人日本看護協会等 ・山口県看護連盟との連携
⑶他団体との共催行事	①医療関係団体新年互例会(※法人) ②研修会等の後援 ③研修会等のチラシ配布、ホームページ掲載

令和3年度　支部事業計画

岩国支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職間の連携強化 2)医療・看護・介護従事者との連携・ツールの課題を検討し改善する
支部集会	日　時：7月10日 会　場：岩国市民文化会館
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修：支部研修会　1回 2)職能研修：岩国市医師会コ・メディカル研修会　1回 3)支部合同看護マネジメント研究会(開催地　柳井市)　1回
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 支部長に案内送付された労働環境に関わる研修に、施設の県協会の代表者と連携し支部会員に研修参加を働きかける
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事、国際助産師の日の開催 まちの保健室で実施、各施設で実施 2)「いいお産の日」啓発事業　1回　10月まちの保健室で実施 3)まちの保健室開催　5回予定(第3日曜日) ＊10月は岩国まつりにて 4)進路相談　まちの保健室開催時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 検討会　2回　研修会　1回 6)地域包括ケア・認知症予防の啓発事業　岩国市地域包括ケア推進大会　1回
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰者推薦事業　表彰者へのお祝い 2)看護職交流会　1回(12月)
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部活動の充実 ⑴地域会議への出席(支部長他)　⑵看護学校入学、卒業式祝電 2)支部集会　1回 3)支部役員会　6回 4)支部委員会 ⑴職能委員会　6回　⑵教育委員会 6回　⑶推薦委員会 2回 ⑷選挙管理委員会　1回 5)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」への投稿　⑵県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R3.3.31)	505人(保健師　57人　助産師　13人　看護師　410人　准看護師　25人)

柳井支部事業計画

活動目標	1)地域における看護職の連携強化、看護の質の向上 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
支部集会	日　時：未定 会　場：未定
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修　①支部研修　1回 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴3支部合同看護マネジメント研究会　①3支部合同研修
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会研修参加への働きかけ
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護週間」PR事業 ⑴看護の日及び看護週間行事の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室　①開催未定 ⑵国際助産師の日事業　①イベント　1回 ⑶進路相談　①各施設で実施 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ⑴検討会　2回　研修会　1回
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦　⑴県協会への協力 2)その他の事業　⑴支部集会前研修
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部活動の充実　⑴地域会議への出席 ⑵看護学校　4校　入学式・卒業式祝電 2)支部役員会　6回 3)支部委員会　⑴職能委員会　6回 ⑵教育委員会　6回 ⑶推薦委員会　6回 ⑷選挙管理委員会　6回 4)広報活動　⑴県協会報「きらめき」への投稿 ⑵県協会ホームページへの投稿
支部会員数(R3.3.31)	582人(保健師　44人　助産師　15人　看護師　482人　准看護師　41人)

周南支部事業計画

活動目標	1)会員の看護の質向上を図る 2)会員相互の親睦を図り、連携を深める
支部集会	日　時：7月10日 会　場：新南陽ふれあいセンター
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修 ①教育委員会担当研修　1回　②職能委員会研修　1回 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴3支部合同看護マネジメント研究会
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり ①県協会労働環境支援委員会の研修会参加への呼びかけ
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 ⑴看護の日及び看護週間事業の開催 ①各施設で日程設定し実施 2)健康相談・啓発活動の事業 ⑴まちの保健室　①6回 ⑵国際助産師の日の事業　①イベント「いいお産の日」　1回 ⑶進路相談　①各施設で実施 ⑷在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ①検討会　2回　研修会　1回 ⑸その他　①地域行事での救護協力 ②「リレーフォーライフジャパン2021やまぐち」に参加
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生等に関する事業 ⑴表彰候補の推薦　①山口県優良看護職員知事表彰の推薦 ⑵その他の事業　①看護管理者交流会(中堅看護師)　1回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部集会　1回 2)支部役員会　6回 3)支部委員会 ⑴職能委員会　6回　⑵教育委員会　5回　⑶推薦委員会　2回 ⑷選挙管理委員会 1回 4)広報活動　⑴県協会報「きらめき」へ投稿　⑵県協会ホームページへ投稿
支部会員数(R3.3.31)	1,808人(保健師　51人　助産師　60人　看護師　1,625人　准看護師　72人)

防府支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護力の連携強化 2)地域ケアサービスの継続
支部集会	日　時：7月3日 会　場：山口県看護研修会館
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護研究発表会　1回
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり支援 ①県協会労働環境支援委員会の研修参加への働きかけ
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」PR事業 ⑴看護の日及び看護週間行事の開催　1回 ①イオン防府店内での看護の日PR及び健康相談を実施 ②各施設で実施 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室開催 ①常設まちの保健室・イベント型まちの保健室　8回 ⑵進路相談・看護職の就労支援 ①各施設及びまちの保健室で実施 ⑶国際助産師の日事業 ①国際助産師の日イベント　1回 ⑷保健師交流　①研修会 ⑸その他の事業　①地域行事での救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ⑴検討会　2回　⑵研修会　1回
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員の福利厚生等に関する事業 ⑴表彰候補者の推薦　①県協会へ協力 ⑵その他の事業　①親睦会　1回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会　7回 2)支部委員会　⑴職能委員会　5回　⑵教育委員会　5回 ⑶推薦委員会　2回　⑷選挙管理委員会　1回 3)広報活動　⑴県協会報「きらめき」への投稿　⑵協会ホームページへ投稿
支部会員数(R3.3.31)	767人(保健師　35人　助産師　43人　看護師　676人　准看護師　13人)

山口支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護力の強化を図る 2)地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日　時：7月10日 会　場：山口県労働者福祉文化中央会館
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 ⑴教育委員会 ①教育委員会企画研修会　1回 ⑵看護研究指導　1施設
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護職への支援事業 ⑴働き続けられる職場づくり ①県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事開催　各施設で実施 2)「まちの保健室」開催　8回 3)国際助産師の日事業いいお産の日イベント　1回 4)進路相談　各施設 5)地域連携推進委員会企画研修会　1回 6)在宅療養支援のための看護職連携推進研修　検討会　2回　研修会1回
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)講演会(支部集会後)　1回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部組織の強化に関する事業 ⑴支部活動の充実 ①地域会議への出席　6回 ②看護学校関連事業参加 2)組織運営に関する事業 ⑴支部役員会　5回 ⑵支部委員会 ①職能委員会　5回 ②教育委員会　5回 ③推薦委員会　4回 ④地域連携推進委員会　5回 ⑤選挙管理委員会　1回 3)広報活動事業 ⑴県協会報「きらめき」への投稿
支部会員数(R3.3.31)	1,452人(保健師　95人　助産師　47人　看護師　1,260人　准看護師　50人)

宇部支部事業計画

活動目標	全世代を対象とした健康と療養のための地域包括ケアを支える看護提供体制の強化
支部集会	日　時：7月3日 会　場：山口大学医学部附属病院　A棟1階 オーディトリアム
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 （公益事業）	1)一般教育研修 ⑴支部教育研修　2回 ①7月：コロナ禍における看護職のメンタルヘルス（職能合同） ②10月：アドバンス・ケア・プランニングについて
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 （公益事業）	1)働き続けられる職場づくり支援 ⑴県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 （公益事業）	1)看護の日及び看護の心PR事業 ⑴各施設で看護の日及び看護週間行事を実施 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室：毎月第3土曜日に開催（7月除く） 助産活動2ヶ月に1回、いいお産の日活動：11月 ⑵くすのきカントリーマラソン大会への救護協力 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修（小野田支部と合同） ⑴検討会開催　⑵研修会開催
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 （収益等事業等）	1)会員への福利厚生等に関する事業 ⑴職能合同研修会　1回 ①7月：コロナ禍における看護職のストレスについて（教育合同）
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 （公益／収益等／法人）	1)支部役員会　6回 2)支部委員会 ⑴職能委員会　4回　⑵教育委員会　5回　⑶推薦委員会　2回 3)その他 ⑴看護学校入学、戴帽式、卒業式への参加 ⑵地域会議への出席 ①宇部、小野田医療圏地域医療構想調整会議　2回 ②宇部市防災会議　1回 ⑶市からの依頼 ①宇部市多職種連携研修会の受講者推薦 ⑷広報活動 ①県協会報「きらめき」へ投稿　②県ホームページへ投稿
支部会員数（R3.3.31）	2,078人（保健師　48人　助産師　49人　看護師　1,840人　准看護師　141人）

小野田支部事業計画

活動目標	地域における看護職の連携強化と看護力の向上
支部集会	日　時：7月10日 会　場：※予定　山陽小野田市中央図書館　視聴覚ホール
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 （公益事業）	1）一般教育研修 　⑴支部教育研修会　2回
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 （公益事業）	1）働き続けられる職場づくり支援 　⑴県協会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 （公益事業）	1）「看護の日」行事開催 2）「国際助産師の日」/「いいお産の日」行事開催 3）「まちの保健室」開催：年6回 4）山陽小野田市主催「SOS健康フェスタ」への参加 5）看護体験実施：各施設で実施 6）在宅療養支援のための看護職連携推進研修 　⑴検討会開催 　⑵研修会開催
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 （収益等事業等）	1）表彰候補者の推薦 2）支部会員交流会の開催　2回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 （公益／収益等／　法人）	1）支部役員会　5回 2）支部委員会 　⑴職能委員会　4回　⑵教育委員会　4回 　⑶推薦委員会　1回　⑷選挙管理委員会　1回 3）支部活動の充実 　⑴地域会議への出席 4）広報活動 　⑴県協会報「きらめき」への投稿
支部会員数（R3.3.31）	611人（保健師　35人　助産師　26人　看護師　540人　准看護師　10人）

長門支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携を強化する 2)地域ケアサービスにおいて地域住民の健康増進活動を推進する
支部集会	日　時：7月15日予定 会　場：長門市地域医療連携支援センター　2階研修室
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)看護教育に関する事業 ⑴一般教育研修 ⑵WEB研修 2)学会等学術振興に関する事業 ⑴支部看護研究指導 ⑵看護研究発表会
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 2)看護管理者会議 医療安全担当者会議：1回 長門市内の病院・施設等の看護管理者会議：1回
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」及び「看護の心」、看護の日・看護週間で施設毎に実施 2)まちの保健室 3)国際助産師の日事業：「助産師まつり」 4)進路相談：一日看護体験、職場体験時に実施 5)在宅療養支援のための看護職連携推進研修事業 検討会　2回、研修会　1回の実施
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)地域の看護職員交流会
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部役員会　2回 2)支部委員会 ⑴職能委員会 ⑵教育委員会 ⑶推薦委員会 ⑷選挙管理委員会 3)広報活動 ⑴県協会報「きらめき」の投稿 ⑵支部広報誌「ふれあい」の作成
支部会員数(R3.3.31)	251人(保健師　14人　助産師　12人　看護師　204人　准看護師　21人)

萩支部事業計画

活動目標	1)地域包括ケアにおける看護職の連携強化と課題解決に取り組む 2)地域活動を通して地域住民の健康向上に貢献する
支部集会	日　時：7月3日 会　場：萩市地域医療支援センター　大会議室
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修 ⑴支部研修会　　1回 ⑵三職能合同研修会　1回
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援 ⑴協会会主催事業への協力
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)看護の日及び看護週間行事の開催 ⑴各施設で日程設定し実施 2)まちの保健室開催　10回 3)国際助産師の日事業 ⑴萩ふるさとまつりのまちの保健室と同時開催 4)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ⑴検討会　2回 ⑵研修会　1回 5)進路相談 ⑴各施設で実施 ⑵まちの保健室での実施 ⑶中学生への職業講話 6)その他の事業 ⑴地域行事での救護協力
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)表彰候補者の推薦 2)その他の事業 ⑴交流・親睦会　2回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／法人)	1)支部役員会　8回 2)支部委員会 ⑴職能委員会　4回 ⑵教育委員会　5回 ⑶推薦委員会　3回 ⑷選挙管理委員会　2回
支部会員数(R3.3.31)	421人(保健師　27人　助産師　5人　看護師　289人　准看護師　100人)

下関支部事業計画

活動目標	地域包括ケアに求められる看護力の強化と連携 1)地域教育ネットワーク(認定マップ)を活用する 2)臨床現場の看護実践能力の底上げを行う
支部集会	日　時：7月9日予定 会　場：関門医療センター　研修ホール
事業項目	事業内容
1　看護教育及び学会等学術振興に関する事業 (公益事業)	1)一般教育研修会(教育委員会主催)　2回開催予定、非会員も含む ⑴医療に携わる者としての倫理～超高齢社会のACPを考える～ ⑵高齢者のフィジカルアセスメント～不調のサインを見逃すな～
2　看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)働き続けられる職場づくり支援・・県協会主催事業への協力 2)看護職の人材確保・就業支援 ⑴看護の日記念イベント時に、学生や未就業者に対して進路・就業相談 ⑵各施設の職場体験等で、進路相談を実施し就業促進を行う ⑶市内への就業促進目的として、看護学校との情報交換を行う
3　地域ケアサービスの実施及び促進並びに公衆衛生の普及指導等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 (公益事業)	1)「看護の日」「国際助産師の日」PR事業 ⑴各施設で看護の日及び看護週間行事の開催 ⑵「看護の日」記念イベント、「国際助産師の日」記念事業　合同開催 2)健康相談・啓発等の事業 ⑴まちの保健室開催：(下関地区・豊浦地区)年9回 ⑵地域行事での救護協力(海峡マラソン・歴史ウォーク) 3)在宅療養支援のための看護職連携推進研修 ⑴検討会の開催　2回　⑵研修会等の開催　1回
4　会員の福祉及び相互扶助に関する事業 (収益等事業等)	1)会員への福利厚生 ⑴研修会開催(職能委員会主催)　1回 ⑵会員交流会　1回
5　その他本会の目的を達するために必要な事業 (公益／収益等／　法人)	1)支部活動の充実 ⑴支部役員会　7回 ⑵支部委員会 ①職能委員会　4回　②教育委員会　4回　③まちの保健室委員会　2回 ④推薦委員会　2回　⑤選挙管理委員会　1回 2)支部組織強化 ⑴地域会議への出席(医療対策協議会、医療・介護ネットワーク、防災　他) ⑵広報活動 ①県協会報「きらめき」への投稿　②県協会ホームページへの投稿 ⑶訪問看護ステーション協議会や看護学校、地域医療に携わる看護職、特に未加入施設に研修会参加や看護協会入会を積極的に働きかける。
支部会員数(R3.3.31)	1,744人(保健師　55人　助産師　52人　看護師　1,581人　准看護師　56人)

令和3年度　職能委員会活動計画

Ⅰ　保健師職能委員会

1　活動目標	1)保健師の連携強化およびネットワークの推進 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 3)会員増加の推進
2　委員会開催	1)職能委員会　10回 2)支部職能委員長合同会議　2回
3　活動内容	1)保健師の連携強化およびネットワークの推進 ⑴保健師職能集会の開催 ⑵保健師職能交流会の開催 ⑶職能委員会の開催 ⑷支部連携としての合同会議の開催 ⑸ホームページ、会報による情報発信 2)保健師の専門性を発揮するための資質向上の推進 ⑴研修会・交流会の実施 ⑵教育研修計画への参画 ⑶日本看護協会実施の研修会受講 3)会員増加の推進 ⑴保健師職能集会や交流会の開催 ⑵リーフレット・会員勧誘チラシ改訂版の活用 ⑶ホームページ、会報による情報発信

Ⅱ　助産師職能委員会

1　活動目標	母子のための安心・安全な地域包括ケアシステム構築のために下記活動を通じて助産師ネットワークを強化する 1)周産期医療の現状と課題の把握 2)助産実践能力の向上 3)院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 4)災害時の対応 5)広報活動
2　委員会開催	1)職能委員会　7回 2)支部職能委員長合同会議　2回
3　活動内容	1)周産期医療の現状と課題の把握 職能委員会・支部職能委員長合同会議を活用し情報収集、課題の抽出 中四国ブロックの職能委員長会議を活用し情報収集・共有、県の現状報告 2)助産実践能力の向上 ⑴新人助産師研修の企画・運営・評価 ⑵中堅助産師研修の企画・運営・評価 ⑶管理者交流会の企画・運営・評価 ⑷CLoCMiP®の導入・活用の推進 3)院内助産システムの推進と助産師出向システムの活用 ガイドラインを活用した院内助産システムの推進

	4)災害時の対応 防災や災害について「知り」「備え」「行動する」ための研修開催 5)広報活動 ⑴イベントでの助産師の普及活動 ①看護の日・国際助産師の日 ②いいお産の日 ⑵ホームページ等へ記事投稿

Ⅲ　看護師職能委員会Ⅰ

1　活動目標	1)看護実践能力の向上 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、看護力の強化と連携 3)支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化 4)広報活動・会員増加の推進 5)日本看護協会との連携
2　委員会開催	1)職能委員会　9回 2)支部看護師職能Ⅰ委員との合同会議　2回(10月、3月) 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議(随時)
3　活動内容	1)看護実践能力の向上 ⑴クリニカルラダーの活用、普及・推進に向けた活動 ・県内施設におけるJNAラダーの活用支援 ・JNAラダーの活用に関する研修会の企画・評価(年1回) 2)地域包括ケアシステムの推進に向け、看護力の強化と連携 ⑴病院看護管理者と行政保健師との連携強化に向けた活動 ・それぞれの専門領域の役割や活動について理解を深め、連携上の課題を抽出し、情報共有する ⑵看護師職能委員会Ⅱとの連携強化 ・合同会議を随時行い、情報交換、情報共有する 3)支部看護師職能Ⅰ委員との連携強化 ⑴支部及び看護師職能Ⅰ委員との合同会議　2回(10月、3月) ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②地区別看護師職能Ⅰ委員長会の課題について意見集約 4)広報活動・会員増加の推進 ⑴看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同)1回(R3.6.26開催予定) 基調講演テーマ「PEP TALK 元気・活気・勇気を与えるトーク術(仮)」 講師：末永整骨院・光　代表取締役　末永成一　氏 ⑵会報「きらめき」、ホームページによる情報発信 5)日本看護協会との連携 ⑴全国看護師職能Ⅰ委員長会議　1回 ⑵地区別看護師職能Ⅰ委員長会議　1回

Ⅳ　看護師職能委員会Ⅱ

1　活動目標	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 3)4職能委員会の連携推進 4)支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 5)広報活動・会員増加の推進
2　委員会開催	1)職能委員会　9回 2)支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議　2回(10月、3月) 3)看護師職能委員会Ⅰ・Ⅱ合同会議　(随時)
3　活動内容	1)介護・福祉関係施設で働く看護職の資質向上の推進 ⑴介護施設等職員の医療的知識習得研修(認定看護師出前講座)開催 ・県内15施設程度の開催予定(7月～10月) 2)介護・福祉関係施設・在宅等領域で働く看護職の課題発見・意見集約 ⑴看護師職能Ⅱ交流会の開催(年1回) 3)4職能委員会の連携推進 ⑴看護師職能委員会Ⅰとの連携強化 ・合同会議による情報交換、情報共有 ⑵地域包括ケアシステム構築に向けた多職種間の連携推進 4)支部看護師職能Ⅱ委員との連携強化 ⑴支部看護師職能Ⅱ委員との合同会議　2回(10月、3月) ①支部活動の理解と把握及び情報共有 ②日本看護師職能Ⅱ委員会の課題等について情報収集・意見集約 5)広報活動・会員増加の推進 ⑴看護師職能集会(Ⅰ・Ⅱ合同) 1回(R3.6.26開催予定) 基調講演テーマ:「 PEP TALK 元気・活気・勇気を与えるトーク術(仮)」 講師:末永整骨院・光　代表取締役 末永成一　氏 ⑵会報「きらめき」、ホームページによる情報発信

令和3年度　常任委員会活動計画

1　労働環境支援委員会

1　活動目標	1)働き続けられる職場づくりを推進する 2)看護職の確保・定着等について検討する
2　委員会開催	4回
3　活動内容	1)ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)研修会の開催 目的：看護職が生涯を通じて健康かつ安全に働きつづけられるために必要な考え方やその視点および体制づくりについて理解し体制づくりに繋げる 対象：看護管理者 研修内容(3日間) ・講義：ヘルシーワークプレイスを実現するための体制づくりについて ・演習：ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を実現するための体制づくりの実際 2)働き続けられる職場づくり支援アドバイザー派遣事業の実施 目的：看護職員の勤務環境や教育体制等に課題を抱える病院等に対し、課題解決を図るためにアドバイザーを派遣し支援することで、働き続けられる職場づくりを推進する 対象：アドバイザーへの相談を希望する病院・施設(2～3施設) アドバイザー：県内の認定看護管理者等(1施設につき2名程度派遣) 派遣回数：1施設につき3回程度 3)セカンドキャリア支援事業 ⑴セカンドキャリア支援研修会の開催 目的：定年を前にした人達に、定年後の生活設計について情報提供を行うとともに、看護職としてのセカンドキャリアを考える機会とする 対象：県内の50歳以上の看護職(就業・未就業を問わず) 内容：社会保険労務士によるライフプランの講義 セカンドキャリア世代の働き方を支援している施設の紹介と実際 セカンドキャリアの働き方をしている看護師からの講話 ⑵セカンドキャリア人材登録制度 事業内容：定年後の看護職がこれまでの経験を活かし本協会が実施する諸事業や市町等の地域活動に参画することを支援する。

2　看護制度委員会

1　活動目標	1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し課題解決に取り組む。 2)准看護師の資質向上を図るとともに進学に向けた支援方法を検討する。 3)看護専門領域の資格取得者との連携強化を図る。
2　委員会開催	7回
3　活動内容	1)看護教育について看護職・看護教員と情報共有し、課題解決に取り組む。 ⑴前年度に実施した看護教員へのアンケート結果から、課題を抽出し課題解決に向けた意見交換会を行う。 ⑵看護基礎教育4年制化を推進していくために、先駆的に4年制に移行した看護学校講師による研修会を開催し機運を高める。

	2)准看護師への支援 ⑴県内COVID－19感染症クラスター発生とその対応を踏まえ、感染管理について研修を行う。 ⑵准看護師養成所教員へのアンケートを実施し、学生の進学に影響を及ぼす要因を探る。 3)看護専門領域の資格取得者(専門看護師、認定看護師、特定行為研修修了者等)との連携強化を図る。 各分野の認定看護師の連携を深めるための、役割・活動内容について検討するとともに、連携・協働に向けた意見交換会を行う。

3　教育委員会

1　活動目標	1)令和3年度に実施する教育研修会により多くの会員が関心を持てるよう広報し、参加者にとって良い学びができるよう運営に参画する。 2)会員のニーズおよび令和3年度研修会の評価をふまえ、看護職の更なる実践能力の向上につながる令和4年度教育研修を企画・立案する。 3)教育研修立案に際して、常任委員会および職能委員会、支部と連携し、各委員・支部からの要望を反映した研修計画を立案する。
2　委員会開催	10回
3　活動内容	1)教育研修会の広報と実施 新人研修　1回、看護研究　2回、看護管理　5回、自己教育関連　5回、看護実践力(JNAラダー：ニーズをとらえる力　5回、ケアする力　10回、協働する力　4回、意思決定を支える力　3回)、アンケート枠 1回 2)研修の評価と次年度研修計画立案 ⑴令和3年度の教育研修の運営・評価 ⑵令和4年度の教育研修計画の企画・立案 3)関係する委員会との連携 常任委員会及び職能委員会、支部へ次年度の研修内容に関する要望を書面にて聴取し、各委員会、支部からの要望を考慮し立案する。

4　学会委員会

1　活動目標	実践に根ざした看護研究活動の振興を図る
2　委員会開催	5回程度
3　活動内容	1)第21回山口県看護研究学会の開催 2)第21回山口県看護研究学会に関する冊子の発行 3)山口県看護研究学会の今後のあり方の継続検討

5　認定看護管理者教育運営委員会

1　活動目標	1)改正カリキュラム基準に沿った認定看護管理者教育課程の円滑な運営と教育評価 2)認定看護管理者教育機関としての質の維持、向上のための体制整備と委員会活動の推進
2　委員会開催	4回
3　活動内容	1)令和3年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R3.4.23～ R3.9.18　32日間 2)令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修受講者選考と決定 募集期間：R3.4.13～ R3.5.8 募集定員：70人 3)令和3年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修運営と修了審査、教育評価 開講期間：R3.10.5～ R3.11.25　19日間 4)令和2年度認定看護管理者教育課程サードレベル研修修了者フォローアップ研修支援、評価 研修日：R3.7.3 5)認定看護管理者教育機関認定更新の審査受審の準備と対応 6)ファーストレベル・セカンドレベル・サードレベル各研修過程の教育運営と受講者施設との連携に関する検討

6　広報委員会

1　活動目標	1)会報「きらめき」を発刊し、県内各支部や委員会、施設などの取り組みを情報発信し、魅力を伝えていく。また、会員が必要とする内容を検討し紙面の充実をはかる 2)非会員や一般の方に対し、看護協会の認知度を高めるためホームページの充実や、協会員の増員につながる広報活動を推進する 3)日本看護協会や、県内各施設の新たな取り組み等に対し、時宜を得た広報活動を行う
2　委員会開催	6回
3　活動内容	1)「きらめき」発行を年3回行う。 ⑴発行時期：6月、10月、1月（会報号150号、151号、152号） ⑵実施内容 掲載内容の企画・紙面形式の検討、原稿依頼、原稿の編集・校正、紙面構成の検討、印刷会社との打ち合わせ等 2)ホームページの充実　ブログの更新 3)Nursing Now周知のための広報活動 4)県内各地施設の新たな取り組み等の情報収集

7　推薦委員会

1　活動目標	1)役員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 2)職能委員会委員・常任委員会委員の任期満了の退任に伴う次期候補者の推薦 3)日本看護協会代議員及び予備代議員の推薦
2　委員会開催	3回程度
3　活動内容	1)第1回推薦委員会 ⑴令和3年度推薦者の確認

	2)第2回推薦委員会 ⑴推薦委員の任務について ⑵委員長選出 ⑶各委員会の活動目標や活動状況の確認 ⑷委員推薦状況の確認、職能ごとに令和4年度候補者の検討 ⑸各施設への電話連絡 ⑹各職能より候補選出進捗状況の確認

8　医療安全推進委員会

1　活動目標	1)医療安全管理者の養成 2)医療安全管理者の資質向上の推進 3)医療安全に関わる看護職のネットワーク活動及び相談体制の支援 4)医療・看護の安全性についての広報・啓発による医療事故防止対策の推進
2　委員会開催	7回(うち1回は圏域代表を招集して開催する)
3　活動内容	1)医療安全管理者養成研修会(フォローアップ研修含む)の企画・運営・評価、実施方法の検討 2)医療安全管理者スキルアップ研修の企画・運営・評価 3)山口県内の医療安全管理者交流会の企画・運営・評価(2回開催) ⑴圏域代表者活動報告など地域、圏域活動を中心とした企画 ⑵現任の医療安全管理者を対象としたネットワーク構築を目的とした企画 4)県協会誌「きらめき」に医療安全情報を掲載する。(年3回) 5)医療安全にかかわる看護職のネットワーク活動を支援する。 6)県協会の一般教育研修に、医療・看護安全管理のための研修提案をおこなう。 7)「看護職あなたのためのリスクマネジメント」の普及を行う。

9　災害支援委員会

1　活動目標	1)災害支援活動体制の整備・充実 2)山口県災害支援ナースの育成及び質向上のための支援 3)一般市民への平時の防災意識の向上を目的とした広報等、地域の防災力の向上
2　委員会開催	10回
3　活動内容	1)委員会内容 ⑴災害支援ナース育成研修の内容の検討 ⑵災害支援ナースフォローアップ研修の内容の検討 ⑶山口県総合防災訓練におけるWeb展示・広報の内容の検討と準備 2)研修開催内容 ⑴災害支援ナース育成研修　基礎編　2日間(オンデマンド研修) ⑵災害支援ナース育成研修　実務編　2日間 ⑶災害支援ナースフォローアップ研修　1日間　2回開催予定 ⑷意見交換会(災害派遣があった場合) 3)その他 ⑴山口県総合防災訓練(Web参加による展示) ⑵関係機関、団体との協働、協力

10　在宅ケア推進委員会

1　活動目標	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み 2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進
2　委員会開催	7回(訪問看護師育成支援事業検討会との合同開催１回を含む)
3　活動内容	1)在宅ケアにおける看護の機能強化につなげるための取り組み ⑴在宅ケアにおける看護の機能強化への方向性を探るための現状把握 ①令和2年度に実施した「地域における看護の機能強化のための連携について」のアンケート結果から見えてきた現在の看護の連携についての課題の抽出、絞り込み ②現状と課題を追究するためのアンケート調査の企画。 ⑵情報提供、意見交換を目的とした三職能四委員会、在宅療養支援のための看護職連携推進研修検討会の委員長との会議の開催　　（２回程度） 2)在宅ケアにかかる看護の実践能力の向上および連携推進 ⑴訪問看護育成支援事業検討会との情報共有、会議の開催(1回) ⑵山口県訪問看護推進協議会へ委員およびオブザーバーとしての出席(1回)

報告事項3　令和3年度　収支予算書

（別　冊）